		1			_									
基	本事業名	幼稚園運営管理	!			対 (誰を	象 ·何を)	幼稚園」	見及び保護者					
į	基本事業 コード	411-01			基本事業の 概要		的	人間性	や社会性の基础	楚を培い.	、健やかな原	成長を育む	ì	
第6	次羽曳野市総	合基本計画				(どうした	いのか)						•	
	策目標 策	4 未来に羽 1 子育て支		ごも・若者を育むまち			Ħ	旨標名		単位	H28. 4時点 見状値(総計		1年度 実績	R2年度 目標(総計)
施	策の方向			育ちへの支援 を活かしたまちづくり	総合基本計画目標指標									
	ちづくりの 略			安全に暮らせるまちづくり	日 1条 1日 1条									
		〇 (3)人口派	域少下の流	活力と成長に向けたまちづくり										
	事	務事業名	幼稚園加	施設改修事業			事務事	業コード	411-01-	-01				
	総計に基 事業の進払		Α	順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(義	務的なもの) 担	当 R2	こども	課	R3	こども課
١.		対象(誰を・何を)	市立幼	· 稚園12園	·	•	R2年度 事務事業	类評価	(R1年度実施	事業) 最	終結果		二次評価対	対象事業
1	事務事業の	目的	耐雪池	修及び施設修繕を行い、安全な	た保存環境を確	マナス		総合評価・	現状維持	各視点か		妥当性	有効性	効率性
	概要	(どうしたいのか)	则废以	廖灰ひ	4 杯 月 垛 光 色 唯	ሉሃ % ፡		後の方向性				A	В	Α
		手段 (事業内容)		稚園12園の14棟のうち、耐震基び老朽化している園舎の修繕		ない3棟の		総事業費 ち市負担額)	R1年度》	4,936	R2年度(当初)予算 3,725	R3年原 実施σ	-
		(チボバロ)	以廖汉	い名作用している国音の修信を	711 Jo			単位: 千F	" (4.936) (3,725) 方向性	Ė
												•	,	
	事	務事業名	幼稚園	運営事務事業			事務事	業コード	411-01-	-02	1		,	•
	総計に基事業の進捗	づく (50/5 (5)	幼稚園i	運営事務事業	継続・ 新規	継続	事務事 法定· 自治	業コード		- 02 -1当 R2	こども	課	R3	こども課
	総計に基	づく が 状況(R2 年度)	A			継続	法定・	業コード 自治事務(義		当 R2		課	R3 二次評価対	
2	総計に基事業の進捗	づく 大沢 (R2年度) 対象(誰を・何を) 目的	A 利用を 安全で	順関である 希望する幼稚園児や保護者 快適な幼稚園生活を提供し、楽	新規		法定· 自治 R2年度 事務事業	業コード 自治事務(義 業評価 総合評価・	務的なもの) 担	!当 R2 事業) 最	終結果	妥当性	二次評価対	対象事業 効率性
2	総計に基	づく 大沢 (R2年度) 対象(誰を・何を)	A 利用を対 安全で対	■関である 希望する幼稚園児や保護者 快適な幼稚園生活を提供し、穿 ごすことができる環境づくりを推	新規	ぱいの幼児	法定· 自治 R2年度 事務事事 令	業コード 自治事務(義 業評価 &合評価・ 後の方向性	務的なもの) 担 (R1年度実施事 現状維持	きません。 主当 R2 手業) 最 各視点か	終結果	妥当性	二次評価が 有効性 B	対象事業 効率性 A
2	総計に基事業の進物	が 大況 (R2年度) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか)	A 利用をで 安全で カリキュ が 着及び	順関である 希望する幼稚園児や保護者 快適な幼稚園生活を提供し、楽	新規 どしいことがいっ! 主進する。 耗品の購入の他	ぱいの幼児2、施設営	法定· 自治 R2年度 事務事事 令名	業コード 自治事務(義 業評価 &合評価・ をの方向性 総事業費 ち市負担額)	(R1年度実施事 現状維持 R1年度29	き 業)最 各視点か 大算額 12,548	終結果	妥当性 B 当初)予算 475,024	二次評価対 有効性 B	対象事業 効率性 A
2	総計に基事業の進物	づく 大沢 (R2年度) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか)	A 利用を 安全で 期を過ご カリキコ	■関である 希望する幼稚園児や保護者 快適な幼稚園生活を提供し、楽 ごすことができる環境づくりを推 ■ラムに応じて幼稚園備品や消	新規 どしいことがいっ! 主進する。 耗品の購入の他	ぱいの幼児2、施設営	法定· 自治 R2年度 事務事事 令名	業コード 自治事務(義 業評価 &合評価・ をの方向性 総事業費	(R1年度実施事 現状維持 R1年度29	当 R2 事業) 最 各視点か	終結果	妥当性 B 当初)予算	二次評価分 有効性 B	対象事業 効率性 A
2	総計に基 事業の進榜 事務事業の 概要	が 大況 (R2年度) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか)	A 利用を 安全で 期を カリキコ 経る。	■関である 希望する幼稚園児や保護者 快適な幼稚園生活を提供し、楽 ごすことができる環境づくりを推 ■ラムに応じて幼稚園備品や消	新規 どしいことがいっ! 主進する。 耗品の購入の他	ぱいの幼児2、施設営	法定。 自治 R2年度 事務事 令名	業コード 自治事務(義 業評価 &合評価・ をの方向性 総事業費 ち市負担額)	務的なもの) (R1年度実施事 現状維持 R1年度) 29	日当 R2 各視点か を算額 2,548 11,492	終結果	妥当性 B 当初)予算 475,024	二次評価対 有効性 B	対象事業 効率性 A
2	総計に基 事業の進榜 事務事業の 概要	がく (R2年度) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容)	A 利用を 安全で 期を カリキコ 経る。	☆調である 希望する幼稚園児や保護者 快適な幼稚園生活を提供し、第 ごすことができる環境づくりを推 1ラムに応じて幼稚園備品や消 各種施設の保守点検や施設維	新規 どしいことがいっ! 主進する。 耗品の購入の他	ぱいの幼児2、施設営	法定。 自治 R2年度 事務事 令名	業コード 自治事務(義 禁評価 総合評価・ 後の方向性 総事業費 ち市負担額) 単位:干F	務的なもの) (R1年度実施 現状維持 R1年度3 25 円 (25 411-01-	日当 R2 各視点か を算額 2,548 11,492	終結果	妥当性 B 当初)予算 475,024 475,024	二次評価外有効性 B 解 R3年月 実施の 方向性	対象事業 効率性 A
	総計に基 事業の進技 事務事業の 概要	がく (R2年度) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容)	A 利用をで 安全で過ご カリキコ る。 幼稚園で	■関である 希望する幼稚園児や保護者 快適な幼稚園生活を提供し、穿 ごすことができる環境づくりを推 ユラムに応じて幼稚園備品や消 各種施設の保守点検や施設維 まつり開催事業	新規 低しいことがいっに 進する。 耗品の購入の他 持管理を継続し	ぱいの幼児 3、施設営 て実施す	法定治 自名 R2年度事 事務事 (う)	業コード 目治事務(義 自治事務(義 を合評価・ を合評価・ をの方向性 総事業費 ち市負担額) 単位:千f	務的なもの) (R1年度実施 現状維持 R1年度3 25 円 (25 411-01-	事業)最各視点か株算額12,54811,492103	終結果 R2年度(C	妥当性 B 当初)予算 475,024 475,024	二次評価外有効性 B 解 R3年月 実施の 方向性	対象事業 対象事業 対象事性
2	総計に基 事業の進 事務事業の 概要 総計に基 事業の進	がく (R2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事段 (事業内容) (R2年度) 対象(誰を・何を)	A 利用をでいますが、 対対は 対対は 対対は が対 対 対 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が	■関である 希望する幼稚園児や保護者 快適な幼稚園生活を提供し、導 ごすことができる環境づくりを指 ユラムに応じて幼稚園備品や消 各種施設の保守点検や施設組 まつり開催事業 達成・終了 市立幼稚園の園児及び保護者	新規 としいことがいっに 主進する。 耗品の購入の他 持管理を継続し 継続・ 新規	ぱいの幼児 ②、施設営 て実施す 継続	法自治 度事 《今行》 (5) 本務 定治 度事 张 定治 度事 不	業コード 目治事務(義 自治事務(義 を合評価・ を合評価・ をの方向性 総事業費 ち市負担額) 単位:千f	務的なもの) 技 (R1年度実施事 現状維持 R1年度2 (C25 411-01- 注意のもの) 技 (R1年度実施事	当当 R2 格視点か 各視点か 上2.548 11.492) -03	終結果 R2年度(こども	妥当性 B 当初)予算 475,024 475,024	二次評価が 有効性 B R3年原実施の 方向性	対象事業 対象事業 対象事業 対象事業
	総計に基 事業の進技 事務事業の 概要	が (R2年度) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 事業内容) (R2年度) 対象(誰を・何を)	A 利用をでいる。 対権関語 の対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を	帝望する幼稚園児や保護者 快適な幼稚園生活を提供し、第 ですことができる環境づくりを拍 ュラムに応じて幼稚園備品や消 各種施設の保守点検や施設組 まつり開催事業 達成・終了 市立幼稚園の園児及び保護者 心を育むとともに幼稚園教育へ	新規 ELいことがいっ に進する。 耗品の購入の他 持管理を継続し 機続・ 新規	ぱいの幼児 は、施設営 で実施す 継続	法自 R2年券	東コード 自治事務(義 を合評価・ を合があった。 を含がある。 を含がある。 とこの方の性 をおする。 をおする。 をは、子に をという。 をは、子に をという。 という。 という。 という。 という。 という。 という。 という。	(R1年度実施事 現状維持 R1年度) 25 411-01- 王意のもの) 担 (R1年度実施事	当 R2 R2 各視点か を視点か を視点か 2.548 11.492) -03 1当 R2 各視点か	終結果 らの評価 R2年度(要当性 B 当初)予算 475,024 475,024	二次評価約 有効性 B R3年度施の 方向性	対象事業 効率性 A 変数 実施 対象事業 効率性 A
	総計に基 事業の進格 事務事業の 概要 総計に基 事業の進格	がく (R2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事段 (事業内容) (R2年度) 対象(誰を・何を)	利用をでいる。 対力は表のではいる。 対発性のではいる。 対発性のではいる。 対発性のではいる。 対発性のではいる。 対発性のではいる。 対発性のではいる。 対発性のではいる。 対発性のではいる。 対発性のではいる。 対象のではいる。 対象のでは、	■関である 希望する幼稚園児や保護者 快適な幼稚園生活を提供し、導 ごすことができる環境づくりを指 ユラムに応じて幼稚園備品や消 各種施設の保守点検や施設組 まつり開催事業 達成・終了 市立幼稚園の園児及び保護者	新規 ELいことがいっ 主進する。 耗品の購入の他 持管理を継続し 機続・ 新規 の理解を深める	ぱいの幼児 は、施設営で実施す 継続	法自2年務事 《	業コード 目治事務(義 と会の方向性 総称の方向性 総称の方向性 単位:千所 自治事務(人 と合評価の性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	務的なもの) 技 (R1年度実施 現状維持 R1年度2 25 411-01- 王意のもの) 技 (R1年度実施 現状維持	当 R2 R2 各視点か を視点か を視点か 2.548 11.492) -03 1当 R2 各視点か	終結果 らの評価 R2年度(妥当性 B 当初)予算 475,024 475,024	二次評価約 有効性 B R3年度 実施の 方向性	対象事業 効率性 A 要が 変施 が象事業 効率性 A

基	本事業名	保育園運営管理]			(誰	対象を・何		保育園児	見及び保護者					
	基本事業 コード 次羽曳野市総	411-02 合基本計画			基本事業の 概要		目的		園児の優	建やかな成長 を	を育むる	ともに、仕	事と子育て	を両立できる	環境を確保する
	策目標	4 未来に羽 1 子育て支		ども・若者を育むまち				指標	名		単位	H28.48 現状値(約	寺点 総計)	R1年度 実績	R2年度 目標(総計)
施	策の方向			育ちへの支援 を活かしたまちづくり	総合基本計	保育所待	幾児	童数			人		0	0	0
	ちづくりの :略	O (2)だれも	が安心・	・安全に暮らせるまちづくり 活力と成長に向けたまちづくり	LI (W.) LI (W.										
	事務	8事業名		育所運営事務事業			7	事務事業:	コード	411-02-	-01				
	総計に基金	づく 状況 (R2 年度)	Α	順調である	継続新規	継続	1	法定· 自治	治事務(義	務的なもの) 担	当 R2		ども課	R3	こども課
	7 110 120	対象(誰を・何を)	保護者	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		童		R2年度 事務事業評	価 (R1年度実施事	事業)	最終結果		二次評価対	対象事業
1	事務事業の	目的 (どうしたいのか)	安全でごすこ	・ 快適な保育を提供し、楽しいこと とができる環境づくりを推進する	:がいっぱい()幼児期を過	<u>ā</u>		·評価· O方向性	現状維持	各視点	いらの評価	妥当性 B	有効性 B	効率性 A
	概要	手段		発育所5園を適正に運営し、保育				総事	業費 「負担額)	R1年度2	英算額 95,099	R2年	度(当初)予算 903,159	草額 R3年月	ž .
		(事業内容)		(A) // OEE C CEET - CEETO (PA					単位:千円		5,099) (903,159		
		务事業名	公立保	育所施設整備事業				事務事業	コード	411-02-	-02				
	総計に基準の進捗	づく 状況 (R2 年度)	継続 新規	継続		日冶	治事務(義	務的なもの) 担	当 R2	= = 2	ども課	R3	こども課		
2		対象(誰を・何を)	市内公	公			1	R2年度 事務事業評	価 (R1年度実施署	事業)	最終結果		二次評価対	
-	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	安全な	保育環境を確保する。					·評価· O方向性	現状維持	各視点	からの評価	妥当性 A	有効性 B	効率性 A
	,,, <u>,</u>	手段 (事業内容)	老朽化修等を	こしている園舎の修繕や、待機児 行う。	童の解消の	とめの施設さ	女		事業費 「負担額)	R1年度》	8,931	R2年	度(当初)予算 6,099	実施σ	実施
			12 17 C	1170					単位:千円	1 (8,931) (6,099) 方向性	
		务事業名	民間保	育所運営事務事業				事務事業	コード	411-02-	-03				
	総計に基準事業の進捗		Α	順調である	継続新規	継続		目冶	治事務(義	務的なもの) 担	2当 R2		ども課	R3	こども課
3		対象(誰を・何を)	保護者	の労働や疾病等に伴い保育を!	必要とする児	童		R2年度 事務事業評	価	R1年度実施事	事業)	最終結果		二次評価対	
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	必要な	保育を安全かつ安定的に提供す	する。				·評価· O方向性	現状維持	各視点	iからの評価	妥当性 A	有効性 B	効率性 B
		手段 (事業内容)		発育所等において保育需要に対収 要等を目的とした単独補助事業		用する児童の)		事業費 「負担額)		5,633	R2年	度(当初)予算 1,750,342	実施σ	実施
									単位:千円	i (60	3,270	<u>) (</u>	530,830)) <mark>方向性</mark>	
	40.00	务事業名 	民間保	育所施設整備事業	Anh h+			事務事業	コード	411-02-	-04				
	総計に基事業の進捗	づく 	Α	順調である	継続新規	継続		法定・ 自治 R2年度	自治事務(任	意のもの) 担	3当 R2	= = 2	ども課	R3	こども課
4		対象(誰を・何を)	110.00	・間保育園の施設整備			_	*2年度 事務事業評	価 (R1年度実施署	事業)	最終結果	妥当性	二次評価対	対象事業 効率性
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)		別かしている保育需要に応えるた 施設の定員数を増やし受入増を		法人等が設	Ž		·評価·)方向性	現状維持			Α	В	Α
		手段 (事業内容)		福祉法人等が設置する施設に係る 事業を実施する。	る整備事業に	対し、市が行	ī		業費 「負担額) 単位:千円		文算額 64,278 18,928	R2年))(度(当初)予算 59,149 7,238	実施σ	-

基	本事業名	就学前教育・保	育の充	実			対象 :・何を)	就学前児	見童及び保護	者			
ā	基本事業 コード	411-03			基本事業の 概要		目的	タ様かー	- ブルかか	+ z . ☆c-	t-+>		ジュの世帯も図る
第6	次羽曳野市総	合基本計画				(どうし	たいのか)	多様なー	-一人に対応	する、新	にな教育・保育	の一体的なサーヒ	スの推進を図る。
	策目標 策	4 未来に羽 1 子育て支		子ども・若者を育むまち			指标	票名		単位	H28.4時点 現状値(総計)	R1年度 実績	R2年度 目標(総計)
施	策の方向			の育ちへの支援 源を活かしたまちづくり	総合基本計目標指標	画							
	ちづくりの :略	O (2)だれも	が安心	ン・安全に暮らせるまちづくり の活力と成長に向けたまちづくり									
	表 了						ate 7/r ate alle		444.00				
	総計に基	務事業名 づく (pa ケボ	功保-	一元化推進事業	継続	• 60k 6±	事務事業 法定·		411-03		こども誤		- 104 EM
	事業の進捗	大況 (R2年度) 対象(誰を・何を)	A	前児童	新規	継続	自治 R2年度	自治事務(日	(R1年度実施	旦当 R2			こども課
1		目的		刑元里 化する子育て支援ニーズに対応する)	ため、就学前児	記童の教育・保	事務事業計	評価・	(RT平及关心	学 来 /)		三次計1	
	事務事業の 概要	(どうしたいのか)	連携し	-体的・総合的に推進するため、幼稚 ∪てお互いの情報・識見の共有と相互	I理解を深める	0		の方向性	現状維持			A A	Α
		手段 (事業内容)	リキコ	の幼保連携型認定こども園におし ュラムの作成を通して幼稚園教諭	・保育士の交			事業費 市負担額)	R1年度	5,462	R2年度(当	5,066 実施	の実施
		(7,586,72)	修機:	会を充実させ、職員の質の向上に	:努める。			単位:千円	1 (5,462) (5,066) 方向	性
	事系	⁸ 事業名	こども	未来館たかわし整備事業			事務事業	コード	411-03	-02			
	総計に基事業の進捗	づく 状況 (R2 年度)			継続新規		自冶	自治事務(日	£意のもの) ‡	旦当 R2	こども詩	₽ R3	
2		対象(誰を・何を)		た未来館たかわし			R2年度 事務事業計	平価	(R1年度実施	事業):			五対象事業
	事務事業の	目的 (どうしたいのか)	行い、	前の子どもたちの成長発達に応じ、心と体、意欲や規範意識などを対				合評価・ の方向性	完了	各視点	からの転補	A A	数率性 A
	概要	手段(事業内容)		を育成する。	+ 4 4 1 1 +			事業費	R1年度			初)予算額	度
		(事業内容)	刈保:	連携型認定こども園「こども未来館	ほたかわし」を	発偏する。	(95)	P 貝担領) 単位:千円	(0) (·性
	事務	· 務事業名	こども	未来館たかわし設立準備事務事業			事務事業	コード	411-03	-03			
	事務事業名 総計に基づく ままの推進場に(R2 年度				継続新規		法定・自治	自治事務(義	務的なもの)	旦当 R2		R3	
	学来 00.2019	対象(誰を・何を)	こども		491751		R2年度 事務事業計	平価	(R1年度実施	事業):	最終結果	二次評化	面対象事業
3	事務事業の	目的			、施設整備に	むけた準備を	総合	>評価・		各視点	からの評価	会当性 有効性	並 効率性
	概要	(どうしたいのか)	1320		L. L. AND CO.	BB1 1/2		の方向性 事業費	R1年度		R2年度(当	初)予算額	10
		手段 (事業内容)		整備にあたっての調整・予算作成 成等を行う。	おより連用に	-関し〔の資	(うちで	市負担額) 単位:千円	,			実施 方向	iの i性
	事系	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	民間こ	こども国施設整備支援事業			事務事業	コード	411-03	-04			
	総計に基	づく (D2 年度)	Δ	順調である	継続		法定・	自治事務(日		旦当 R2	ニピも誤	₽ R3	こども課
	事業の進捗	状况	市内		新規 役整備		自治 R2年度 事務事業計		(R1年度実施				五対象事業
4	事務事業の	目的	年々は	増加している教育・保育需要に応	えるため、社	会福祉法人等		+™ 	現状維持	夕知占		名当性 有効性	
	事務争系の概要	(どうしたいのか)	が設け	置する施設の定員数を増やし受力	人増を図る。		- L	の方向性	以(A)相付 R1年度			A B R34 R34	A
		手段 (事業内容)		福祉法人等が設置する施設に係 助事業を実施する。	る整備事業に	対し、市が行		事業費 市負担額) 単位:千円		28,907	2	254,639 実施 36,083) 方向	ا
												7 231	
	総計に基	務事業名 づく (paを味)	公立	認定こども関連営事務事業	継続	継続	事務事業 法定·		411-03 E意のもの) ‡		- 12+ ≡	# PO	こども課
	事業の進捗		A O#A	順調である	新規		自治 R2年度		(R1年度実施		こども誤		
5		対家(誰を・何を)	就学育	から5歳までの子どもとその保護者 前の子どもたちの成長発達に応じ	た教育・保育		事務事業計	平価 合評価・		1	3	一次評10 子当性 有効性	五対象事業 主 効率性
	事務事業の 概要	(どうしたいのか)		、心と体、意欲や規範意識などを を育成する。	培い、たくまし	く生きる力の	今後(の方向性	現状維持			A A	Α
		手段 (事業内容)		忍定児(幼稚園)と2号認定児(保育 図定こども園教育・保育要領に沿っ				事業費 市負担額)		78,100		初) 予算額 86,761 実施	あ 実施
						,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		単位:千円	1 (78,025) (86,682) 方向	性
		務事業名 	公立部	認定こども國管理事務事業	tou tot		事務事業	コード	411-03	-06		1	
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R2 年度 対象(誰を・何を		Α	順調である	継続新規		法定· 自治 R2年度	自治事務(日	E意のもの) j	旦当 R2	こども説	₽ R3	こども課
6		対象(誰を・何を)		認定こども園(こども未来館たかれ			事務事業計	¥1m	(R1年度実施	事業):		二次評価	面対象事業 E 効率性
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)		な子育てニーズに対応する、園の	円滑な運営	こ資するた		合評価・ の方向性	改善して継続	各視点	かこの (変) (単)	B A	A
		手段	施設の	の維持に必要となる様々な日常管	管理を実施す	 る。		事業費 市負担額)	R1年度	決算額 6,082	R2年度(当	初) 予算額 R3年 5,563 実施	
	手段 (事業内容)		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					単位:千円	(6,082) (5,563) 方向	

差	本事業名	就学前	教育・保育	年の充実	ę			対 (誰を・		就学前	児童及び保証	雙者				
	基本事業 コード 次羽曳野市総	合基本	411-03				▶事業の 概要		的	多様な	ニーズに対応	する、新	たな教育・保育の	の一体的なサ	一ビスの推進	重を図る
	策目標		未来に羽(子育て支持		ども・若者を育むまち				指	標名		単位	H28.4時点 現状値(総計)	R1年度 実績	R2年 目標(
施ま	まづくりの 誤略	1	すべての - (1)羽曳里	子どもの <mark>予の資源</mark>	育ちへの支援 原を活かしたまちづくり ・・安全に暮らせるまちづくり		基本計画 標指標									
+>				1)活力と成長に向けたまちづくり							<u> </u>	<u> </u>			
		多事業名	_	(仮称))西部こども未来館整備事業		継続・	Abli A+	事務事業法定・		411-0					
	総計に基事業の進捗	状況		-	達成・終了		新規	継続	自治 R2年度	自治事務((仮称)西部こども園記		(称)西部こども園	
7			誰を・何を)) 西部こども未来館	÷++=/!.			事務事業		(R1年度実施	色争業):			評価対象事業 効性 効性 効性	加率性
	事務事業の 概要		目的 たいのか)		高い総合的な就学前教育・保 D市立認定こども園の設立をと		できる環境	きとして、2		合評価・ の方向性				Α _	В	Α
			手段 業内容)	設計に	こ関する業務委託、関係者へ	の説明や	連絡調整	等。		多事業費 市負担額) 単位:千		E決算額 483,040 483,040		51,096	₹3年度 実施の 完 ⁻ 方向性	了見込
	事務	₩₹Iに甘べ/)西部こども未来館設立準備事	務事業			事務事業	業コード	411-0	3-08					
	総計に基 事業の進捗	づく 状況	(R2 年度)	_	達成·終了		継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R2	(仮称)西部こども園話	B立準備室 R3(仮	(称)西部こども園	投立準備国
8		対象(誰を・何を)	(仮称)西部こども未来館				R2年度 事務事業	評価	(R1年度実施	拖事業):			評価対象事業	
Ů	事務事業の 概要		目的 たいのか)	質の高 る。	高い就学前教育・保育及び子	育て支援	を総合的	に提供す		合評価・ の方向性	拡充·重点	化 各視点	かこの 無圧			^p 率性 A
			手段 業内容)		の方針やカリキュラム等、園の 設に向けた準備・調整を行う。		生について	検討しなが		等業費 市負担額) 単位:千		E決算額 5,312 5,312	R2年度(当) (0	(3 年度 実施の 完 ⁻ 方向性	了見込
	事和	务事業名	ž	はびき	rのE-Kids!事業				事務事業	業コード	411-0	3-09				
	総計に基事業の進捗	づく ·状況	(R2 年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R2	特命プロジェク	トチーム R3	こども課	Ę
9		対象(誰を・何を)	市立约	・	在園する4	1歳児及び	5歳児	R2年度 事務事業	評価	(R1年度実施	拖事業):	最終結果	二次	評価対象事業	
9	事務事業の 概要		目的 たいのか)	びながら	において、英語を楽しみながら体験 ら、ネイティブな発音や外国文化に角 ルな視野の基礎づくりに寄与する。					合評価・ の方向性	拡充·重点	化 各視点				⁾ 率性 A
			手段 業内容)		果内授業として、外国人講師と と実施する。	:市職員に	こよる英会	話の体験		③事業費 市負担額) 単位: 千		E決算額 3,098 3,098	R2年度(当	2,388	K3 年度 実施の 写 方向性	実施
	事	务事業名	Ż	未就学	□児の教育保育施設長寿命化計	·画喜婁			事務事業	業コード	411-0	3-10				
	総計に基	づく	(R2 年度)	-	達成・終了		継続・ 新規	新規	法定・自治		任意のもの)		こども課	R3	こども課	
	争未り延抜	认沅	誰を・何を)		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	園、保育園		ども園、子	R2年度 事務事業	評価	(R1年度実施	拖事業):	L 最終結果	二次	評価対象事業	/
10	事務事業の 概要		目的 たいのか)	老朽((少動向	₹後センダー) としている本市の子育て支援 句を踏まえ、適正な規模配置で ff来にわたって持続的に確保	を維持し、	良好な教		総	計画 合評価・ の方向性		各視点	からの評価	当性有	効性 対	
			手段 業内容)		て支援施設長寿命化計画を策					多事業費 市負担額) 単位:千		度決算額	R2年度(当		K3 年度 実施の 方向性	-

					_										
基	本事業名	子どもの権利	擁護の推	進			対 (誰を [,]		児童						
ā	基本事業 コード	411⊣	04		基本引概	事業の !要		的	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の基本的人権を	・補償す	-る。			
第6	次羽曳野市総	合基本計画					(どうした	けのか	()						
	策目標	4 未来に 1 子育て		子ども・若者を育むまち					指標名		単位	H28.4 現状値(R1年度 実績	R2年度 目標(総計)
	東 策の方向			の育ちへの支援	総合基	本計画						5亿人但(₩6日1/	大限	日保(松司)
	ちづくりの			原を活かしたまちづくり ン・安全に暮らせるまちづくり	目標	指標									
単	略			の活力と成長に向けたまちづくり											
	事	事務事業名 家庭児童相談事業						事務	事業コード	411-04	-01				
	総計に基事業の進捗	計に基づく(内の左左) A 阿爾マセス				継続・ 新規	継続	法定 自治		義務的なもの) 打	旦当 R2		ども課	R3 家	度支援課
		「業の進捗状況 (H2平度) A ■			帚	•		R2年月 事務事	度 事業評価	(R1年度実施	事業):	最終結果		二次評価対	才象事業
•	事務事業の 概要	目的 (どうしたいの)	_{か)} 安心I	して産み育てられる育児への援助	h			4	総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点	からの評価	<u>妥当性</u> A	有効性	効率性 A
	1/1/2	手段 (事業内容)	子育・ う等。	てに関する相談等、短期の施設で	での児童	の預かり	りなどを行	(総事業費 (うち市負担額) 単位:千	R1年度	文算額 7,830 7,830	R2年) (度(当初)予算 5,339 5,339	実施の	実施
	事	『野童 直接 おおままり 『「「「「「「「」」」 「「「」」 「「「」」 「「「」」 「「」」 「「」						事務	事業コード	411-04	-02				
	総計に基事業の進捗	づく 状況 (R2 年	() (順調である		継続・ 新規	継続	法定 自治		義務的なもの) 払	旦当 R2		ども課	R3 家	庭支援課
2		対象(誰を・何を) 児童及び児童に関わる成人						R2年月 事務等	度 事業評価	(R1年度実施	事業):	最終結果		二次評価対	才象事業
	事務事業の	目的	児童(に対する虐待を防止する。					総合評価·	現状維持	各視点	からの評価	妥当性	有効性	効率性
	概要	事業の (どうしたいのか) 児里に対する虐待を防止する。 理要						_	今後の方向性				А	A I額 R3年度	Α
		手段 虐待防止推進活動として、啓発活動、 支援等を行う。				务、虐待	対応、養育	(総事業費 (うち市負担額) 単位:千	R1年度:	天算額 5,850 3.019	R2年	度(当初)予算 5,052 5.052	実施の	実施

		ı——				_												
基	本事業名	すべて	の子どもの	の育ちへ	への支援			対 (誰を・		を)	児童							
į	基本事業		411-05				本事業の											
	コード						概要	目 (どうした	的しい	ፓ ታ\)	心身とも	に健やかに	育つ環境	竟づくり・	仕組みづ	くりを図	1る。	
第62	欠羽曳野市総							(2)0/2		,								
施施	策目標 空	4	未来に羽り子育て支持		-ども・若者を育むまち					指	標名		単位		3.4時点 (総計)		年度 実績	R2年度 目標(総計)
	<u>來</u> 策の方向	1)育ちへの支援	総合	基本計画							シカント	2 (MORI)		大利	11x (40al)
±	 ちづくりの				原を活かしたまちづくり		標指標											
	略	00			・安全に暮らせるまちづくりD活力と成長に向けたまちづくり													
Ш		U	(3)人口源	(少下U	が活力と成長に向けたまらりくり									<u> </u>		<u> </u>	J	
	事利	务事業	各	ダルビ	「ッシュ有子ども福祉基金管理運」	甲事務事	業		哥	下務事	業コード	411-05	- 01					
	総計に基 事業の進捗		(R2 年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続		法定・ 自治	自治事務(日	E意のもの)	担当R	2	こども課		R3 家原	医支援課
		対象(誰を・何を)	子ども	5		•			2年度 孫事業	評価	(R1年度実施	事業)	最終結果	Į.		二次評価対	象事業
1			目的	「ダル	ビッシュ有こども福祉基金」を活	舌用して	子どもた	ちの心身		総	合評価・	TE 11: 6# ++	A7 AB	E to Similar		当性	有効性	効率性
	事務事業の	(どうし	たいのか)	の健ヤ	やかな成長に寄与する。					今後	の方向性	現状維持	合倪!	点からの影	¥1m	A	Α	Α
	概要			て、子ど	ビッシュ有選手からの寄附金(公式戦で1勝 もの福祉に役立つ事業へ活用【こんにちに	t赤ちゃん#	業として子育	て安心ファイル		±	8事業費	R1年度	決算額	R	2年度(当社	切)予算	額 R3年度	
			手段	の配布、	、中央図書館にダルビッシュ有文庫を開設 福祉施設の子どもたちをぶどう狩りに招待	し、スポーツ	/関連の書籍を	配架、市内児			市負担額)		7.494			3.150	実施の	実施
		(争	業内容)	つ事業へ	-般の方からいただいたふるさと応援寄附? へ活用【ファミリーサポート事業、地域子育 [・]						単位:千円	(759) (750	方向性	2 3.02
				催事業な	tzE]						平位:11	,	700	, (700	/	
	事務	务事業	呂	ことも	夢プラン進行管理事務事業				哥	事務事業	業コード	411-0	-02					
	総計に基事業の進捗		(R2 年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続		ま定・ 自治	自治事務(義	務的なもの)	担当R	2	こども課		R3 C	ども課
		対象(誰を・何を)	市民	<u> </u>					2年度 孫事業	評価	(R1年度実施	事業)	最終結果	Į.		二次評価対	象事業
2			目的		野市子ども・子育て支援事業計				ĺ		合評価・	T	1			当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうし	たいのか)		動計画、羽曳野市母子保健計回 実な推進。	画(はびき	きのこども	夢ブラン)			の方向性	改善して継続	売 各視』	点からの影	平価 /	A	Α	Α
	似女			本計画	を実行性のあるものとして着実に展開						8事業費	R1年度	決算額	R	2年度(当社	切)予算	額 R3年度	
			手段 業内容)	曳野市:	や事業の実施状況を把握するととも! こども夢プラン推進委員会に施策や	事業の進捗				(うち	市負担額)		2,825			2,543	実施の	実施
				市のウ.	ェブサイト等を通じて市民に公表する	0					単位:千円	1 (2,825) (2,543	方向性	
	事者	务事業	苕	第2期	こども夢プラン策定事務事業				事	事務事業	業コード	411-0	i-03					
	総計に基 事業の進機	づく :状況	(R2 年度)				継続・ 新規	終了		法定・ 自治	自治事務(義	務的なもの)	担当R	2	こども課		R3	
3		対象(誰を・何を)	市民					R	2年度 務事業	評価	(R1年度実施	事業)	最終結果	Į.		二次評価対	象事業
3	事務事業の 概要	(どうし	目的 たいのか)	を策定。	・子育て支援法第61条に基づき、羽身。また、次世代育成支援対策推進法第 動計画・羽曳野市母子保健計画の策	8条に基					合評価・ その方向性	完了	各視』	点からの言	Ti /ac	当性 人	有効性	効率性 A
			 手段		らの教育・保育や地域子ども・子育て						8事業費	R1年度	決算額		2年度(当社		額 R3年度	
			業内容)		回計画の進捗状況等を踏まえ、子ども え合う環境づくりを総合的に推進する		な育ちと子育	でを社会全		(つち	市負担額) 単位:千円	(6,556			0	実施の	

Ħ	本事業名	子育て家庭への	经决的支援		対		保護者						
	基本事業		推 <i>问</i> 的文版	基本事業の	(誰を・	何を)	休護日						
	コード	412-01		概要	目 (どうした	的のか)	育児負担	!の軽減を図る	5.				
	欠羽曳野市総				(2)0/2	.0.07/31/							
	策目標 策	4 未来に羽l 1 子育て支持	ぱたく子ども·若者を育むまち 爰			指	標名		単位	H28.4時点 現状値(総計		年度 に積	R2年度 目標(総計)
施	策の方向		庭への支援 予の資源を活かしたまちづくり	総合基本計画 目標指標									
	ちづくりの 略	O (2)だれも	が安心・安全に暮らせるまちづくり	1 1×11 1×									
			域少下の活力と成長に向けたまちづくり										
	総計に基	務事業名 づく ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	児童手当給付事務事業	継続・	****	事務事等 法定·		412-01-					
	事業の進捗	状況 (RZ 中及)	人 順調である	新規	継続	自治 R2年度	法定受討		当 R2	こども	課		庭支援課
1		対象(誰を・何を)	中学校修了前の児童を養育している人			事務事業	評価(R1年度実施署	事業) 最		妥当性	二次評価対	効率性
'	事務事業の	目的 (どうしたいのか)	家庭等における生活の安定に寄与する う児童の健やかな成長に資することを		の社会を担		合評価・ の方向性	現状維持	各視点が	らの評価	A	A	A
	概要		子ども一人につき月額0歳~3歳まで一律15,00 子、第2子)10,000円、3歳~小学校修了前(第	00円、3歳~小学校 3子以降)15,000円。	修了前(第1 中学生(※		8事業費	R1年度》	央算額	R2年度(当初)予算額	R3年度	
		手段 (事業内容)	1) 一律10,000円を養育者に支給。ただし、所得 の附則に基づく特例給付として児童1人あたり	制限限度額以上の -律5,000円の支給。	場合は、法律	(うち	市負担額)		9,903	1	,628,526	実施の方向性	
			15歳に達する日以後の最初の3月31日までにあ	გგანი. 			単位:千円	(26	60,417) [(258,268) // IFITE	
		 	児童扶養手当給付事務事業			事務事業	業コード	412-01-	-02			_	
	総計に基準の進捗	づく 状況 (R2 年度)	A 順調である	継続・新規	継続	法定· 自治	法定受討	托事務 担	当 R2	こども	課	R3 家	庭支援課
2		対象(誰を・何を)	18歳に達する日以後の最初の3月31日(児童に る場合は、20歳未満)までの児童を養育するひ 一定未満の人。	政令で定める程度 とり親家庭の母・父	の障がいがあ 等で、所得が	R2年度 事務事業	評価(R1年度実施	事業) 最	終結果		二次評価対	 象事業
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	ひとり親家庭等の家庭の生活の安定と 童の健全な育成を図る。	:自立の促進に	寄与し、児		合評価 の方向性	現状維持	各視点が	いらの評価	妥当性	有効性 A	効率性 A
		手段 (事業内容)	手当の月額は、請求者等の所得によっ が決まる。支給月は、2ヶ月に1回奇数		一部支給		(事業費 市負担額)		0,145	R2年度(当初)予算8 628,543	実施の	
							単位:千円	(51	7,397) (=	421,713) <mark>方向性</mark>	
		務事業名	特別児童扶養手当給付事務事業			事務事業	業コード	412-01-	-03				
	総計に基準事業の進捗	づく 状況 (R2 年度)	A 順調である	継続・ 新規	継続	法定• 自治	法定受討	托事務 担	当 R2	こども	課	R3 家	庭支援課
3		対象(誰を・何を)	20歳未満の政令で規定する障害の状 は養育する一定所得基準内の人	態にある児童を	、監護また	R2年度 事務事業	評価(R1年度実施事	業) 最			二次評価対	
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	児童の福祉の増進を図る。				合評価・ の方向性	現状維持	各視点が		妥当性	有効性 A	効率性 A
	100,500	手段(事業内容)	各種提出書類の受付、通知書等の送 な支給のための事務を行っています。	(受給資格及び			8事業費 市負担額)		5,770	R2年度(<u>当初)予算</u> 5,749	実施の	
			度については、大阪府が審査します。)	1			単位:千円	(5,166) (=	5,165) <mark>方向性</mark>	
		務事業名	助産施設入所事務事業			事務事業	業コード	412-01-	-04				
	総計に基準の進捗	状況 (R2年度)		継続・ 新規	継続	日冶	自治事務(義系	務的なもの) 担	当 R2	こども	課	R3 家	庭支援課
4		対象(誰を・何を)	経済的に困窮している妊婦			R2年度 事務事業	評価(R1年度実施署	事業) 最			二次評価対	
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	 経済的に困窮している妊婦が安心して 	出産できるよう	にする。		合評価・ の方向性	現状維持	各視点が	いらの評価	妥当性 A	有効性	効率性 A
		手段 (事業内容)	出産費用の補助(分娩介助料、入院費 30万円~100万円)	用等含み概ね-	一件あたり		多事業費 市負担額) 単位:千円	R1年度》	失算額 2,728 1,272	R2年度() (<u>当初)予算都</u> 7,375 2,125	類 R3年度 実施の 方向性	実施
		5 市 米 カ	21 本从建国公园十岁中本			ple 7/e ple 1				1	, ==		
	総計に基	務事業名	私立幼稚園就園支援事業	継続・	65 →	事務事第		412-01-			I	50	
	事業の進捗	状況 (R2年度) 対象(誰を・何を)	私立幼稚園又は認定こども園に通園す	新規	終了	自治 R2年度	(務的なもの) 担 R1年度実施事		終結果	际	二次評価対	象事業
5	事務事業の	目的	充実した幼稚園教育を提供できるよう		x FI		合評価・	現状維持	1		妥当性	有効性	効率性
	概要	(どうしたいのか) 手段 (事業内容)	私立幼稚園又は認定こども園に通園すたは保育料の一部を保護者(施設が活	トる子どもに係る		総	をの方向性 第業費 (市負担額)	R1年度》 11	· 算額 5,929		人 当初)予算額 0	A (A) (R) (A) (R) (A) (R) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	A
		(事業内容)	ことにより、円滑な施設運営を図る。	4人口 区 区 限 / 1、	ריס, נינו⊓ייי-	()-5	単位:千円		0,155) (0) 方向性	

-	+ * * *	ルカリフキーナ		7.理法《节集			対	象		/n =# #							
		仕事と子育てを	可立できる	6環項の登備	***	# 0	(誰を・)	保護者							
Z	基本事業 コード	412-02			基本事業概要		目			多様化す	るニーズに	あわせ		育サービ	スの充宝を	を図る	
第6	次羽曳野市総	合基本計画					(どうした	いの	か)	7 18 10 7	<u> </u>	-0517	/ C	., _	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
	策目標 策	4 未来に羽 1 子育て支		ぎも・若者を育むまち					指標	名		単化		H28.4時, 状値(総記		R1年度 実績	R2年度 目標(総計)
	策の方向	2 子育て家		援	総合基本	計画							45T.		117	大根	口1末(40日)
	ちづくりの			を活かしたまちづくり 安全に暮らせるまちづくり	目標指	標											
戦	略			安主に暮らせるよう ブマッ 舌力と成長に向けたまちづくり													
	事務	务事業名	ひとり朝	家庭自立支援事業				事利	务事業=	コード	412-0	2-01					
	総計に基準の進捗	づく (R2 年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続	法定自治		治事務(義務	務的なもの)	担当	R2	:ځ:		R3 家	庭支援課
	争来仍進扬	対象(誰を・何を)	母子家	<mark>- </mark>			<u> </u>	R2年	度	(R1年度実施	布事業)	最終	結果		二次評価対	象事業
1			7.3	20 7 X 1 X 20 X COL		- TH H		争稅	事業評	評価・				-	妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	ひとり親	見家庭の自立の促進を図る。						計価・)方向性	現状維持	各視	点から	の評価	Α	Α	Α
	,	手段		と子・寡婦福祉資金の貸し付け						業費 負担額)	R1年B	度決算額	-	R2年度	(当初)予算		ch thr
		(事業内容)		相談業務等を行い、就業支援 金事業等を実施している。	事業とし (i	尚寺職	耒訓粿促		נוופל)	単位:千円	(14,41 2,93		(20,754 6,387	実施の 方向性	実施
	+7	事務事業名 一時預かり事業					1	nie 2	trate all	- 18	***			1			
				1	41	継続・		事 者	务事業=		412-0					1 1	
	事業の進捗	総計に基づく 業の進捗状況 (R2 年度) A 順間である				新規	継続	自	治	治事務(任	意のもの)	担当	R2	:ځ:	も課	R3 C	こども課
2		対象(誰を・何を)	る保護					R2年 事務	F 皮 子 業 評	価 (R1年度実施	も事業)	最終	結果		二次評価対	
•	事務事業の	目的		の継続的・短時間就労などや. 急病や入院などにともなう心理						評価・	現状維持	- 各視	点から	の評価	妥当性	有効性	効率性
	概要	(どうしたいのか)		実施する。						方向性 業費	D1年	度決算 額	5	D2年度	A (当初)予算	A I額 R3年度	A
		手段 (事業内容)		民間保育所3園、公立こども園 事業を実施し、保護者の負担			園1園の計			負担額)	1(14)	13,37	0	172千及	16,634	実施の	実施
				7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	_ 12#30 23					単位:千円	(2,81	8)	(4,066) <mark>方向性</mark>	
	事系	务事業名	延長保育	育事業				事務	务事業=	コード	412-0	2-03					
	総計に基準の進捗	づく :状況 (R2 年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続	法定自治		治事務(義務	務的なもの)	担当	R2	:ځ:	も課	R3	こども課
		対象(誰を・何を)	保育を	必要とする保護者				R2年 事務	F度 寄業評	(m	R1年度実施	色事業)	最終	結果		二次評価対	象事業
3		目的		の就労形態の多様化などにと						評価・	TO 11 A44 14				妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうしたいのか)		ーズに対応できるよう民間保育 時間外に保育が必要となった [」]			末育認定を			方向性	現状維持			の評価	Α	Α	Α
		手段(本業中家)		育所に対し、事業実施に必要	な費用として	て、補助	助金を交付			業費 負担額)	R1年B	度決算額 4,37		R2年度	(当初)予算 6,181	「額 R3年度 実施の	実施
		(事業内容)	する。(国府負担あり)						単位:千円	(1,77	5)	(2,185) 方向性	
	事務	务事業名	病後児					事利	务事業=	コード	412-0	2-04		1			
	総計に基	づく (D 0/年度)	A	順調である	411	⊭続・	継続	法定		治事務(義務		担当	R2	: نے ت	4.課	R3	ども課
	事業の進捗	4人:兀		回復期等であることから集団任		が見る		自 R2年	re E度	(R1年度実施				-mr	二次評価対	
4	日的		71 3 2 10 = 0	復期にある入院治療の必要の				事務	事業評	100	1,0,0,0	7	-AA-17-5		妥当性	有効性	効率性
	事務事業の概要		や傷病	、事故などの理由により家庭で 場合、児童を一時的に保育する	での養育が					評価・)方向性	現状維持	各視	!点から	の評価	Α	Α	Α
	197.55	手段				-	4.11			業費	R1年B	度決算額	-	R2年度	(当初)予算		ch.+6
		(事業内容)	事業実	施団体に運営費補助金を交付	すする。(国)	付負担	あり)		つち市	負担額)		9,86		(9,978 3,249	実施の方向性	実施

基	本事業名	きめ細やス	かな保育・	子育で	サービスの提供			対 (誰を [・]			保護者							
	基本事業 コード 次羽曳野市総		12−03 画			基本事概	事業の 要		的)	安心して・	子育てでき	る環境を	確保	する。			
	5策目標 5策		来に羽ばた	:く子ど	も・若者を育むまち					指標名	名		単位		128. 4時点 t値(総計)		年度	R2年度 目標(総計)
ま	を 策の方向 まちづくりの	O (2))だれもが	資源を 安心・5	爰 た活かしたまちづくり 安全に暮らせるまちづくり E力と成長に向けたまちづくり	という という という という という という という という という という	本計画 指標											
	事務	务事業名	養	育支援	長訪問事業				事務事	事業コ	ード	412-0	03-01					
	総計に基事業の進捗		2年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治	台事務(義和	務的なもの)	担当R	2	こども課	F	宋3 家/	庭支援課
1		対象(誰を	・何を)養	育が	困難な家庭	•			R2年度 事務事	₹ 業評価	fi (R1年度実	施事業)	最終網			二次評価対	
	事務事業の 概要	目的 (どうした)			見守り、親への家事援助によ 軽減等により児童虐待防止を		キルの向]上、育児		総合詞	平価・ 方向性	現状維持	寺 各視』	点からの	n ⊕a /ac	当性 人	有効性	効率性 A
		手段 (事業内容) 養育が困難な家庭にヘルパーを派 事務事業名 子育て短期支援事業			困難な家庭にヘルパーを派遣	遣し、養育る	を支援す	·る。	(-	総事	業費 負担額) 単位:千円		度決算額 4,261 2,925			刀) 予算額 3,114 1,538	R3年度 実施の 方向性	実施
		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								事業コ	− ド	412-0	3-02					
	総計に基事業の進捗	づく 状況(R2					継続・ 新規	継続	法定· 自治		台事務(義和	際的なもの)	担当R	2	こども課	F	宋3 家/	庭支援課
2		対象(誰を	・何を)事	情がな	ある家庭の児童				R2年度 事務事	t 業評価	fi (R1年度実	施事業)	最終網		当性	二次評価対	象事業 効率性
	事務事業の 概要	目的(どうした)		間放記	置等の児童虐待を防止する。					総合記録後の2	平価・ 方向性	現状維持		点からの	の評価	4	Α	A A
		手段 (事業内		童養i 。)	護施設にて短期間の児童の-	一時預かり)(1週間	を限度とす	(3	総事			度決算額 239 233		R2年度(当初	刀)予算額 1,403 568	R3年度 実施の 方向性	実施
	事務	务事業名	育	児支援	後家庭訪問事業				事務事	事業コ	_⊦ 	412-0	03-03					
	総計に基準の進捗	づく 状況(R2	2年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治	台事務(義和	務的なもの)	担当R	2	こども課	F	R3 家/	庭支援課
3		対象(誰を	・何を)第	2子以	上 人降を出生した家庭				R2年度 事務事	₹ 業評価	Б (R1年度実	施事業)	最終網			二次評価対	象事業
٥	事務事業の 概要	目的(どうしたい			家庭を訪問することにより、安	心して育り	児を行え	.るようにす		総合詞	平価・ 方向性	現状維持	寺 各視	点からの	力量ではあ	当性 人	有効性	効率性 A
		手段(事業内			家庭を保育士・子どもサポーク 兄を把握し、新生児育児への				(-	総事	業費 負担額) 単位:千円		<mark>度決算額</mark> 5,159 2,471			刀) 予算額 6,776 4,321	R3年度 実施の 方向性	実施
	事務	事務事業名 赤ちゃんの駅設置事業 総計に基づく (R2年度) A 順調である			の駅設置事業				事務事	事業コ	− ド	412-0	03-04					
	総計に基 事業の進捗		2年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続	法定· 自治		治事務(任	意のもの)	担当R	2	こども課	F	宋3 家/	庭支援課
4				の乳幼児及びその保護者				R2年度 事務事	₹ 業評価	fi (R1年度実	施事業)	最終網		ate bib	二次評価対		
	事務事業の 概要	事務事業の(どうしたいのか)			え又は授乳のできる施設を登録し、 安心して外出できる環境の整備を図 いまちづくりを推進することを目的とし	39、地域社:				総合記録後の2	平価・ 方向性	現状維持		点からの	の評価	当性 人	有効性 B	効率性 A
		手段 (事業内	無 無	料で場	んの駅事業 基準を満たす施設 所の提供をしてもらう事業。② シトにテント、おむつ交換台等を	多動式赤ち	ゃんの駅		(=	総事	業費 負担額) 単位:千円		度決算額 759 759		R2年度(当初	D) 予算額 750 750	R3年度 実施の 方向性	実施

	基本事業名	子育で	てに関する情報の	発信		対象 (誰を・何を)	保護者等				
	基本事業 コード		412-04		基本事業の 概要	目的	制度や各種サービスに	- 体ス国	1年 1		
第	6次羽曳野市総	次羽曳野市総合基本計画				(どうしたいのか)	か及でも生り こへに	- 194071	1445121-00		
	施策目標			~ども·若者を育むまち		指標	夕	単位	H28.4時点	R1年度	R2年度
	施策		子育て支援			12,00		+12	現状値 (総計)	実績	目標 (総計)
	施策の方向	2	子育て家庭への?	支援	総合基本計画	はびきの子育てネット閲覧	同物(男計)		66.000	82.829	142.800
	++ -7/11-0	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり		目標指標	はいさの丁目でかり「周見	四双(米山)	ш	00,000	02,029	142,000	
	まちづくりの 戦略	〇 (2)だれもか女心・女宝に春らせるようづくり									
	平太平 百	0	(3)人口減少下(の活力と成長に向けたまちづくり							

	事務	 寄事業名	はびきの	子育てネット運用事務事業			事務事	業コード	412-04	-01				
	総計に基 ² 事業の進捗	づく 状況 (R2 年度)	Α	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(1	任意のもの) 打	∃当 R2	٦	ども課	R3 家庭	主支援課
		対象(誰を・何を)	子育で中	中の保護者	•	•	R2年度 事務事	業評価	(R1年度実施	事業) 最終	咚結果		二次評価対象	象事業
'	事務事業の 概要			市の公式子育て応援サイトとして、子 ることで、地域の子育てを支援する。	育てに関	する情報を		総合評価・ 後の方向性	現状維持	各視点から	らの評価	妥当性 A	有効性 B	効率性 B
		手段 (事業内容)	し、子育て	市立子育て支援センター、健康増進課が、そ に関する情報を提供している。こども課では など、子育て支援センターは日々の事業の様	台風などに	よる保育園の		総事業費 ち市負担額) 単位:千l	R1年度:	決算額 7,424 7,424)	R2年	度(当初)予算 5,220 5,220	額 R3年度 実施の 方向性	実施

基	本事業名	地域子	育て支援					対 (誰を・		保護者						
ā	基本事業 コード		413-01			基本事概要										
第6:	次羽曳野市総	合基本	計画			194.3	*	目 (どうした		地域で	孤立することな	い、楽し	く子育てでき	る環境を確	保する。	
	策目標			ぱたく子と	ども・若者を育むまち				+15	神		単位	H28. 4時;	点 R	1年度	R2年度
	策 策の方向	3	子育て支持		て支援の充実	総合基本	+÷Lisi		†E	標名		甲亚	現状値(総言	it)	実績	目標 (総計)
	ちづくりの	0	(1)羽曳里	の資源を	を活かしたまちづくり	目標打										
	:略	0			·安全に暮らせるまちづくり 活力と成長に向けたまちづくり											
	事系	8事業4	Ż	地域子で	育て支援拠点事業				事務事	≝⊐―ド	413-01	-01			·	
	総計に基づ	づく		A .	1	á	継続・	6№ 6±	法定・				- 12-	4 ≣⊞	pq 定	
	事業の進捗	1人/戊	(R2 年度)	A	順調である		新規	継続	自治 R2年度	日石争務(新		担当 R2		も味		庭支援課
1		対象(誰を・何を)	地域の)乳幼児及びその保護者 				事務事業	評価	(R1年度実施	事業):	最終結果	妥当性	二次評価対	象事業 効率性
	事務事業の		目的 たいのか))子育て支援機能の充実を図り どもの健やかな育ちを支援する					合評価・ その方向性	現状維持	各視点	からの評価	A	A	A
	概要				ひびその保護者が相互の交流を行うな			-		総事業費	R1年度	決算額	R2年度	(当初)予算		/\
			手段 業内容)	談、情報 サークル	の提供、助言その他の援助を行って 支援、年齢別親子教室や親子で楽し	いる。具体的 」めるイベント	には、子 などを開	育て講座、 催している。	(うち	市負担額) 単位:千		67,007 40.836) (67,007 40,836	実施の 方向性	実施
										4 [2.]	(40,000		40,000) 731-31-2	
		8事業4	各	古市複1	合館管理事務事業				事務事	業コード	413-01	-02				
	総計に基準事業の進捗	づく 状況	(R2 年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(任意のもの) オ	担当 R2	こど	も課	R3 家	庭支援課
		対象(誰を・何を)	古市複ター)	合館(子育て支援センターふる	るいち、図書	書館、青	が年セン	R2年度 事務事業	評価	(R1年度実施	事業):	最終結果		二次評価対	象事業
2	事務事業の		目的	地域の)子育てと青少年活動の拠点と	・する				合評価・	現状維持	各相占	からの評価	妥当性	有効性	効率性
	概要	(どうし	たいのか)		び教育委員会が管理する施討		· 夕 /回 ~	ウムファ		の方向性	R1年度			人 (当初)予算	A 額 R3年度	Α
			手段 業内容)	育て支	:援センター、図書館及び青少 ⁴					総事業費 (市負担額)		4,857	RZ 年及	4,823	実施の	実施
				る。						単位:千	H (4,857)](4,823) <mark>方向性</mark>	
	事務	事業名	各	ファミリ-	一サポートセンター運営事務事業	ķ			事務事	業コード	413-01	-03				
	総計に基金事業の進捗		(R2 年度)	В	概ね順調である		継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(任意のもの) オ	担当 R2	子育て支援セン	ノターふるいち	R3 子育て支担	長センターふるいち
		対象(誰を・何を)		:員・協力会員ともに、市内在住 の子どものいる方	Eの生後3ヵ	ハ月から	5小学6年	R2年度 事務事業	評価	(R1年度実施	事業):	最終結果		二次評価対	象事業
3	本水市米の		目的	子育で	の援助をして欲しい人(依頼会					合評価・	理什维性	夕知占	からの気体	妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうし	たいのか)	広げる	カ会員)の相互援助活動により ことを目的としている。					その方向性	現状維持			В	В	Α
			手段 業内容)	受けた	ーは、依頼会員と協力会員との 依頼会員は協力会員に報酬等					総事業費 5市負担額)	R1年度	2,896	R2年度	(当初)予算 3,626	実施の	実施
				活動報	3告書をセンターに提出する。 -					単位:千	円 (1,007) (1,713)方向性	
	事務	事業	ž	家庭支持	援推進保育所事務事業	•			事務事	業コード	413-01	-04				
	総計に基準事業の進捗	づく 状況	(R2 年度)	В	概ね順調である		継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(任意のもの) す	担当 R2	こど	t課	R3 家	庭支援課
	子木·7/正]9		誰を・何を)	民間保	- 		-171796		R2年度 事務事業	- 証価	(R1年度実施	事業):	L 最終結果		二次評価対	象事業
4			目的	家庭環	環境に支援を要する保育所入所					:評価:		1		妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要		たいのか)		ゝ、在宅での子育て家庭への支 児相談などを実施。	援として、	家庭訪	問、出前保		の方向性	現状維持			В	В	Α
					i問・出前育児相談等を行う保i	育園に対し	、補助:	金を交付す		総事業費 (市負担額)	R1年度	決算額 16,406	R2年度	(当初)予算	額 R3年度 実施の	実施
	手段 (事業内容)		耒内谷)	る。						単位:千	円 (7,925) (7,925	方向性	7470

基	本事業名	教育委員会の	運営				対 (誰を	象・何な)	教育委員	会				
	基本事業	421-0				基本事業の								
	<u>コード</u> 欠羽曳野市総	合基本計画				概要	じどうした	的 :いのか)	教育行政	の基本的な方	5針を決定	Eし、委員会事	務の推進を図る	0.
	策目標			とども・若者を育むまち				指標	 名		単位	H28. 4時点	R1年度	R2年度
	策 策の方向		カ」を育む	ひ教育の推進		総合基本計画	学校へ行くの	が楽しいと思	う児童・4	‡徒の割合	%	找値(総計) 児童85.4	実績 児童84.1	目標 (総計) 児童87.0
ま戦	ちづくりの 略			原を活かしたまちづくり >・安全に暮らせるまちづ	(J)	目標指標		望を持っている。			%	生徒84.7 児童84.1	生徒84.9 児童81.3	生徒87.0 児童87.0
			減少下の	の活力と成長に向けたま	ちづくり		145/605 (16)	£211,5 CV 01		E 100000	,,	生徒70.2 司	生徒69.0	生徒72.5
	総計に基	多事業名 ベノ		長員会運営事務事業		継続・	<u> </u>	事務事業コ		421-01-				
	事業の進捗	状況 (RZ 干点		順調である		新規	継続	自治 自 R2年度			当 R2	教育総務記		教育総務課
1		対象(誰を・何を) 教育3	姿貝会 				事務事業評	Щ	R1年度実施事	業) 最新		当性 有効性	西対象事業 生 効率性
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか	教育	委員会の権限に属する	る事務を円滑	に処理する。			評価・ 方向性	現状維持		/	<u> </u>	Α
		手段 (事業内容)	会を開	に関する議案を審議する。 開催する。新教職員人事	や規則の制定	など、教育に関	する一般方		業費 負担額)		9,381		8,154 実施	実施 実施
			針のみ	央定等を教育長及び4人	の教育委員の	合議制により行	「つ。		単位:千円	(9,381)	(8,154) 方向]性
	事務 総計に基	8事業名 ベノ	評価多	委員会関連事務事業		継続・		事務事業二	コード	421-01-	02			
	事業の進捗	状況 (RZ年月		順調である		新規	継続	法定・ 自治 R2年度		<u> </u>	当 R2	教育総務詞		教育総務課
2		対象(誰を・何を		委員会 な施策や事務事業の耳	収組状況につ	いて点検・評値	面を行い、	事務事業評	Ш	R1年度実施事	業) 最終		二次評価	西対象事業 生 効率性
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか	課題や	や取組みの方向性を明 の一層の推進を図る。					評価・ 方向性	現状維持	各視点から	の資本体	А А	Α
		手段 (事業内容)	行い、	委員会事務局にて、主 . 評価委員会の意見を	・聴取した上で	で、点検・評価の			業費 負担額)	R1年度決	780	R2年度(当社	771 実施	実施 実施
			書を作	作成し、議会への報告.	及び市民への	の公表を行う。			単位:千円	(780)	(771) 方向]性
		8事業名 	表彰隊	超速事務事業		60k 6±	ı	事務事業コ	コード	421-01-	03			
	総計に基事業の進捗	状況 (RZ 干点		順調である		継続・ 新規	継続	法定・ 自治 R2年度	治事務(任		当 R2	教育総務詞		教育総務課
3				、生徒、職員及び団体		1 = 1 4 7 = 4 4 =	₩ //= 1	事務事業評	Ш	R1年度実施事	業) 最終		二次評价	西対象事業 生 効率性
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか		委員会が表彰するのか 為のあったものを表彰		と認める队積、	、耒頼よた		評価・ 方向性	現状維持	各視点から	らの評価	A A	Α
		手段 (事業内容)		審査会において審議し なじて、随時表彰する。		日に表彰する	。また、必		業費 負担額)	R1年度決	815	R2年度(当初	918 実施	実施 実施
		is the sile to							単位:千円		815)	<u> (</u>	918) <mark>方向</mark>]性
	事 総計に基	务事業名		女革客議会運営事務事:		継続・	⋞ ⋭ ⋞ ≐	事務事業=	ュード	421-01-	04		, ,	
		づく 対況 (R2 年度	В	概ね順調である		継続・ 新規	継続	法定·自治 R2年度	コード 治事務(任	421-01- 意のもの) 担	04 当 R2	学校教育記	果 R3	学校教育課
4	総計に基事業の進捗	づく 状況 (R2年度 対象(誰を・何を	B) 教育d	概ね順調である 改革審議会委員	*	新規		法定·自治 R2年度 事務事業評	1一ド 出海務(任	421-01- 意のもの) 担 R1年度実施事	04 当 R2 ³ 業)最終	冬結果	果 R3 二次評価当性 有効性	学校教育課
4	総計に基	づく 状況 (R2年度 対象(誰を・何を	 B 教育 子育	概ね順調である 改革審議会委員 て及び教育行政の新た	*	新規		法定・ 自治 R2年度 事務事業評 総合 今後の	コード 治事務(任 西 (評価・ ・方向性	421-01- 意のもの) 担 R1年度実施事 現状維持	04 当 R2 事業) 最終 各視点から	冬結果 妥当	果 R3 二次評価 当性 有効性 B B	学校教育課 西対象事業 生 効率性 A
4	総計に基事業の進捗	づく 状況 (R2年度 対象(誰を・何を 目的	b) 教育。 子育语。 事門的	概ね順調である 改革審議会委員 て及び教育行政の新た	** - な課題等の - 長員が協議を	新規 重要事項につ したうえ、審議	いて調査	法定· 自治 R2年度 事務事業評 総合 今後の	コード 治事務(任	421-01- 意のもの) 担 R1年度実施事 現状維持	04 当 R2 多葉) 最終 各視点から 算額 104	終結果の評価R2年度(当者	果 R3 二次評価 二次評価 有効性 有効性 用 R3 B B R3 R3 実施 185 実施	学校教育課 面対象事業 主 効率性 A
4	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	対象(誰を・何を 目的 (どうしたいのか 手段 (事業内容)	教育子育審議専門作成	概ね順調である 改革審議会委員 て及び教育行政の新た する。 的見地に立ち審議会多 、今後の市の教育施	** - な課題等の - 長員が協議を	新規 重要事項につ したうえ、審議	いて調査	法定・ 自名 R2年度 事務事業 総合 今後の 総市	治事務(任 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	421-01- 意のもの) 担 R1年度実施事 現状維持 R1年度泳	04 当 R2 各視点から 各視点から 104 104 104	終結果の評価R2年度(当者	果 R3 二次評价 当性 有効性 B B	学校教育課 面対象事業 主 効率性 A
4	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	がく 状況 (R2年度 対象(誰を・何を 目的 (どうしたいのか 手段 (事業内容)	(1) 数育司 教育司 子審議司 専門成し 教科4	概ね順調である 改革審議会委員 て及び教育行政の新た する。 的見地に立ち審議会委 へ今後の市の教育施 非採択関連事務事業	** - な課題等の - 長員が協議を	新規 重要事項につ したうえ、審議 せる。	いて調査	法定・ 自 R2年度 事務事業 今後の の うち市	コード 治事務(任 (421-01- 意のもの) 担 R1年度実施事 現状維持 R1年度済	04 当 R2 各視点から 5葉)最終 104 104 104 05	※結果 Gの評価 R2年度(当名)	果 R3 二次評価 当性 有効性 B B R3のアージョ 185 185) 方向	学校教育課 面対象事業 生 効率性 A F度 あの 実施
4	総計に基 事業の進物 事務事業の 概要	対象(誰を・何を 対象(誰を・何を 目的 (どうしたいのか 手段 (事業内容)	B 教育 子育讀 專門成	概ね順調である 改革審議会委員 て及び教育行政の新たする。 的見地に立ち審議会 、今後の市の教育施 非採択関連事務事業 原調である	また。 たな課題等の を員が協議を 策に反映させ	新規 重要事項につ したうえ、審議 せる。	いて調査	法定治 日 R2年度 事務事業 総後総市 うちで うちで また。 うちで また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。	治事務(任 画評価・ 大方向性 業費担額) 単位:千円	### ### ### #########################	04 当 R2 募業) 最終 各視点から 算額 104 104) 05 当 R2	を結果 妥	果 R3 二次評価	学校教育課 面対象事業 主 効率性 A
4	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務事業の 総計に基 事業の進捗	対象(誰を・何を 対象(誰を・何を (どうしたいのか 手段 (事業内容) 第事業名 対象(誰を・何を 対象(誰を・何を	お	概ね順調である 改革審議会委員 て及び教育行政の新た する。 的見地に立ち審議会委 へ今後の市の教育施 非採択関連事務事業	また たな課題等の を員が協議を 策に反映させ	新規 重要事項につ したうえ、審議 せる。 継続・ 新規	会答申を継続	法定治 R2年度 事務事業評 総後 総市 本務事業 法定治 (うち市	治事務(任 (() () () () () () () () () (### ### ### #########################	04 当 R2 各視点かi 算額 104 104) 05 当 R2	及結果 妥当	果	学校教育課 面対象事業 主 効率性 A 「理读の性 学校教育課 面対象事業 主 効率性
	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	が、 大況 (R2年度) 対象(誰を・何を (どうしたいのか 手段段容) 多事業名 対象(誰を・何を 対象(誰を・何を	数	概ね順調である 次革審議会委員 て及び教育行政の新たする。 対見地に立ち審議会会 へ会後の市の教育施 解釈関連事務事業 瞬間である 委員、市立小中学校及 な手続きのもと、羽曳野書を採択し、学習基盤	たな課題等の を負が協議を 策に反映させ なび義務教育 野市の子ども	新規 重要事項につ したうえ、審議 せる。 継続・ 新規 学校教職員 たちにとって最	会答申を継続	法定治 日 R2年度 事務事業 会後総市 うちな市 を注治度 事務 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 2 6 6 6 7 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	治事務(任 (証評) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (#21-01- 意のもの) 担 R1年度実施事 現状維持 (1 #21-01- 際的なもの) 担 R1年度実施事 現状維持	04 当 R2 各視点から で算額 104 104) 05 当 R2 各視点から	※結果 Booker R2年度(当社) (学校教育記 ※結果 Booker Booker<	果 R3 二次評価	学校教育課 面対象事業 主 効率性 A F度の性 学校教育課 面対象事業 主 効率性 A
	総計に基 事業の進物 事務事業の 概要 事務事業の を計に基 事業の進物	対象(誰を・何を 対象(誰を・何を (どうしたいのか 手段 (事業内容) 第事業名 対象(誰を・何を 対象(誰を・何を	数 育 司 事 作成 L 数 和 看 司 公 教 可 再 可 成 以 教 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可	※本本順調である 次革審議会委員 て及び教育行政の新たする。 か見地に立ち審議会委員 ・今後の市の教育施 事様状関連事務事業 順調である ま手続きのもと、羽曳野書・続きのもと、羽曳野書・様状し、つった・・ 第里・ 1000 できまります。 お再見地に立った・ 1000 できまります。 ・市 5月・ 1000 できまります。 ・市 5月・ 1000 である ・	またな課題等の を員が協議を を策に反映させ なび義務教育 をを整える研究を 調査・研究を	新規 重要事項につ したうえ、審議 せる。 継続・ 新規 学校教職員 たちにとって最	いて調査 会答申を 継続 最も適した	法定治 居2年務事業 総後 総市 本 第 を 注 自 日	治事務(任 (() () () () () () () () () (### ### #############################	04 当 R2 各視点から で算額 104 104) 05 当 R2 各視点から	※結果 Booper C E <	果 R3 二次評価	学校教育課 西対象事業 生
	総計に基 事業の進物 事務事業の 概要 事務事業の 総計に基 事業の進物	対象(離を・何を (どうしたいのか 事業名 対象(離を・何を 対象(離を・何を とうしたいのか 手段内容)	お	本名 調問である 次革審議会委員 て及び教育行政の新たする。 か見地に立ち審議会多の、今後の市の教育施 非状関連事務事業 「関いてある 委員、市立小中学校及 な手続きのもと、羽曳撃 書を採択し、学習基盤 か見地に立った十分なまった。 の見れている意見まする。	** - な課題等の - を員が協議を 第に反映させ なび義務教育 - 野市の子ども - 野市の子る。 - 調査・研究を - 別映したうえ	新規 重要事項につ したうえ、審議 せる。 継続・ 新規 学校教職員 たちにとって最	いて調査 会答申を 継続 最も適した	法定治 日 R2年度 事務事 総後 総市 (うち市 本 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2	治事務(任 ((所)	### ### ### #########################	04 当 R2 発視点から 算額 104 104) 05 当 R2 各視点から 等類 も現点から 等類 1,434	※結果 Booper C E <	果 R3	学校教育課 西対象事業 生
	総計に基 事業の進物 事務事業の 概要 事務事業の 概要	対象(離を・何を 対象(離を・何を (どうしたいのか 手段内容) (R2年度 対象(離を・何を ・ 事業名 対象(離を・何を ・ 一様である。 ・ 一	り 教育でである。 事作成し 教 公教 専 正科 門 に で 教 の で 利 の で で	概ね順調である 改革審議会委員 て及び教育行政の新たする。 的見地に立ち審議会 の、今後の市の教育施 「はいまする。 「はいまする。 「はいまする。 「はいまする。 「はいまする。 「はいまする。 「はいまする。」 「はいまする。 「はいまする。 「はいまする。」 「はいまする。」 「はいまする。」 「はいまする。 「はいまする。」 「はいまする。 「はいまする。」 「はいまする。」 「はいまする。」 「は	** - な課題等の - を員が協議を 第に反映させ なび義務教育 - 野市の子ども - 野市の子る。 - 調査・研究を - 別映したうえ	新規 重要事項につ したうえ、審議 まさる。 継続・ 学校教職員 たちにとって にこ、選定委員会	いて調査 会答申を 継続 最も適した 、それを踏を	法定治 度事 総後 総市 本	治事務(任 ((((((((((((((((((### ### ### #########################	04 当 R2 等額 104 104) 05 当 R2 等額 1,434 1,434 1,434	※結果 BOPPIm E R2年度(当本 (学校教育記 ※結果 R2年度(当本 (果 R3	学校教育課
	総計に基 事業の進物 事務事業の 概要 事務事業の 概要 事務事業の 概要	対象(離を・何を 対象(離を・何を (どうしたいのか 手段内容) (R2年度 対象(離を・何を ・ 事業名 対象(離を・何を ・ 一様である。 ・ 一	数 教育 育	本 本	** - な課題等の - を員が協議を 第に反映させ なび義務教育 - 野市の子ども - 野市の子る。 - 調査・研究を - 別映したうえ	新規 重要事項についている。 を はたうえ、審議 はる。 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	いて調査 会答申を 継続 最も適した	法自治 度事 総後 総市 高記 年 1 日 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	治事務(任 ((所)	### ### ### #########################	04 当 R2 第業) 最終 第項 104 104) 05 当 R2 算額 1.434 1.434 1.434 1.434 1.434 1.434	 ※結果 B R2年度(当名) ((学校教育部 R2年度(当名) (((学校教育部 	果 R3	学校教育課 西対象事業 生
	総計に基 事業の進物 事務事業の 概要 事務事業の 概要 事務事業の 概要	対象(離を・何を (どうしたいのか 事業名 (どうしたいのか 手業内容) 対象(誰を・何を (どうしたいのか 手業内容) 対象(誰を・何を (どうしたいのか 手段内容)	数 教育 育議 門成 数 科 看 京	本本順調である 本本審議会委員 て及び教育行政の新たする。 わ見地に立ち審議会会 の見地に立ち審議会会 を表した。今後の市の教育施 「はない。」 「はないい。」 「はないいい。」 「はないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	** - な課題等の - を員が協議を 第に反映させ なび義務教育 - 野市の子ども - 野市の子る。 - 調査・研究を - 別映したうえ	新規 重要事項につ したうえ、審議 まさる。 継続・ 学校教職員 たちにとって にこ、選定委員会	いて調査 会答申を 継続 最も適した 、それを踏を	Example Ex	油 治事務(任 (()	### ### ### ### #####################	04 当 R2 を視点が で算額 104 104) 05 当 R2 等額 1,434) 06 当 R2	 ※結果 ※結果 ※結果 ※結果 ※結果 ※結果 	果 R3	学校教育課 面对象事業 生 A F度の性 実施 学校教育課 A 正対象事業 実施 学校教育課 面対象事業 重対象事業 対率性
5	総計に基 事業の進物 事務事業の 概要 事務事業の 概要	対象(離を・何を ・ 大沢 (R2年度) 対象(離を・何を ・ (どうしたいのか ・ 事業名 対象(離を・何を ・ 対象(離を・何を ・ でうしたいのか ・ 事業名 ・ (だうしたいのか ・ 事業名 ・ (だうしたいのか ・ 事業名 ・ (だうしたいのか ・ 事業名 ・ (だうしたいのか	お	本 本	** - な課題等の - を員が協議を 第に反映させ なび義務教育 - する。 - ずっている。 - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	新規 重要事項につ したうえ、審議 せる。 継続 新規 学校教職員 たちにとって最	会答申を 経続 とも適した いでの答申を 継続	法自治 度事 総後 総市 本法自治 度事 総後 総市 本法自治 度事 総後 総市 本法自 R2年務 ・ 合の ま	一	### ### ### ### #####################	04 当 R2	※結果 6の評価 R2年度(当初) (学校教育記 ※結果 「 学校教育記 ※結果 6の評価 ※結果	果 R3	学校教育課 面对象事業 生 A F度 実施 一件 実施 一件 実施 学校教育課 A 一件 実施 一件 学校教育課 面対象事業 カ平性 A A
5	総計に基 事務事業の 概要 事務事業の 機要 事務事業の 機要 事務事業の 機器 事務事業の 機器	対象(離を・何を (どうしたいのか 事業名 (どうしたいのか 手業内容) 対象(誰を・何を (どうしたいのか 手業内容) 対象(誰を・何を (どうしたいのか 手段内容)	お	本本順調である 本本審議会委員 て及び教育行政の新たする。 わ見地に立ち審議会会 の見地に立ち審議会会 を表した。今後の市の教育施 「はない。」 「はないい。」 「はないいい。」 「はないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	またな課題等の を負が協議を を策に反映させ を変策に反映させ を変査・研究を が成映したうえ	新規 重要事項につ したうえ、審議 せる。 継続 新規 学校教職員 たちにとって 最近なる。 継続 新規 、教育の振興	いて調査 会答申を 継続 とも適した 、での答申を 継続	R2年春 1 1 1 1 1 1 1 1 1	油 治事務(任 (()	### ### ### #########################	04 当 R2	※結果 BOPPIM E R2年度(当名 (学校教育記 R2年度(当名 (学校教育記 R2年度(当名 (PY校教育記 (PY校教育記 (<th>果 R3</th> <th>学校教育課 面対象事業 生 A F度 高の性 学校教育課 面対象事業 基施 学校教育課 面対象事業 基本 本 A F度 の性 学校教育課 面対象事業 基本 A F度 の性 実施</th>	果 R3	学校教育課 面対象事業 生 A F度 高の性 学校教育課 面対象事業 基施 学校教育課 面対象事業 基本 本 A F度 の性 学校教育課 面対象事業 基本 A F度 の性 実施
5	総計に基 事務事業の 概要 事務事業の 機器 事務事業の 機器 事務事業の 機器 事務事業の 機器 事務事業の 機器 を 機器 を 機器 を を を を を を を を を を を を を	対象(離を・何を (どうしたいのか 事業名 (どうしたいのか 事業名 (どうしたいのか 事業名 (どうしたいのか 事業名 (どうしたいのか 事業名 (どうしたいのか 事業名 (どうしたいのか 事業名 (どうしたいのか 事業名 (どうしたいのか 事業と (どうしたいのか 事業名 (どうしたいのか 事業と (どうしたいのか 事業と (どうしたいのか 事業と (どうしたいのか 事業と (どうしたいのか 事業と (どうしたいのか 事業と (どうしたいのか 事業と (とうしたいのか 事業と (とうしたいのか) (事業と (とうしたいのか) (事業と (とうしたいのか) (事業と (とうしたいのか) (事業と (とうしたいのか) (をうしたいのか) (をうしいのか) (をうしいの	お	 概ね順調である 改革審議会委員 て及び教育行政の新たする。 約見地に立ち審議会表 神探状関連事務事業 順調である 委員、市立小中学校及な手続択し、つたの市らとしての意味を扱い、つたのである。 最異基金管理運用事務が順調である 振興基金 の振興基金 の振興基金 の振興を図る。 金及び利子収入る。 金を及び利子収入る。 	** - な課題等の - な課題等の - ない 義務教育 - なび 義務教育 - おい 表	新規 重要事項につ したうえ、審議 せる。 継続 新規 学校教職員 たちにとって 最近なる。 継続 新規 、教育の振興	いて調査 会答申を 継続 とも適した 、での答申を 継続	R2年春 1 1 1 1 1 1 1 1 1	一	### ### ### #########################	04 当 R2 第額 104 104) 05 当 R2 等額 1,434 1,434 1,434) 06 当 R2 等額 1,434 1,434)	※結果 BOPPIM E R2年度(当名 (学校教育記 R2年度(当名 (学校教育記 R2年度(当名 (PY校教育記 (PY校教育記 (<th>果 R3</th> <th>学校教育課 面対象事業 生 A F度 高の性 学校教育課 面対象事業 基施 学校教育課 面対象事業 基本 本 A F度 の性 学校教育課 面対象事業 基本 A F度 の性 実施</th>	果 R3	学校教育課 面対象事業 生 A F度 高の性 学校教育課 面対象事業 基施 学校教育課 面対象事業 基本 本 A F度 の性 学校教育課 面対象事業 基本 A F度 の性 実施
5	総計に基 事業の進物 事務事業の 機器に基 事務事業の 機器に基 事務事業の 機器を 事務事業の 機器を 事務事業の 機器を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	対象(離を・何を (どうしたいのか 事業名 (どうしたいのか 事業名 (どうしたいのか 事業名 (どうしたいのか 事業名 (どうしたいのか (事業名) (どうしたいのか (事業名) (どうしたいのか (事業名) (どうしたいのか (ま事業名) (どうしたいのか (ま事業名) (どうしたいのか (ま事業名)	教 子審 專作 教 公教 專志作 教 有 育 正科 門 元 元 成 青 有 百 不利 門 元 元 南 有 百 6 一 数 有 育 附 の 金 単 校 し	※本本順調である 次革審議会委員 て及び教育行政の新たする。 か見地に立ち審議会考施 書採択関連事務事業 順調である 委員、市立小中学校及は手続採択し、つった・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	** - な課題等の - な課題等の - ない 義務教育 - なび 義務教育 - おい 表 で 表 で 表 で で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま	新規 重要事項につ したうえ、審議 せる。 継続・ 新規 学校教職員 たちにとって最近の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の	いて調査 会答申を 継続 とも適した 、での答申を 継続	R2年務 1	一	### ### ### #########################	04 当 R2 第額 104 104) 05 当 R2 等額 1,434 1,434 1,434) 06 当 R2 等額 1,434 1,434)	※結果 BOPPIM E R2年度(当名 (学校教育記 R2年度(当名 (学校教育記 R2年度(当名 (PY校教育記 (PY校教育記 (<th>果</th> <th>学校教育課 面対象事業 生 A F度 高の性 学校教育課 面対象事業 基施 学校教育課 面対象事業 基本 本 A F度 の性 学校教育課 面対象事業 基本 A F度 の性 実施</th>	果	学校教育課 面対象事業 生 A F度 高の性 学校教育課 面対象事業 基施 学校教育課 面対象事業 基本 本 A F度 の性 学校教育課 面対象事業 基本 A F度 の性 実施
6	総計に基 事務事業の 概要 事務事業の 機器 事務事業の 機器 事務事業の 機器 事務事業の 機器 事務事業の 機器 を 機器 を 機器 を 機器 を 機器 を を を を を を を を	が、 (R2年度) 対象(誰を・何を (どうしたいのか) 手業名 (R2年度) 対象(誰を・何を) が、 (事業名) が、 (財政の) 第事業名 (R2年度) 対象(誰 目的いのか) 第事業名 (R2年度) 対象(誰 目かいのか) 第事業名 (R2年度) 対象(これの) 第事業名 (R2年度) 対象(これの) 第事業名 (R2年度) 対象(これの) 第事業名 (R2年度) 対象(これの) 第一条 (R2年度) 対象(これの) 第一条 (R2年度) 対象(R2年度) 対象(R2年度	お	本本順調である 本本審議会委員 て及び教育行政の新たする。 の見地に立ち審議会会 の見地に立ち審議会会 を解状関連事務事業 「解験である 委員、市立・ハー中学校及 な手続採れし、学習基盤 の見地に立ての意見も でする。 「表現基金管理運用事務なる 振興基金 の振興を図る。 金とがに活用事業: 海外招聘ま 「ため問題対策審議会選 」にめ問題対策審議会選 」にいる 「ないる。 「はいる。」 「はいる。」 「はいる。」 「はいる。」 「はいる。」 「はいる。」 「はいる。」 「はいる。」 「はいる。」 「はいる。」 「はいる。」 「はいる。」 「はいる。」 「はいる。」 「はいる。」 「はいる。」 「はいる。」 「はいるる。」 「はいるる。」 「はいるる。」 「はいるる。」 「はいるる。」 「はいるる。」 「はいるる。」 「はいるる。」 「はいるる。	** ** ** ** ** ** ** ** ** **	新規 重要事項につ したうえ、審議 せる。 継続規 学校教職 したうえ、 をおした が長 たちにとって の にの が の にの が の にの を を の を を の を を の を を の を を の を を を の を	いて調査会答申を経続したいでの答中を踏をを継続に関する事で所費】	R2年務	治事務(任任((() 本事務(任任 () 本事務(任任 () 本事務(任任 () 本事務(任任 () 本事務() 本	### ### ### #########################	04 当 R2	 ※結果 ※ P 校教育記 	果 R3	学校教育課 面対象事業 生 A F度の性 実施 学校教育課 面対象事業 直対象事業 基施 学校教育課 面対象事業 基本 基施 上度の性 実施
5	総計に基 事業の進物 事務事業の 機器に基 事務事業の 機器に基 事務事業の 機器を 事務事業の 機器を 事務事業の 機器を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	が (R2年度) 対象(誰を・何を (どうしたいのか) 等事業名 (どうしたいのか) 等事業名 (どうしたいのか) (事業名) (どうしたいのか) (事業名) (どうしたいのか) (事業名) (どうしたいのか) (事業名) (どうしたいのか) (事業名) (どうしたいのか) (事業名) (どうしたいのか) (事業名) (どうしたいのか) (事業名) (どうしたいのか) (事業名) (どうしたいのか) (事業名) (どうしたいのか) (事業名) (どうしたいのか) (事業名) (どうしたいのか) (を) (どうしたいのか) (事業名) (どうしたいのか) (を) (どうしたいのか) (事業名) (どうしたいのか) (を) (どうしたいのか) (を) (どうしたいのか) (を) (どうしたいのか) (を) (どうしたいのか) (を) (どうしたいのか) (を) (どうしたいのか) (と) (どうしたいのか) (と) (と) (と) (と) (と) (と) (と) (と	B	本本調問である。 な 革 審議会委員 て及び教育行政の新たする。 か見地に立ち審議会委 から、今後の市の教育施 「「「「「「「「」」」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」	・ たな課題等の を	新規 重要事項については、審議を対した。というでは、事項については、事項については、事務が、をしていては、事務が、事務を表して、事務を表して、事務を表して、事務を表して、事務を表している。というでは、事務を表している。をましている。	いて調査会答申を継続したいでの答申を踏をといいての答申をといいての答申を経続に関する事での対象を	上 上 上 上 上 上 上 上 上 上	一	### ### ### ### #####################	04 当 R2	 ※結果 ※ P	果 R3	学校教育課
6	総計に基 事業の進物 事務事業の 機器計に基準 事務事業の 機器 事務事業の 機器 事務事業の 機器 事務事業の 機器 を 機器 概要	対象(離を・何を (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) (事業名 (どうしたい段容)	お	本本調調である 本本審議会委員 て及び教育行政の新たする。 内見地に立ち審議会会 内見地に立ち審議会会 「大きの市の教育施 「大きの市の教育施 「大きの市の教育施 「大きの市の大きである。 「大きの市のもと、羽ま盤・大きの中で大及な、まきない、つった・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一	** こな課題等の を質に反映され なび、義務教育 なび、義務教育 を調映した。 なび、表務教育 を調映した。 ない ない ない ない ない ない ない ない ない な	新規 重要事項については、審議を表した。 というでは、審議を表した。 というでは、要素を表した。 というでは、要素を表した。 というでは、要素を表して、更多を表して、更多を表もして、更もして、更多を表もして、更もして、更多を表もして、更もして、更ものでも、更ものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでも	いて調査会答申を継続したないでの答案に関する事での答案に関する事での対象を	R2年務 1	一 治事務(任 (()	### ### ### ### #####################	04 当 R2	 ※結果 ※ P	果 R3	学校教育課

++			1444				対	象				+ >+ +/L	*- **4 .1	_			
		小中学校管理運	T		基本事業		(誰を・		を)	市立小中	学校及び	義務教	肖字	交			
	基本事業 コード	421-02			基本事未 概要	(0)		的		安全で快	適な教育環	環境・学	習環	境を確保する	న 。		
第62	次羽曳野市総	合基本計画					(どうした	:610	りか)								
	策目標 策	4 未来に羽 2 学校教育	ぱたく子と	ども・若者を育むまち					指標	名		単	位現	H28.4時点 限状値(総計)		1年度 実績	R2年度 目標(総計)
	策の方向	1 「生きる力		教育の推進	総合基本記目標指標												
	ちづくりの 略	O (2)だれも	が安心・	を活かしたまちづくり ・安全に暮らせるまちづくり	日保担任	景											
'^		〇 (3)人口派	域少下の:	活力と成長に向けたまちづくり				_						<u> </u>			
	事務	務事業名	小中学	校総務管理事務事業				哥	事務事業コ	コード	421-0	2-01					
	総計に基 ² 事業の進捗		Α	順調である	継紙新		継続		ま定・ 自治	治事務(義	務的なもの)	担当	R2	教育総務	務課	R3 勢	育総務課
		対象(誰を・何を)	市立小	中学校及び義務教育学校		•			2年度 務事業評	価(R1年度実施	色事業 [最終	終結果		二次評価対	象事業
1	事務事業の	目的		校及び義務教育学校の適正か					総合	評価・	改善して継	続 各神	点か		妥当性	有効性	効率性
	概要	(どうしたいのか)	め、児	童・生徒及び利用者に快適で安	全な学校生	活を	提供する。			方向性 3業費		要決算額		R2年度(当	A 4初/圣符	A 額 R3年度	Α
		手段 (事業内容)	消耗品	の購入、校務員の配置など						負担額)		102,97	0		116,828	実施の	
		事務事業名 小中学校物品等管理事務事業								単位:千円	(102,97	0)		116,828) <mark>方向性</mark>	
	事務	事務事業名 小中学校物品等管理事務事業						岬	事務事業=	コード	421-0	2-02					
	総計に基 ² 事業の進捗	づく 状況 (R2 年度)	Α	順調である	継紙新		継続		t定・ 自治	治事務(義	務的なもの)	担当	R2	教育総務	務課	R3 教	育総務課
		対象(誰を・何を)	市立小	中学校及び義務教育学校		•			2年度 務事業評	価(R1年度実施	色事業 [最終	終結果		二次評価対	象事業
2	事務事業の	目的		校及び義務教育学校の適正か						評価・	改善して継	続 各神	点か		妥当性	有効性	効率性
	概要	(どうしたいのか)	め、児童	童・生徒及び利用者に快適で安 	全な学校生	活を	提供する。			方向性 工業費		ま決 算名		R2年度(当	A (却) 圣質	A 額 R3年度	A
		手段 (事業内容)	学校備	品の購入						負担額)		55,75 54.81	3	/(2千及(=	64,049 63,549	実施の方向性	
										単位:千円	(54,81	2)	(63,549) 万间性	
	事務	務事業名	小中学	校保健衛生等事務事業				哥	事務事業コ	コード	421-0	2-03					
	総計に基 ² 事業の進捗	づく 状況 (R2 年度)	Α	順調である	継紙新		継続		ま定・ 自治	治事務(義	務的なもの)	担当	R2	学校教育	育課	R3 学	校教育課
		対象(誰を・何を)	市立小	中学校及び義務教育学校在学	児童・生徒.	、教耶	战員	R: 事	2年度 務事業評	価(R1年度実施	色事業 [最終	終結果		二次評価対	
3	事務事業の	目的		生徒、教職員の健康保持・増進		<u></u>			総合	評価・	現状維持	车 各和	点か	らの評価	妥当性	有効性	効率性
	概要	(どうしたいのか)	学校教	で育の円滑な実施、保護者の医療	寮費負担軽	減				方向性 業費		要決算額		R2年度(当	A (却) 圣管	A 額 R3年度	A
		手段 (事業内容)	健康診	。断、各種検診、学校環境検査、	災害共済総	合付等	F			負担額)		59,73	6	N24及(=	66,671	実施の	
										単位:千円	(56,62	1)	(62,899) <mark>方向性</mark>	
	事務	 第事業名	小中学	校図書館支援事業				朝	事務事業=	コード	421-0	2-04					
	総計に基 [・] 事業の進捗	づく ·状況 (R2 年度)	Α	順調である	継統新		継続		法定・ 自治	治事務(義	務的なもの)	担当	R2	学校教育	評	R3 学	校教育課
		対象(誰を・何を)	小中学 児童・5	校図書館システム、市立小中学 生徒	や校及び義和	務教育	育学校在学		2年度 務事業評	価 (R1年度実施	色事業 :	最終	終結果		二次評価対	
4	事務事業の	目的		上に 人間性を広げるために不可欠な	図聿韶粉측	た本	宇させる		総合	評価・	現状維持	生 名:1	占か	らの評価	妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうしたいのか)	WIE.	八川エではいるにめたかり大な	四盲跖羽目	ел	大でにつ。			方向性					A	A	Α
		手段 (事業内容)		アンステムの保守や運営支援、書 アどもたちの読書活動の環境を		業をす	ナすめるこ			業費 負担額)		度決算名 42,34	3	R2年度(当	46,297	実施の	
			_ `` '	, こうにういんは7日対いなができ	E/L W0					単位:千円	(42,34	3)	(46,297) <mark>方向性</mark>	

基	本事業名	教育内容の充実					象 (7.t.)	児童及び	が生徒				
	基本事業 コード	421-03			基本事業の 概要	(誰を							
	コート 欠羽曳野市総	合基本計画			19.55		的 :いのか)	基礎学力	り、体力の向	上と豊か	な人間性の育用	成を図る。	
施施	策の方向 ちづくりの	2 学校教育 1 「生きる力 (1)羽曳駅 (2)だれも	」を育む教	でも・若者を育むまち 数育の推進 を活かしたまちづくり 安全に暮らせるまちづくり 活力と成長に向けたまちづくり	総合基本計画目標指標		指標	名		単位	H28. 4時点 現状値(総計)	R1年度 実績	R2年度 目標(総計)
	事利	務事業名	小学校	英語サポート事業			事務事業二	コード	421-0	3-01			
	総計に基事業の進捗	づく _{b状況} (R2 年度)			継続・新規	終了	法定・自治	目治事務(任	E意のもの)	担当 R2		R3	
	1 10 0 0	対象(誰を・何を)	実施希	! 望のあった小学校の5、6年生			R2年度 事務事業評	価 ((R1年度実	施事業) 晶	是終結果	二次評価	対象事業
1	事務事業の	目的 (どうしたいのか)		童の国際意識および外国語で	のコミュニケーシ	付いません		·評価·)方向性		各視点	野からの評価	当性 有効性	効率性
	概要	手段(事業内容)	英語に	△~。 堪能な市職員が、2週間に1回 授業のサポートを行う。	程度学校に訪問	別し、小学校	総事	・メブト・リエ ・業費 ・負担額) 単位:千円		要決算額	R2年度(当	初)予算額 民3年 実施 方向	度 D
	事系	務事業名	学校IC	T環境整備事業			事務事業二	л—К	421-0	3-02	7		
	総計に基	づく (D2年度)		順調である	継続・	継続	法定・			担当 R2	教育総務	s課 R3	教育総務課
	事業の進捗	対象(誰を・何を)	児童及	13125 335 5	新規	1111111	自治 R2年度 事務事業評		(R1年度実				対象事業
2	事務事業の	目的	ICT教育	育環境の充実を図り、児童及び	、 生徒のICT活用	能力を高め	総合	評価・	围 护 维t	各視点	いこの事が無	4 有効性	効率性
	サガラ来の 概要	(2)0/2010/31/	••	進事業に基づきICT教育の環境	音整備を図る 、3	(ICT(情報		方向性 工業費		要決算額	R2年度(当	A A R3年	A
		手段 (事業内容)	コミュニ	ニケーション技術)教育とは、情報 コミュニケーション環境を提供し	報技術を用いて	学習者に		負担額) 単位:千円		70,741 70,741	1	05,408 実施 05,408) 方向	変 実施
	事利	務事業名	ALTを流	舌用した外国語教育推進事業			事務事業	コード	421-0	3-03	7		
	総計に基事業の進捗		Α	順調である	継続・ 新規	継続	法定・自治	治事務(任	E意のもの)	担当 R2	学校教育	課 R3	学校教育課
3			市立小	- 中学校及び義務教育学校 児	童·生徒·教職員	l	R2年度 事務事業評	価	(R1年度実	他事業) 最	是終結果	二次評価	対象事業
3	事務事業の	目的 (どうしたいのか)		生徒の言語や発音の向上や、5 育成を図るとともに、国際理解		ニケーション		·評価·)方向性	現状維持	寺 各視点:	からの証価	A A	効率性 A
	概要	手段	•英語(に慣れ親しむ場面での活用・英		英語表現	総事	業費 (負担額)	R1年	変決算額	R2年度(当	初)予算額 R3年	度
		(事業内容)	の活用 ・外国0	^{拍得} D文化や行事、生活習慣、歴史	1等に関する活動)	נוופל)	単位:千円	(14,299 13,052		15,445 実施 15,445) 方向	
		務事業名	人権教	育推進事業			事務事業	コード	421-0	3-04			
	総計に基 事業の進捗	づく 大況 (R2 年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	日泊	治事務(義	務的なもの)	担当 R2	学校教育	課 R3	学校教育課
4	総計に基事業の進捗	大汉(NZ + /文)	市立小	 中学校及び義務教育学校教職	新規 战員、市人権教育	T研究会	自治 目 R2年度 事務事業評	価 (務的なもの)		是終結果	二次評価	対象事業
4	事業の進捗	対象(誰を・何を)	市立小各学校もたちが	ー 中学校及び義務教育学校教職 における人権に関する校内研 が安心して学校生活を送れる環	新規 裁員、市人権教育 修を充実させる。	l 研究会 とで、子ど	自治 目 R2年度 事務事業評 総合	((R1年度実		最終結果 数3.の証価		対象事業
4	事業の進捗	対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段	市立小各学校もたちが、園づくり	 中学校及び義務教育学校教職における人権に関する校内研	新規 裁員、市人権教育 修を充実させるる 環境(人権が尊重	l 「研究会 ことで、子ど された学校	自治 R2年度 事務事業評 総合 今後の	価 (評価・	現状維持	施事業) 最	最終結果 数3.の証価	二次評価 4 A A	対象事業 対率性 A
4	事業の進捗	大沢	市立小各学校もたちが、園づくり	中学校及び義務教育学校教職 における人権に関する校内研 が安心して学校生活を送れる環 リ)をととのえる。	新規 裁員、市人権教育 修を充実させるる 環境(人権が尊重	l 「研究会 ことで、子ど された学校	自治 R2年度 事務事業評 総合 今後の	価 (評価・)方向性	現状維持	施事業) 量 各視点 変決算額	を終結果 妥からの評価	二次評価 子当性 有効性 A A A A R R 3 年	対象事業 対象事業 対率性
4	事業の進掛 事務事業の 概要	対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容)	市立小各学校もたちた園づくり	中学校及び義務教育学校教職における人権に関する校内研 が安心して学校生活を送れる環 りをととのえる。 修への講師招聘にあたり、謝礼 中一貫教育推進事業	新規 裁員、市人権教育 修を充実させるこ 環境(人権が尊重 出の支援をする。	「研究会 ことで、子ど された学校	自治 R2年度 事務事業評 総合 今後の 総非 (うち市	価・シカウト (注)	現状維持 現状維持 R1年 421-0	商事業) 重	最終結果 からの評価 R2年度(当)	二次評価 A A A A A A A A A A A B C B C	対象事業 対象事性 A 実施
4	事業の進捗 事務事業の 概要	状況 (R2年度) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容)	市立小各学校もたちが、園づくり、校内研保幼小	中学校及び義務教育学校教職における人権に関する校内研 が安心して学校生活を送れる現 りをととのえる。 修への講師招聘にあたり、謝礼 中一貫教育推進事業	新規 裁員、市人権教育 修を充実させるる 環境(人権が尊重 といの支援をする。 継続・ 新規	「研究会 ことで、子ど された学校 継続	自治 R2年度 事務事業評 総後の 会後の (うち市 本務事業 法定)	価 (評価・)方向性 (新文章) (計画・手内) (計画・手向) (計画	現状維持 R1年度実 現状維持 R1年 (421-0 任意のもの)	を事業) 量 各視点 1,186 1,186 1,186 13-05 担当 R2	受験結果 ※ Proの評価 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	二次評価 A A A A A A A A A A A A A A A A B	対象事業
5	事業の進樹 事務事業の 概要 事務	対象(誰を・何を) 「おりから」 「まりから」 「まり	市立小各学校もたちが関づくり校内研保幼小園	中学校及び義務教育学校教職における人権に関する校内研 が安心して学校生活を送れる環 りをととのえる。 修への講師招聘にあたり、謝礼 中一貫教育推進事業	新規 裁員、市人権教育 修を充実させるる 環境(人権が尊重 もの支援をする。 継続・ 新規	「研究会」 とで、子ど された学校 継続	自治 R2年度 事務事業	価・グラファイン () () () () () () () () () (現状維持 現状維持 R1年 421-0	を事業) 量 各視点 1,186 1,186 1,186 13-05 担当 R2	受験結果 妥 タントラの評価 R2年度(当) (学校教育	二次評価 A A A A A A A A A A A A A A A A B	対象事業
	事業の進樹 事務事業の 概要 事務	対象(誰を・何を) 「とうしたいのか」 「事段 「事業内容」 「いる」 「中華」 「いる」 「いる」 「いる」	市立小各学など、校内研りのでは、一本のでは、一は、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一は、一本のでは、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は	中学校及び義務教育学校教職における人権に関する校内研 が安心して学校生活を送れる現りをととのえる。 「修への講師招聘にあたり、謝神 中一貫教育推進事業 「課題である ・ 本籍園、小・中学校、義務教育学 「教科学力・学びの基礎力等を関連に ・ 古前大学びの基礎力等を関連に ・ 古前大学での基礎力等を関連に ・ 古前大ることを目的とする。	新規 裁員、市人権教育 修を充実させるこ 環境(人権が尊重 といの支援をする。 継続 新規 学校および保育園 けけ、中学校区で「め	「研究会 ことで、子ど された学校 継続 」 さす子ども像」 人ひとりの「生	自治 R2年度 事務事業 総合の 総	価 (R1年度実 現状維持 R1年 (421-0 (R1年度実 現状維持	 布事業)量 春視点 五月 五月<!--</th--><th> R2年度(当) (学校教育 & を結果</th><th>二次評価 A A A A A A A A A A A A A A</th><th>対象事業</th>	R2年度(当) (学校教育 & を結果	二次評価 A A A A A A A A A A A A A A	対象事業
	事業の進捗 事務事業の 概要 事務事業の 事務事業の	状況 (R2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 手段(事業内容) 第事業名	市立学方なり、研をあったのでは、一本のでは、一は、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は	中学校及び義務教育学校教職 における人権に関する校内研 が安心して学校生活を送れる環 り)をととのえる。 修への講師招聘にあたり、謝神 中一貫教育推進事業 職闘である 稚園、小・中学校、義務教育学 「か年に加え保育園での活動も関連作 、教科学力・学びの基礎力等を関連作 言成することを目的とする。 校区において、各中学校区の を推進する。また、機断的なモ	新規 裁員、市人権教育 修を充実させるる。 環境(人権が尊重 生の支援をする。 総続・ 新規 を校および保育園 はけ、中学校区で「め 持けながら、子ども一 特性を活かした仕	が完会 ことで、子どされた学校 継続 」 さす子ども像」 人ひとりの「生 呆幼小中一	自治 度 業 総後 総ち市 本務事 業 自分 度 業 総合の 実 法自分 度 業 総合の 本	価 (R1年度実 現状維計 R1年 (421-C (R1年度実 現状維計	施事業) 量	R2年度(当))(学校教育		対象事業
	事業の進捗 事務事業の 概要 事務 事業の進捗 事務事業の	対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業内容) (をする)	市立小校方だり、研を生まった。一体のでは、一体の	中学校及び義務教育学校教職 における人権に関する校内研 が安心して学校生活を送れる環 り)をととのえる。 修への講師招聘にあたり、謝神 中一貫教育推進事業 環題である 稚園、小・中学校、義務教育学 「か年に加ス保育園での活動も関連作 、教科学力・学びの基礎力等を関連作 育成することを目的とする。 校区において、各中学校区の を推進する。また、横断的なモ の段差等を軽減する。	新規 裁員、市人権教育 修を充実させるる。 環境(人権が尊重 生の支援をする。 総続・ 新規 を校および保育園 はけ、中学校区で「め 持けながら、子ども一 特性を活かした仕	が完会 ことで、子どされた学校 継続 」 さす子ども像」 人ひとりの「生 呆幼小中一	自治 度 事 総合 の 総市市 常	価 評価・ () () () () () () () () () (R1年度実 現状維計 (421-C (まきのもの) (R1年度実) 現状維計 R1年	施事業) 量	R2年度(当) (学校教育 & を結果		対象事業
	事業の進捗 事務事業の 概要 事務 総計に基 事業の進捗 事務事業の	対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業内容) 対象(誰を・何を) が事業名 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) にどうしたいのか) 「手業内容)	市立学をおり、	中学校及び義務教育学校教職 における人権に関する校内研 が安心して学校生活を送れる環 が安心して学校生活を送れる環 がを心のえる。 修への講師招聘にあたり、謝 中一貫教育推進事業 「戦闘である ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	新規 裁員、市人権教育 修を充実させるこ 環境(人権が尊重 との支援をする。 という支援をする。 となおよび保育園 けけ、中学校なども一 持性を活かしたイ デルカリキュラム 継続・	「研究会 とで、子ど された学校 継続 」 さす子ども像」 人ひとりの「生 呆幼小中一、を作成し、	自治 R2年度 事務事業 総合の 総本市	価 (R1年度実 現状維計 (421-C (R1年度実 現状維持 R1年 (421-C	を事業) 量等 各視点 1,186 1,186 1,186 1,186 1,186 第3-05 担当 R2 を視点 5,531 2,957 13-06	R2年度(当)) (Propried Propried Propried R2年度(当) () (対象事業
	事業の進捗 事務事業の 概要 事務事業の 進捗 事務事業の	状況 (R2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業内容) (ア2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業内容) (どうしたいのか) (事業内容)	市立小校をも思うでは、一本のでは、一は、一本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本ので	中学校及び義務教育学校教職 における人権に関する校内研 が安心して学校生活を送れる環 り)をととのえる。 修への講師招聘にあたり、謝神 中一貫教育推進事業 環題である 稚園、小・中学校、義務教育学 「か年に加ス保育園での活動も関連作 、教科学力・学びの基礎力等を関連作 育成することを目的とする。 校区において、各中学校区の を推進する。また、横断的なモ の段差等を軽減する。	新規 裁員、市人権教育 修を充実させる。 環境(人権が尊重 はの支援をする。 を を はなおよび保育 はけい、中学校区で「め がけながら、子ども一 特性を活かしたと デルカリキュラム	が完会 ことで、子どされた学校 継続 」 さす子ども像」 人ひとりの「生 呆幼小中一	自治 日 日 日 日 日 日 日 日 日	価 評価・ ()	R1年度実 現状維計 (421-C (R1年度実 現状維持 R1年 (421-C	施事業) 量 各視点 1,186	R2年度(当) (学校教育 R2年度(当) (学校教育		対象事業
	事務事業の 概要 事務事業の 概要 事務事業の 概要 事務事業の 機要	状況 (R2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業名 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) 目的	市 ない かい ない かい	中学校及び義務教育学校教職 における人権に関する校内のが安心して学校生活を送れる現分をととのえる。 修への講師招聘にあたり、謝礼 中一貫教育推進事業 「職職である」 「他年に加え保育園での活動も関連作 、教科学力・学びの基礎力等を関連作 育成することを目的とする。 校区において、各中学校区の を推進する。また、横断的なモの段差等を軽減する。 交流助成事業 「概ね環職である」 市立白鳥小学校 5年生・6年	新規 裁員、市人権教育 修を充実させるこ 環境(人権が尊重 といの支援をする。 総統・新規 か校および保育の はけ、中学校区で「め 付けながら、子ども一 特性を活かしたイ デルカリキュラム 継続・ 新規	「研究会 とで、子ど された学校 継続 」 さす子ども像」 人ひとりの「生 呆幼小中一、を作成し、	自治 度 事 総 後 総 市 市	価 評価・ () () () () () () () () () (R1年度実 現状維計 (A21-C (R1年度実 現状維持 R1年 (A21-C (意のもの)	作 本	### ### ### ### ### ### ### ### #### ####	二次評価	対象事業
5	事業の進捗 事務事業の 概要 事務 総計に基 事業の進捗 事務事業の	対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業内容) (とうしたいのか) (事業内容) (とうしたいのか) (事業内容) (とうしたいのか) (事業内容) (とうしたいのか) (事業内容) (とうしたいのか) (事業内容)	市 本 な か	中学校及び義務教育学校教職 における人権に関する校内の現 が安心して学校生活を送れる現 が安心して学校生活を送れる現 が安心して学校生活を送れる現 が安心して学校生活を送れる現 のと をへの講師招聘にあたり、謝 中一貫教育推進事業 「職闘である ・ 一種を関し、中学校、義務教育学 「か年に加え保育園での活動も関連作 ・ 教科学力・学びの基礎力等を関連作 ・ 教科学力・学びの基礎力等を関連を ・ 教科学力・学びの基礎力等を関連を ・ 教科学力・学びの表現の活動も関連を ・ 教科学力・学びの表現の活動も関連を ・ 教科学力・学がの表現力等を関連を ・ 教科学力・学がの表現力等を関連を ・ 教科学力・学がの基礎力等を関連を ・ 教教教育学 「本語の表現力を表現力を表現力を表現力を表現力を表現力を表現力を表現力を表現力を表現力を	新規 裁員、市人権教育 修を充実させる。 環境(人権が尊重 よいの支援をする。 継続・ 新規 学校および保存でである。 特性をおよび保存でである。 特性をおよび保存でである。 様様・ 特性をおよびは、 特性をおよびは、 特性を対した。 様が見いた。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が	自治	価 評価・ () 「	R1年度実 現状維計 (421-C (まきのもの) (R1年度実 現状維計 R1年 現状維計 R1年 現状維計	施事業) 量 各視点 1,186	### ### ### ### ### ### ### ### #### ####	二次評価	対象事業
5	事業の進捗 事務事業の 機計に基準 事務事業の 機器計に進捗 事務事業の	状況 (R2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業名 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) 目的	市 なんしい 研	中学校及び義務教育学校教職 における人権に関する校内のが安心して学校生活を送れる現分をととのえる。 修への講師招聘にあたり、謝礼 中一貫教育推進事業 「職職である」 「他年に加え保育園での活動も関連作 、教科学力・学びの基礎力等を関連作 育成することを目的とする。 校区において、各中学校区の を推進する。また、横断的なモの段差等を軽減する。 交流助成事業 「概ね環職である」 市立白鳥小学校 5年生・6年	新規 裁員、市人権教育 修を充実させる。 環境(人権が尊重 よいの支援をする。 継続・ 新規 学校および保存でである。 特性をおよび保存でである。 特性をおよび保存でである。 様様・ 特性をおよびは、 特性をおよびは、 特性を対した。 様が見いた。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が	自治 度 事	価 評価・ () () () () () () () () () (R1年度実 現状維計 (421-C (ままのもの) (R1年度実 現状維持 R1年 (421-C (意のもの) (R1年度実) 現状維持	施事業) 量	R2年度(当) (学校教育 R2年度(当) (学校教育 R2年度(当) (学校教育	二次評価	対象事業
5	事業の進捗 事務事業の 機計に基 事業の進捗 事務事要 事業の進捗 事務事要	状況 (R2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業内容) (R2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業名 (R2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業名 (R2年度) 対象(誰を・何を)	市 各も園 校 保幼 本 かきき 全貫校 姉妹 と 別 豊 か 根し り 単 か 果た	中学校及び義務教育学校教職 における人権に関する校内研 が安心して学校生活を送れる現 りをととのえる。 修への講師招聘にあたり、謝神 中一貫教育推進事業 瞬間である 稚園、小・中学校、義務教育学 「か年に加え保育園での活動も関連作 素科学力・学びの基礎力等を関連作 音育成することを目的とする。 校区において、各中学校区の2を推進する。また、横断的なモの段差等を軽減する。 交流助成事業 「本祖順調である 市立白鳥小学校 5年生・6年 人間性を育むとともに、地域に 安来市赤江小学校の児童・教	新規 裁員、市人権教育 修を充実させる。 環境(人権が尊重 よいの支援をする。 を対および保育 がは、中学校区で「め 特性を活かした任 デルカリキュラム 継続・ 新規 特性をがら、子ども一 特性を活かしたた デルカリキュラム 継続・ 新規 生替けたがら、子ども一 特性を活かしたを デルカリキュラム ・ を持つ。 職員・保護者と自	が	自治 度 事	価 評力 ま	R1年度実 現状維計 (421-C (ままのもの) (R1年度実 現状維持 R1年 (421-C (意のもの) (R1年度実) 現状維持	を事業) 量	R2年度(当) (学校教育 R2年度(当) (学校教育 R2年度(当) (学校教育		対象事業
5	事業の進捗 事務事業の 機計に基 事業の進捗 事務事要 事業の進捗 事務事要	対別 (R2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業 名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業名 (R2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業内容)	市 各も園 校 保幼 本 かきき 全貫校 姉妹 と 別 豊 か 根し り 単 か 果た	中学校及び義務教育学校教職 における人権に関する校内研 が安心して学校生活を送れる現 が安心して学校生活を送れる現 が安心して学校生活を送れる現 が安心して学校生活を送れる現 を の講師招聘にあたり、謝 中一貫教育推進事業 「職闘である ・ では、教科学力・学びの基礎力等を関連に ・ では、教科学力・学びの基礎力等を関連に ・ では、教科学力・学びの表での接近が多を関連に ・ では、教科学力・学びの表では、一 では、教科学力・学びの表では、一 では、一 では、一 では、一 では、一 では、一 では、一 では、一	新規 裁員、市人権教育 修を充実させる。 環境(人権が尊重 よいの支援をする。 を対および保育 がは、中学校区で「め 特性を活かした任 デルカリキュラム 継続・ 新規 特性をがら、子ども一 特性を活かしたた デルカリキュラム 継続・ 新規 生替けたがら、子ども一 特性を活かしたを デルカリキュラム ・ を持つ。 職員・保護者と自	が	自治 度 事 総 6 の 率 市 法自名 度 事 総 6 の 率 市 法自名 度 事 総 6 の 率 市 法自名 度 事 終 6 の 率 市 法自名 度 事 総 6 の 率 市 法自名 度 事 総 6 の 率 市 法自名 度 事 総 6 の 率 市 ま **	価 評力 ま	R1年度実 現状維計 (421-C (R1年度実 現状維計 R1年 (421-C (R1年度実 現状維計 R1年 (421-C	を事業) 量	R2年度(当) (学校教育 R2年度(当) (学校教育 R2年度(当) (学校教育		対象事業
5	事業の進捗 事務事業の 機計に基 事業の進捗 事務事要 事業の進捗 事務事要	対別 (R2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業 名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業名 (R2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業内容)	市 各も園 校 保幼 小 本 か か をき 全 貫校	中学校及び義務教育学校教職 における人権に関する校内研 が安心して学校生活を送れる現 が安心して学校生活を送れる現 が安心して学校生活を送れる現 が安心して学校生活を送れる現 を の講師招聘にあたり、謝 中一貫教育推進事業 「職闘である ・ では、教科学力・学びの基礎力等を関連に ・ では、教科学力・学びの基礎力等を関連に ・ では、教科学力・学びの表での接近が多を関連に ・ では、教科学力・学びの表では、一 では、教科学力・学びの表では、一 では、一 では、一 では、一 では、一 では、一 では、一 では、一	新規 裁員、市人権教育 修を充実させる。 環境(人権が尊重 よいの支援をする。 を校および保育でである。 が対けけながら、アビも一 特性を形式が、ロンたした。 デルカリキュラム 継続・ 新規 生性・ 等によった。 ・ を持けらから、 ・ を持つ。 ・ には、保育でである。 ・ を持けらから、 ・ を対けたから、 ・ を持つ。 ・ には、 ・ には、 ・ には、 ・ には、 ・ には、 ・ には、 ・ には、 ・ には、 ・ には、 ・ には、 ・ には、 ・ には、 ・ には、 ・ には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	「研究会」とで、子どなされた学校 継続 は は は は は は は が ま が は は は は は は は は は は	自	価 評方 業負単 ー ド	R1年度実 現状維計 (421-C (R1年度実 現状維計 R1年 (421-C (R1年度実 現状維計 R1年 (421-C	を事業) 量	R2年度(当) (学校教育 R2年度(当) (学校教育 R2年度(当) (学校教育 R2年度(当) (一次評価	対象事業
6	事業の進捗 事務事業の 事務事業の 事務事業の 事務事業の 事務事業の 事務事業の 事務事業の	状況 (R2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業内容) (R2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業名 (R2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業内容) (どうしたいのか) (事業内容) (どうしたいのか) (事業内容)	市 各も園 校 保幼 本 市 幼をき全貫校 婦 サ と 島通 小規模 野 小 収集 野 小 収集 野 か は 果た で 大 の は は か と し の は は か と し か は し か は し か は し か は し か は か と し か は か と し か は か と し か は か と し か は か と し か は か と し か は か と し か は か と し か は か と し か は か と し か は か と し か は か と し か は か と し か は か と し か は か と し か は か と し か は か と し か	中学校及び義務教育学校教職 における人権に関する校内の現 が安心して学校生活を送れる現 が安心して学校生活を送れる現 が安心して学校生活を送れる現 が安心して学校生活を送れる現 が安心して学校生活を送れる現 のの講師招聘にあたり、謝 中一貫教育推進事業 「「「「「「「「「「「」」」」 「「「」」」 「「」」 「「」」 「「」」	新規 裁員、市人権教育 修を充実させる。 環境(人権が尊重 としの支援をする。 としてがらよびほとしてでした。 特性をおよび保育ででも一 特性をから、かした任デルカリキュラム 株務規 生替りを持つ。 職員・保護者とら を対象を表して、 を表して、 をまる、 を表して、 を表して、 をまる。 をまる、 をまる。 をまる、 をまる。 をまる。 をまる。 をまる、 をまる、 をまる、 をまる、 をまる、 をなる。 をな	研究会 とで、子ど校 継続 さす子ども像」 された学校 継続 は対し、中一 なを作成し、 経続 には、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ので	B B B B B B B B B B	価 評方 業負単 ー ド	R1年度実 現状維計 (A21-C (E意のもの) (R1年度実 現状維計 R1年) 3 (421-C (意のもの) (R1年度実) (R1年度実) (R1年度実)	を事業) 量	R2年度(当) (学校教育 R2年度(当) (学校教育 R2年度(当) (学校教育 R2年度(当) (二次評価	対象事業
6	事業の進捗 事務事業の 概要 事務事業の 総計に進捗 事務事業の 機関 事務事業の 機関 事務事業の	状況 (R2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業名 (R2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業名 (R2年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業	市 各も園 校 保 か A 立 中有しば学育間 教 豊 島通 小 規 野 小 板 技 が で 実 回 か 根 し り 単 模 動 数 単 点 通 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	中学校及び義務教育学校教職 における人権に関する校内の が安心して学校生活を送れる環 りをととのえる。 修への講師招聘にあたり、謝 中一貫教育推進事業 ・ 「「「「「「「「「」」」」 ・ 「「」」」 ・ 「「」」 ・ 「」」 ・ 「」」 ・ 「」 ・ 「	新規 裁員、市人権教育 修を充充権が尊重 という支援をする。 という支援をする。 という支援をする。 を対けながら、かしまります。 特性ルカリキュラム を持た、かしたイデルカリキュラム を持た、かしたがら、かしたイデルカリキュラム を持た、かしたがら、かしたイデルカリキュラム を持た、一般を表する。	が で 会 とで、子ど校 継続 は 本 子 ども像」 された学校 とされた学校 とされた学校 が は 様続 は 本 子 ども像」 された 中 一 い 本 作 成し、 を作 成し、 を作 成し、 といった かった かった かった かった かった かった かった かった かった か	自	価 評方 業負単 ード 務任 (R1年度実 現状維計 (R1年度実 現状維計 R1年 (R1年度実 現状維計 R1年 現状維計 R1年 現状維計 R1年 現状維計 R1年 現状維計	を事業) 量	R2年度(当) (学校教育 R2年度(当) (学校教育 R2年度(当) (学校教育 R2年度(当) (二次評価	対象事業

基	本事業名	クラブ活動等の	活性化推	進			対 (誰を・		<u>토</u>)	児童及び	が生徒 しんしん						
ā	基本事業 コード	421-04			基本事業概要		0	的									
第6	了 <u>'</u> 欠羽曳野市総	合基本計画					(どうした		か)	心身の優	建全な育成る	図る。					
	策目標	4 未来に羽		ども·若者を育むまち					指標	■ 夕		単位		3. 4時点	R1年		R2年度
	策 策の方向	2 学校教育		教育の推進	総合基本	=1.165			1818	R 10		平 四	現状値	[(総計)	実	績	目標(総計)
	ちづくりの	(1)羽曳	野の資源	を活かしたまちづくり	目標指												
	:略			·安全に暮らせるまちづくり 活力と成長に向けたまちづくり													
	主義	务事業名	ナ스 出	場等助成事業	•			車	務事業	7—Ľ	421-0	4-01	1		•	•	
				1	劉	₺続・	ANI A+		ф.		1			1. 	_		+ 40 Th TT
	事業の進捗	状況 (RZ年度		順調である		折規	継続	É	自治 年度	自治事務(任		担当R		教育総務 記	11		育総務課
1		対象(誰を・何を)	生徒及	とび引率教職員 					務事業評	価	R1年度実施	包事業)	最終結果			二次評価対	
	事務事業の	目的 (どうしたいのか)		活動経費の一部を助成すること 、クラブ活動を奨励する。	:により、生作	徒の仮	建全な心身			ì評価・ D方向性	現状維持	各視,	点からの割	F.47F	当性 人	有効性	効率性 A
	概要			、	本育連盟が	主催す	する全国中	-	総三	事業費	R1年)	変決算額	R	2年度(当社	- 1		
		手段 (事業内容)		合体育大会及び近畿中学校は 合体育大会に出場したとき、旅					(うちす	5負担額) 単位:千円	(469 469			875 875	実施の方向性	実施
					1,50,50 111	-,					,						
		事務事業名中学校プラスパンド助成事業							務事業	コード	421-0	4-02	_ _			1	
	総計に基 事業の進捗	づく 状況(R2年度	Α	順調である		態続・ 折規	継続	É	376	自治事務(任	意のもの)	担当R	2	改育総務語	果 R	3 教	育総務課
2		対象(誰を・何を)		及び義務教育学校のブラスバ	ンド部			R2 事	生度 務事業評	☑価 (R1年度実	色事業)	最終結果	Į.		二次評価対	象事業
_	事務事業の	目的	クラブミ							評価・	現状維持	4 各視	点からの割	F.476	当性	有効性	効率性
	概要	(どうしたいのか)		及び義務教育学校のブラスバ	、ご如田海	聖の相	久 纟羊 TA 7 『 日華			D方向性 事業費		要決算額		2年度(当初	1) 予管額	A R3年度	Α
		手段 (事業内容)	入(隔红	年)を行う。また、教育委員会後						負担額)		3,065 3,065			1,232	実施の方向性	実施
			云を平	に一度開催する。						単位:千円	1 (3,000) (===		1,232	力问性	
	事務	务事業名	部活動	指導者派遣事業				事	務事業	コード	421-0	4-03					
	総計に基準事業の進捗	づく 状況 (R2 年度	Α	順調である		態続∙ 折規	継続		定・自治	自治事務(任	意のもの)	担当R	2 =	学校教育詞	果 R	3 学	交教育課
		対象(誰を・何を)	羽曳野	市立中学校及び義務教育学校	交後期課程	在学生	≟徒	R2 事	年度 務事業評	2価 (R1年度実	も事業)	最終結果	Ę		二次評価対	象事業
3	古改古米の	目的	如江新	の女字及び教員の姿質点した	:			ĺ		評価・	現状維持	上 夕知	点からの割		当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうしたいのか)	部活動	の充実及び教員の資質向上を	で図る。					の方向性				,	4	Α	Α
		手段 (事業内容)		在住のスポーツ指導者や経験 ・協力しながら、部活動での技行						事業費 5負担額)	R1年)	度決算額 719		2年度(当初	733	R3年度 実施の	実施
		(7,7,11)	C压IA	一個月でながら、中石刻での文	いれいなり日会	200	-74 70			単位:千円	(719) (733)	方向性	
	事務	务事業名	クラブ・	部活動助成事業				事	務事業	コード	421-0	4-04					
	総計に基金	づく 状況 (R2 年度	Α	順調である		態続・ 折規	継続		定・自治	自治事務(任	意のもの)	担当R	2 =	学校教育記	果 R	3 学	交教育課
	子木VJE19	対象(誰を・何を)						R2	字度 務事業評	2価 (R1年度実施	も事業)	最終結果	Ę		二次評価対	象事業
4		目的						7		☆評価・					当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうしたいのか)		生徒の心身両面での健全育成						カ方向性	現状維持		点からの影	,	4	Α	Α
		手段(東業中家)		、休日を利用して活動。スポー 徒が興味関心を持つことができ						事業費 5負担額)	R1年J	度決算額 7,429		2年度(当初	刀)予算額 7,435	R3年度 実施の	実施
		(事業内容)		越えて、同じ目標に向かって努		.,				単位:千円	(7,429			7,435	方向性	

基	本事業名	きめ細やかな教	育支援				†象 ・何を)	児童及び	生徒					
ž	基本事業コード	421-05			基本事業の 概要	E	l的 :いのか)	さまざまク	な教育課題	に対応可	能な支援体制	制の充実を	:図る。	
	欠羽曳野市総 策目標	4 未来に羽(ぱたく子と	ども・若者を育むまち		(2)0/		票名		単位	H28. 4時点		1年度	R2年度
	策 策の方向			教育の推進	総合基本計	画	101:	ポ ロ		十四	現状値(総言	†)	実績	目標(総計)
	ちづくりの 略	O (2)だれも	が安心・	を活かしたまちづくり 安全に暮らせるまちづくり 活力と成長に向けたまちづくり	目標指標									
	事利	8事業名		ト国人児童生徒適応支援事業			事務事業	コード	421-0	5-01		ı		
	総計に基 事業の進捗	づく : _{状況} (R2 年度)	Α	順調である	継続新規		法定·自治	自治事務(任	意のもの)	担当 R2	学校教	育課	R3 学	校教育課
1	7 18 12 22		日本語	土 指導が必要な児童・生徒及び保			R2年度 事務事業計	平価 (R1年度実施	施事業) 最	最終結果		二次評価対	
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)		lもない児童・生徒の、生活するが 日本語)の習得支援および、母				合評価・ の方向性	現状維持	各視点:	からの評価	<u>妥当性</u>	有効性	効率性 A
	19.50	手段(事業内容)	通訳及	び日本語指導				事業費 市負担額)	R1年/	変決算額 6,748	R2年度	(当初)予算	額 R3年度 実施の	実施
		(尹朱四春)						単位:千円	(6,748) (12,858)方向性	
	事 総計に基	8事業名 ごと		児童生徒適応指導事業	継続		事務事業法定・		421-0				I I	
	事業の進捗	状況 (R2年度) 対象(誰を・何を)		<mark> 順調である</mark> ず市立小中学校及び義務教育学	新規	4 4 4 7 7	自治 R2年度	自治事務(任	意のもの) R1年度実施	担当 R2	学校教	育課	R3 学 二次評価対	校教育課 ·免惠業
2	本 次 本 米 の	目的	生徒 不登校	・ 生徒の学校復帰をめざし	、小集団活動	かを通じて、集	事務事業訓総合	評価・	現状維持		からの評価	妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうしたいのか)		適応力を育成する。 と連携した学習支援				の方向性 事業費		要決算額 要決算額		人 (当初)予算	A 額 R3年度	Α
		手段 (事業内容)	②料理	やスポーツ、野外活動などの体 ・保護者との相談活動	験活動			市負担額) 単位:千円	(9,593 9,132) (10,247 10,247	実施の 方向性	実施
	事利	务事業名	教育相	談事業			事務事業	ニード	421-0	5-03				
	総計に基 事業の進捗	づく 状況 (R2 年度)	Α	順調である	継続新規		法定· 自治	自治事務(任	意のもの)	担当 R2	学校教	育課	R3 学	校教育課
3		対象(誰を・何を)]児・児童・生徒及び保護者、市3 (育活動等における児童及び生			R2年度 事務事業訓	平価 (R1年度実施	施事業) 最	最終結果	妥当性	二次評価対	象事業 効率性
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	するた	は め、専門的な知識を有する者を は 職員に対してカウンセリング等を	相談員として			合評価・ の方向性	現状維持	各視点:	からの評価	A	A	A
		手段 (事業内容)	相談に					事業費 市負担額)		変決算額 2,106	R2年度	2,189	実施の	実施
	-	to the alle. In		は は は に対し、来室または電話によ	る 教育相談!	<u> - ル し </u>	- 7t - + 4t	単位:千円		2,106		2,189) <mark> 方向性</mark>	
	総計に基		正府送	択支援事業順調である	継続		事務事業 法定·	自治事務(任	421-0 意のもの)	15-04 担当 R2	学校教	育課	R3 学	校教育課
	事業の進捗	认 流	市内児		新規	172-176	自治 R2年度 事務事業計		R1年度実施			, I J W	二次評価対	
4	事務事業の	目的 (どうしたいのか)	経済的	」な理由で、進学等を断念するこ	とがないよう	に支援する。	総合	<u>- </u>	現状維持	寺 各視点:	からの評価	妥当性	有効性	効率性
	概要	手段		況および相談内容に応じて、適			総	事業費 (有)	R1年/	変決算額	R2年度	A (当初)予算		
		(事業内容)	きにつ	いて案内する。			(951	P 貝担領/ 単位:千円	(1,603 905) (1,844 1,287	実施の方向性	実施
		务事業名	肢体不	自由児療育支援事業			事務事業	ニコード	421-0	5-05				
	総計に基事業の進捗	·状況 (R2年度)	A 東京小	順調である 中学校及び義務教育学校に在	継続新規	神生物化	法定· 自治 R2年度	自治事務(任			学校教	育課		校教育課
5		対象(誰を・何を)	童・生徒				事務事業評	+1W	R1年度実施	施事業) 最	最終結果 	妥当性	二次評価対	勃率性
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	る。	、円滑な就学と教育の実施に努			今後(合評価・ の方向性		各視点		A	A 額 R3年度	Α
		手段 (事業内容)	1回、機	学校、峰塚中学校をセンター校と位 能訓練士を派遣する。児童・生徒の る。市内支援学級の交流行事の充)登下校時の2		(うちで	事業費 市負担額) 単位:千円		変決算額 11,727 10,737) ((当初)予算 21,547 20,402	実施の方向性	
	事利	务事業名	特別支	援教育推進事業			事務事業	コード	421-0	5-06				
	総計に基 事業の進捗	づく (D2年度)	Α	順調である	継続新規		注中,	自治事務(任			学校教	育課	R3 学	校教育課
6		対象(誰を・何を)		・中学校及び義務教育学校に在 とする児童・生徒				平価(R1年度実施	施事業) 最	最終結果		二次評価対	
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	当該の	児童・生徒に対して適切な教育	(支援教育)	を行う。		合評価・ の方向性	現状維持	寺 各視点:	からの評価	妥当性 A	有効性	効率性 A
	1以安	手段(事業内容)		に支援教育支援員を配置する。 な支援を必要とする児童・生徒				事業費 市負担額)	R1年	変決算額 6,201	R2年度	(当初)予算 10,385		
		(尹未內谷)		学習支援等を行う。				単位:千円	(5,997) (10,385	方向性	

基	基本事業名	きめ細やかな	教育支援	ŧ			対 (誰を [.]	象 ·何を)	児童及	び生徒						
	基本事業コード	421-	05			事業の 既要		的 :いのか)	さまざ	まな教育課題	に対応す	『能な支	援体制の充	実を図る	ა .	
第6	次羽曳野市総	合基本計画														
	策目標			子ども・若者を育むまち				‡	旨標名		単位		. 4時点	R1年		R2年度
	5策 5策の方向	2 学校教		む教育の推進								現状値	(総計)	実績	ŧ	目標 (総計)
ЛE	東の万円			び教育の推進 源を活かしたまちづくり		基本計画 標指標										
	ちづくりの				1	示1日1示										
単	略			の活力と成長に向けたまちづくり												
	事	事務事業名 ほっとスクール支援員事業						事務事	業コード	421-0	5-07					
	総計に基事業の進捗	総計に基づく(内のケボ)				継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務((任意のもの)	担当 R	?	^丝 校教育課	R3	学	校教育課
		事業の進捗状況 (P2(平度)			童・生徒	ŧ		R2年度 事務事業	業評価	(R1年度実施	拖事業)	最終結果	Į	=	次評価対	象事業
7		目的	学力	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	じめ等	防止等。	今日的な数	*	%合評価·				妥当	性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうしたいの)	育課!	題解決の一助とする。			7 - 17 - 0 - 32		後の方向性	現状維持	各視点	いらの評	^{ttt} A		Α	Α
	194.35			育課程上の教育活動における学習支援、 業前の自主学習、放課後の自主学習等に			助等		総事業費	R1年B	E 決算額	R2	2年度(当初)	予算額	R3年度	
		手段 (事業内容)	3 特別	川な支援を必要とする児童・生徒への介助	カ及び支	援等	-	(う	ち市負担額)		1,264		1,	445	実施の	実施
		(72,111)		登校傾向等生徒指導上の配慮を必要とす 指導補助等	る児童・	生徒への相	談活動、		単位:千	円 (1,264) (1,	445)	方向性	
																•
	事	 	スクー	-ルソーシャルワーカー配置事業				事務事	業コード	421-0	5-08					
	総計に基 事業の進捗		要)	順調である		継続・ 新規	新規	法定· 自治	自治事務((任意のもの)	担当 Ri	? 学	校教育課	R3	学	校教育課
8		対象(誰を・何を) 市立小中学校及び義務教育学校 ! 員						R2年度 事務事業	業評価	(R1年度実施	拖事業)	最終結果			次評価対	
Ü	事務事業の 概要	メタス(はという) 目的 パンピカ、不登校、暴力行為、 対応するため、スクールソー				こよる児童			総合評価・ 後の方向性		各視点	からの評	妥当	<u>*</u>	有効性	効率性
		事業の(どうしたいのか)対応するため、スクールソーシャルワー				状況アセ			総事業費 ち市負担額) 単位:千		度決算額	R2	全年度(当初)	予算額	R3年度 実施の 方向性	実施

	基本事業名	子ども	もの貧困対策			対象 (誰を・何を)	経済的理由等、困難を	有する	児童·生徒		
	基本事業 コード		421-06		基本事業の 概要	目的	教育を受ける機会の地	等を図	ī.a		
第 6	次羽曳野市総	合基ス	本計画			(どうしたいのか)	教育と文// 0成立の 。	7462			
1	施策目標	4	未来に羽ばたく子	-ども·若者を育むまち		指標	夕	単位	H28.4時点	R1年度	R2年度
]	施策	2	学校教育			7日1宗	10	平位	H28. 4時点 現状値(総計)	実績	目標(総計)
1	施策の方向	1	「生きる力」を育む)教育の推進	総合基本計画						
	++ ~ ~ ~ · · ·	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり	目標指標								
	まちづくりの 戦略	0	(2)だれもが安心	(1) 羽曳野の資源を活かしたまらづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	K-F0	0	(3)人口減少下の	D活力と成長に向けたまちづくり							

		事務	務事業名	就学援耳	的等事務事業			事務事	業コード	421-0	6-01					
		総計に基 ² 事業の進捗		Α	順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(義	務的なもの)	担当	R2	学校	教育課	R3 学	交教育課
	1		対象(誰を・何を)	羽曳野ī 者	市が設置する小中学校に在学する児	童・生徒を	ともつ保護	R2年度 事務事業	美評価	(R1年度実施	事業)最終	結果		二次評価対	象事業
			目的	经这的	理由によって就学が困難となっている	旧帝。生纪	まが 恙務	42	※合評価・					妥当性	有効性	効率性
		事務事業の 概要			円滑に受けられるようにするため。	ル里・エ1	上 17 ℃ 15 17 7 15 17 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		多の方向性	現状維持	各社	見点から	の評価	Α	Α	Α
			工机						総事業費	R1年度	[決算	額	R2年月	度(当初)予算	額 R3年度	
П			手段 (事業内容)	学用品统	費など必要な費用の一部を援助する。	0		(う:	ち市負担額)		88,74	10		109,067	実施の	実施
П			(+×114)						単位:千円	9 (84,90)5)	(103,671	方向性	

基	本事業名	教育体制の充動	ŧ			対 (誰を	* ・何を	·)	市立小中	学校及び	義務教育	『学校の	教職員			
	基本事業 コード 欠羽曳野市総	421-07			基本事業の 概要	目 (どうした	的 :いの	か)	指導力·	資質の向上	を図る。					
施施	策目標 策	4 未来に羽 2 学校教育	i	ども・若者を育むまち				指標	名		単位		. 4時点 (総計)		手度 績	R2年度 目標(総計)
ま	策の方向 ちづくりの 略	(1)羽曳 (2)だれ ²	野の資源 もが安心	教育の推進 原を活かしたまちづくり ・・安全に暮らせるまちづくり D活力と成長に向けたまちづくり	総合基本計画 目標指標											
	事務	8事業名		研修事務事業			事	務事業	コード	421-0	7-01			ı		
	総計に基 事業の進捗	づく 状況 (R2 年度	A	順調である	継続・ 新規	継続		治	治事務(任	意のもの)	担当	22 =	学校教育語	果 F	33 学	交教育課
1		対象(誰を・何を)	市立小	ト中学校及び義務教育学校職員				年度 务事業評	価(R1年度実施	施事業)	最終結身			二次評価対	
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)		戦員の資質を向上させることによ 学校にする。	り、子ども・地は	域にとってよ			評価・)方向性	現状維持	告 各視	点からの評	: J#	当性 人	有効性 A	効率性 A
		手段 (事業内容)		の先生をはじめ、その道の専門の 速する。)先生方を招へ	いして研修			基業費 「負担額) 単位:千円		<mark>要決算額</mark> 4,014 4,014			刀) 予算額 4,502 4,502	R3年度 実施の 方向性	実施
				音導専門員事業			事	務事業	コード	421-0	7-02					
	総計に基 事業の進捗				継続・ 新規	継続	法注	定・ 治	治事務(義)	際的なもの)	担当F	2 ≐	单校教育語	果 F	33 学科	交教育課
2				小・中学校及び義務教育学校の教	改員(新任教員	•講師)	R2 ⁴ 事剂	年度 §事業評	価(R1年度実施	拖事業)	最終結身			二次評価対	
_	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)		員の日々の授業の質を高め、指導 ども・地域にとってよりよい学校に		ることによ			評価・)方向性	現状維持	寺 各視	点からの語	: J#	当性 人	有効性	効率性 A
		手段 (事業内容)		指導専門員を配置し、法定の初任 いる指導等の指導助言を補助的(基業費 :負担額) 単位:千円		隻決算額 5,760 5,760)		刀) 予算額 6,536 6,536	R3年度 実施の 方向性	実施
	事務	务事業名	教育活	5動研究等推進事業			事	務事業	コード	421-0	7-03					
	総計に基・ 事業の進捗) A	順調である	継続・ 新規	継続	法	定・自	治事務(任	意のもの)	担当F	2 =	校教育訓	果 F	3 学	交教育課
3		対象(誰を・何を)	市立小	ト中学校及び義務教育学校 児童	童·生徒·教職	Ą		年度 务事業評	価(R1年度実施	施事業)	最終結身			二次評価対	
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)		員等で構成する各教科・領域の研 育活動を充実させ、その効果を学					評価・)方向性	現状維持	寺 各視	点からの評	: 130	当性 人	有効性 A	効率性 A
		手段 (事業内容)		交関係団体や学校に負担金や助 関係団体: 小学校教育研究会、中					業費 (負担額) 単位:千円		変決算額 5,904 5,017			刀) 予算額 6,155 5,345	i R3年度 実施の 方向性	実施
	事務事業名 教職員の英語サポート事業				事	務事業	コード	421-0	7-04							
	総計に基 事業の進捗	づく 状況 (R2 年度	A	順調である	継続・ 新規	継続	法	定・自	治事務(任	意のもの)	担当F	2 =	校教育訓	果 F	33 学	交教育課
4		対象(誰を・何を)		野市立小学校及び義務教育学校	前期課程 教	職員		年度 §事業評	価 (R1年度実施	拖事業)	最終結身			二次評価対	象事業
Ī	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	改善を	交及び義務教育学校前期課程教 とサポートすることで、授業の質を により、子ども・地域にとってより	高め、指導力	を向上させ			評価・)方向性	現状維持		点からの評	価	当性 人	有効性	効率性 A
		手段 (事業内容)		教育指導専門員を派遣し、教職員た、各学校において英語研修を身		助言等を行			基業費 i負担額) 単位:千円		変決算額 3,525 3,525	j		D)予算額 6,688 6,688	R3年度 実施の 方向性	-

	本事業名	事業 422-01			対	象	学校施設	n.				
	本事業	422-01		 基本事業の 概要		·何を)						
	コード 対別 対対	合基本計画		似女		的 <u>-</u> いのか)	安全·安	心な学校生活に必	必要な設備理	環境の確保と改	対善を図る。	
施卸施卸	策の方向 ちづくりの	2 学校教育 2 安心して当 (1)羽曳里 〇 (2)だれも	またく子ども・若者を育むまち			指標	A 名	単	位 現状値		実績	R2年度 目標(総計)
	事務	務事業名	学校施設管理事務事業			事務事業二	コード	422-01-01				-
	総計に基 事業の進捗		B 概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	治事務(義	務的なもの) 担当	R2 教	育総務課	R3 教	育総務課
1		対象(誰を・何を)	児童、生徒、教職員および地	域住民	•	R2年度 事務事業評価	m ((R1年度実施事業)最終結果		二次評価対	才象事業
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	市立小中学校及び義務教育等 育環境を提供する。	学校施設の使用につい	て安全な教		評価・ 方向性	改善して継続各権	見点からの評	<u>妥当性</u> A	有効性 B	効率性 A
		手段 (事業内容)	学校運営において経常的に必 設修繕費および保守点検委割		耗品費、施		業費 負担額) 単位:千円	R1年度決算 207,96 (207,96	31	年度(当初)予算 193,344 193,344	額 R3年度 実施の 方向性	実施
	事務	8事業名	学校施設改修事業			事務事業二	ュード	422-01-02				
	総計に基 事業の進捗		A 順調である	継続・ 新規	継続	法定・自治	治事務(義	務的なもの) 担当	R2 教	育総務課	R3 教	育総務課
2		対象(誰を・何を)	児童、生徒、教職員および地域	域住民		R2年度 事務事業評価	画	(R1年度実施事業)最終結果		二次評価対	才象事業
_	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	市立小中学校及び義務教育 育環境を提供する。	学校施設の使用につい	て安全な教		評価・ 方向性	拡充・重点化 各者	見点からの評	妥当性	有効性	効率性 A
		手段 (事業内容)	安全な教育環境を提供するた改修工事を行う。	とめに計画的な学校施設	改び設備の		業費 負担額) 単位:千円	R1年度決算 17,04 (9,6)	40	年度(当初)予算 59,815 21.115	(報報) R3年度 実施の 方向性	実施
	事務事業名 非構造部材耐震化事業					事務事業=	1—Ķ	422-01-03		·	1	
	総計に基準事業の進捗		A 順調である	継続・新規	継続	法定・自治	治事務(義	務的なもの)担当	R2 教	育総務課	R3 教	育総務課
3		対象(誰を・何を)	児童、生徒、教職員および地	域住民	*	R2年度 事務事業評価	価 ((R1年度実施事業)最終結果		二次評価対	才象事業
	事務事業の	目的 (どうしたいのか)	地震災害時における児童、教 域住民の避難場所としての安		とともに、地		評価・ 方向性	拡充·重点化 各者	見点からの評・	妥当性	有効性	効率性 A
	概要	手段 (事業内容)	①屋内運動場の吊り天井材の 明器具、校歌額縁等の落下防	方止のための補強工事の			業費 負担額)	R1年度決算		年度(当初)予算 357,890		
			飛散対策として飛散防止フィル	ルムの貼付			単位:千円	3 (5,56	61) (5,290) <mark>方向性</mark>	
	総計に基	務事業名 づく (Ba/に定)	普通教室エアコン設置事業	継続・	終了	事務事業ニ		422-01-04 E意のもの) 担当	DO #/h	育総務課	D 0	
	事業の進捗	状況(RZ+及)		新規	145 J							
		対象(誰を・何を)	児童、生徒、教職員および地			R2年度	((R1年度実施事業		月総務誌	二次評価対	才象事業
4	事務事業の	目的	児童、生徒、教職員および地 近年における夏季の猛暑によ	域住民	育環境の質	R2年度 事務事業評価 総合	m (評価・)最終結果	妥当性	有効性	効率性
4	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか) 手段	近年における夏季の猛暑によ 的な向上を図る。 市立小中学校及び義務教育	域住民 る熱中症対策および教		R2年度 事務事業評 総合 今後の	画 (R1年度実施事業) 最終結果 現点からの評 額 R2	妥当性	有効性	
4		目的 (どうしたいのか)	近年における夏季の猛暑によ的な向上を図る。	域住民 る熱中症対策および教		R2年度 事務事業評 総合 今後の	評価・ 方向性 業費	R1年度実施事業 拡充・重点化 各者 R1年度決算 492,75) 最終結果 見点からの評 額 R2	妥当性 A 年度(当初)予算	有効性 A 額 実施の	効率性
4	概要	目的 (どうしたいのか) 手段	近年における夏季の猛暑によ 的な向上を図る。 市立小中学校及び義務教育	域住民 る熱中症対策および教 学校の普通教室、支援 ⁹		R2年度 事務事業評 総合 今後の 総事 (うち市	評価・ 方向性 業費 負担額) 単位:千円	R1年度実施事業 拡充・重点化 各者 R1年度決算 492,75) 最終結果 見点からの評 額 R2	妥当性 A 年度(当初)予算	有効性 A 額 実施の	効率性
4	概要	目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容)	近年における夏季の猛暑によ 的な向上を図る。 市立小中学校及び義務教育・ エアコンを設置する。 茶山グラウンド整備事業	域住民 る熱中症対策および教		R2年度 事務事業評 総合の 今後の (うち市 事務事業ニ 法定・ 自治	正評価・ 方向性 業費 負担額) 単位:千円 1一ド	R1年度実施事業 拡充・重点化 各4 R1年度決算 492.75 (3.62 422-01-05) 最終結果 見点からの評 額 R2 54 21) (妥当性 A 年度(当初)予算	有効性 人 額 天初年	为率性 A
5	概要	目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容) 多事業名 対象(誰を・何を)	近年における夏季の猛暑によ 的な向上を図る。 市立小中学校及び義務教育 エアコンを設置する。 茶山グラウンド整備事業 児童、生徒および地域住民	域住民 :る熱中症対策および教 学校の普通教室、支援 ⁴ 機続・ 新規	学級教室に	R2年度 事務事業評 総合の 総事 (うち市 事務事業 は治 R2年度 事務事業評	画 (評価・ 方向性 業費 負担額) 単位:千円 治事務(任	R1年度実施事業 拡充・重点化 各者 R1年度決算 492,71 (3,6:) 最終結果 見点からの評 額 R2 54 21) (妥当性 A 年度(当初)予算	有効性 A 額 実施の	为率性 A
5	概要	目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容)	近年における夏季の猛暑によ 的な向上を図る。 市立小中学校及び義務教育 エアコンを設置する。 茶山グラウンド整備事業 児童、生徒および地域住民 応神天皇陵古墳に隣接した茶山グラ 備、災害時の一時避難地としての機 形成ならびに市民や来場者の憩いの	域住民 る熱中症対策および教 学校の普通教室、支援 継続・ 新規 5ウンドについて、 常田中学校 能強化、世界文化遺産登録 の場としての充実を図るため	学級教室に 終了 終了 に向けた景観の D整備を行う。	R2年度 事務事業評 総後の (うち市 事務事業 法定治 R2年度 事務事業 会後の	正評価・ 方向性 業費 負担額: 単位:千円 治事務(任	R1年度実施事業 拡充・重点化 各者 R1年度決算 492,71 3 (3,6) 422-01-05 意のもの)担当 R1年度実施事業) 最終結果 現点からの評 (R2) 最終結果 現点からの評	要当性 A 年度(当初)予算 0 0 0	有効性 A 翻 二次評価次 有効性	効率性 A
5	概要事務事業の	目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容) 第事業名 対象(誰を・何を)	近年における夏季の猛暑によ 的な向上を図る。 市立小中学校及び義務教育 エアコンを設置する。 茶山グラウンド整備事業 児童、生徒および地域住民 応神天皇陵古墳に隣接した茶山グラ 債、災害時の一時遅難地としての機	域住民 る熱中症対策および教 学校の普通教室、支援 「教験・ 「教験・ 「教験・ 「おります。」 「おりまする。 「おります。」 「おりまする。」 「おりままする。」 「おりままする。」 「おりまする。」 「おりまする。」 「おりまする。」 「おりまする。」 「おりまする。」 「おりまする。」 「おりまする。」 「おりまする。」 「おりまする。」 「おりまする。」 「おりまする。」 「おりまする。」 「おりまする。」 「おりまする。」 「おりまする。」 「おりまする。」 「おりまする。」 「おりまする。」 「おりまする。」 「おりまする。」 「まりままする。」 「まりままする。」 「まりままする。」 「まりまする。」 「まりまする。」	学級教室に 終了 終了 に向けた景観の D整備を行う。 まどベンチ、	R2年度 事務事業評 総合の (うちも市 法主自治度 事務を治 R2年度 事務等 総後の	画評価・ 評価・ 大方向性 業費 類担位:千円 一ド 一ド 一ド 一ド	R1年度実施事業 拡充・重点化 各4 R1年度決算 492.73 (3.62 422-01-05 E意のもの) 担当 R1年度実施事業 R1年度実施事業) 最終結果 現点からの評 (R2) 最終結果 現点からの評	妥当性 A 年度(当初)予算 0 0 0	有効性 A 翻 二次評価次 有効性	効率性 A
5	概要 事務 事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容) 新事業名 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段	近年における夏季の猛暑によ 的な向上を図る。 市立小中学校及び義務教育 エアコンを設置する。 茶山グラウンド整備事業 児童、生徒および地域住民 応神天皇陵古墳に隣接した茶山グラ 備、災害時の一時避難地としての機 係、び言時の一時避難地としての機 を面人工芝のテニスコート5面 防災用照明灯の設置などを平	域住民 こる熱中症対策および教学校の普通教室、支援ないのでは、 一般になって、 では、世界文化遺産登録の場としての充実を図るために こと憩いの広場整備、かで成27年度から平成28名	学級教室に 終了 終了 に向けた景観の D整備を行う。 まどベンチ、	R2年度 事務事業評 総合の (うちも市 法主自治度 事務を治 R2年度 事務等 総後の	西評価・ (業費 () 単位:千円 () 治事務(任 () () 第一時 () 第一時	R1年度実施事業 拡充・重点化 各4 R1年度決算 492.73 (3.62 422-01-05 E意のもの) 担当 R1年度実施事業 R1年度実施事業) 最終結果 現点からの評 (R2) 最終結果 現点からの評	要当性 A 年度(当初)予算 0 0 0	有効性 A 翻 二次評価次 有効性	効率性 A
5	概要 事務 事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容) 新事業名 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容)	近年における夏季の猛暑によ 的な向上を図る。 市立小中学校及び義務教育 エアコンを設置する。 茶山グラウンド整備事業 児童、生徒および地域住民 応神天皇陵古墳に隣接した茶山グラ 億、災害時の一時遐聴地としての機 ・形成ならびに市民や来場者の憩いの を面人工芝のテニスコート5面 防災用照明灯の設置などを平 事業で実施する。	域住民 こる熱中症対策および教学校の普通教室、支援ないのでは、 一般になって、 では、世界文化遺産登録の場としての充実を図るために こと憩いの広場整備、かで成27年度から平成28名	学級教室に 終了 終了 に向けた景観の D整備を行う。 まどベンチ、	R2年度 事務事業 会後 参市 (うちを事事業) は1000 第 第 第 第	西評価・ (業 担 位 : 千円	R1年度実施事業 拡充・重点化 各4 R1年度決算 492.73 (3,6:1 (81年度実施事業) 最終結果 現点からの評 額 R2 21) (R2) 最終結果 現点からの評 額 R2	妥当性 A 年度(当初)予算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	有効性 A 翻 二次評価次 有効性	効率性 A
5	概要 事務 事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか) 事業名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事験(事業名)	近年における夏季の猛暑によ 的な向上を図る。 市立小中学校及び義務教育 エアコンを設置する。 茶山グラウンド整備事業 児童、生徒および地域住民 応神天皇陵古墳に隣接した茶山グラ 億、災害時の一時遐聴地としての機 ・形成ならびに市民や来場者の憩いの を面人工芝のテニスコート5面 防災用照明灯の設置などを平 事業で実施する。	域住民 る熱中症対策および教 学校の普通教室、支援な 学校の普通教室、支援な 継続・ 新規 がは、世界文化遺産登録 が場としての充実を図るため 高と関いの広場整備、か で成27年度から平成28年	学級教室に 終了 終了 に向けた景観の D整備を行う。 まどベンチ、 E度の2カ年	R2年度 事務事業評(会後 参布 (うちの 事務事業 1 法定治度 事務事業 2 会後 総市 (うちの (うちの) (うちo) (う	画評価・ 大方向性 業負単位:千円 治事務(任 (((((((((((((R1年度実施事業 拡充・重点化 各者 492.7% (3.65) 最終結果 現点からの評 額 R2 21) (R2 別 最終結果 R2 プール施設等	要当性 A 年度(当初)予算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	有効性 A	効率性 A
	概要 事務 事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか) 事業名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事験(事業名)	近年における夏季の猛暑によ 的な向上を図る。 市立小中学校及び義務教育 エアコンを設置する。 茶山グラウンド整備事業 児童、生徒および地域住民 応神天皇陵古墳に隣接した茶山グラ 億、災害時の一時遅離地としての機 形成ならびに市民や来場者の憩いの 全面人工芝のテニスコート5面 所災用展明灯の設置などを平 事業で実施する。	域住民 - る熱中症対策および教 学校の普通教室、支援学 - 教養・ - 教養	学級教室に 終了 終了 に向けた景観の D整備を行う。 まどベンチ、 E度の2カ年	R2年度 事務事業評価 会後 総市 (うちを) は 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	画評価・ 大方向性 業負単位:千円 治事務(任 (((((((((((((R1年度実施事業 拡充・重点化 各4 R1年度決算 492.73 (3,6:3 (1422-01-05 (1422-01-05 (1422-01-06 () 最終結果 現点からの評 (要当性 A 年度(当初)予算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	有効性 A	分率性 A 分率性
	概要 事務事業の 事務事業の 事務事業の	目的 (どうしたいのか) 事験(事業名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事験(事業名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業名 対象(誰を・何を)	近年における夏季の猛暑によ 的な向上を図る。 市立小中学校及び義務教育等 エアコンを設置する。 茶山グラウンド整備事業 児童、生徒および地域住民 応神天皇陵古墳に隣接した茶山グラ 億、災害時の一時遅難地としての機 形成ならびに市民や来場者の憩いの 全面人工芝のテニスコート5面 防災用照明灯の設置などを平 事業で実施する。 学校プール施散あり方検計事務 市立学校プール	域住民 る熱中症対策および教 学校の普通教室、支援・ 経続・ 新規 がおして、 意田中学校 能強化、世界文化遺産登録・ の場としての充実を図るため こと憩いの広場整備、か ア成27年度から平成28年 経続・ 新規	学級教室に 終了 終了 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	R2年度 事務事業 総後 総市 会後 総市 本法自治度事務 総後 総市 ・会後 総市 ・会後 総市 ・会後 総市 ・会の 事務 定治度事務 に治度事務 に治度事務 に治度事務 に治度事務 に治の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	画評価・性 業負単位:千円 治事務(任 (() 治事務(任 (() 治事務(任	R1年度実施事業 拡充・重点化 各者 R1年度決算 492,71 (3,6) (3,6) (422-01-05 (87年度実施事業) 最終結果 現点からの評 (R2) 最終結果 (R2) 最終結果 (R2) 最終結果 (R2) 最終結果 (R2) 最終結果 (R2) 最終結果	要当性 A 年度(当初)予算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	有効性 A	効率性 A A 参事業 効率性 参事業 効率性
	概要 事務事業の 概要 事務事業の 事務事業の	目的 (どうしたいのか) 事業名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業名 対象(誰を・何を)	近年における夏季の猛暑によ 的な向上を図る。 市立小中学校及び義務教育年 エアコンを設置する。 茶山グラウンド整備事業 児童、生徒および地域住民 応神天皇陵古墳に隣接した茶山グラ 備、災害時の一時返難地としての機 所成ならびに市民や来場者の憩いの 全面人工芝のテニスコート5面 防災用照明灯の設置などを平 事業で実施する。 学校プール施設あり方検討事務 市立学校プール 学校プールのあり方基本方針 羽曳野市公共施設等総合管3	域住民 る熱中症対策および教 学校の普通教室、支援・ 経続・ 新規 がおして、 意田中学校 能強化、世界文化遺産登録・ の場としての充実を図るため こと憩いの広場整備、か ア成27年度から平成28年 経続・ 新規	学級教室に 終了 終了 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	R2年度 事務事業 総後 総市 会後 総市 本法自治度事務 総後 総市 ・会後 総市 ・会後 総市 ・会後 総市 ・会の 事務 定治度事務 に治度事務 に治度事務 に治度事務 に治度事務 に治の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	面評方方業負単 一 治 事務(任 ()	R1年度実施事業 拡充・重点化 各者 R1年度決算 492,71 (3,6) (422-01-05 (窓のもの) 担当 (R1年度実施事業) 最終結果 現点からの評 (R2) 最終結果 (R2) 最終結果 (R2) 最終結果 (R2) 最終結果 (R2) 最終結果 (R2) 最終結果	要当性 A 年度(当初)予算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	有効性 A	効率性 A A 参事業 効率性 参事業 効率性
	概要 事務事業の 概要 事務事業の 事務事業の	目的 (どうしたいのか) (事業内容) 第事業名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業内容) 新事業名 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) (事業内容)	近年における夏季の猛暑によ 的な向上を図る。 市立小中学校及び義務教育等 エアコンを設置する。 茶山グラウンド整備事業 児童、生徒および地域住民 応神天皇陵古墳に隣接した茶山グラ 備、災害時の一時避難地として動 所成ならびに市民や来場者の創いが 全面人工芝のテニスコート5面 防災用照明灯の設置などを平 事業で実施する。 学校プール施設あり方検討事務 市立学校プール 学校プールのあり方基本方針 羽曳野市公共施設等総合管理 ブールのあり方を検討する。	域住民 る熱中症対策および教 学校の普通教室、支援・ 経続・ 新規 がおして、 意田中学校 能強化、世界文化遺産登録・ の場としての充実を図るため こと憩いの広場整備、か ア成27年度から平成28年 経続・ 新規	学級教室に 終了 終了 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	R2年度 事務事業 (うちの 事本) (うちの 事本) (うちの 事	画評方 業負単 1 1 治 事	R1年度実施事業 拡充・重点化 各4 R1年度決算 492.73 (3.62 422-01-05 意のもの) 担当 (R1年度実施事業 拡充・重点化 各4 R1年度実施事業 拡充・重点化 各4 R1年度実施事業 拡充・重点化 各4 R1年度決算 1.55) 最終結果 現点からの評 額 R2 21) (R2 D) 最終結果 R2 プール施設等 R2 プール施設等 R2 関点からの評 ((R2 アール施設等 R2 R3	要当性 A 年度(当初)予算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	有效性 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	効率性 A A 参事業 効率性 参事業 効率性
	概要 事務事業の 概要 事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか) (事業内容) (どうしたいのか) (事業内容) (どうしたいのか) (事業内容) (どうしたいのか) (事業内容) (どうしたいのか) (事業内容)	近年における夏季の猛暑によ 的な向上を図る。 市立小中学校及び義務教育等 エアコンを設置する。	域住民	学級教室に 終了 終了 「テースコート製の の整備を行う。 まき度の2カ年 終了	R2年度 事務 総後 総市 今後 総市 ・	画評方 業負単 1 一 1 治事務(任 (R1年度実施事業 拡充・重点化 各者 R1年度決算 492,71 3 (3,6) 422-01-05 意のもの) 担当 (R1年度実施事業 422-01-06 意のもの) 担当 (R1年度実施事業 拡充・重点化 各者 R1年度決算 1,5 1,5 1,5 1,5	分量 R2 R2 日本 D 最終結果 R2 アール施設等 R2 アール施設等 R2 アール施設等 R2 アール施設等 R3 R4 R4 R5 R5 R6 R8 R7 R9 R9 R9 R9 <t< th=""><th>要当性</th><th>有效性 A 額 二次評価如 有效性 B 額 1 二次評価如 B 割 1 二次評価如 1 2 3 8 8 1 2 3 8 1 2 3 8 1 2 3 1 2</th><th>効率性 A A A A A A A A A A A A A</th></t<>	要当性	有效性 A 額 二次評価如 有效性 B 額 1 二次評価如 B 割 1 二次評価如 1 2 3 8 8 1 2 3 8 1 2 3 8 1 2 3 1 2	効率性 A A A A A A A A A A A A A
6	概要 事務事業の 概要 事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか) (事業内容) (どうしたいのか) (事業内容) (どうしたいのか) (事業内容) (どうしたいのか) (事業内容) (どうしたいのか) (事業内容)	近年における夏季の猛暑によ 的な向上を図る。 市立小中学校及び義務教育等 エアコンを設置する。 茶山グラウンド整備事業 児童、生徒および地域住民 応神天皇陵古墳に隣接した茶山グラ 備、災害時の一時避難地としての機 所成ならびに市民や来場者の憩いの 全面人工芝のテニスコート5面 防災用照明灯の設置などを平 事業で実施する。 学校プール施設あり方検討事務 市立学校プール 学校プールのあり方基本方針 羽曳野市公共施設等総合管 ブールのあり方を検討する。 長寿命化改修事業	域住民 「本意味」 「本	学級教室に 終了 終了 「デースコート製の」 まどペンチ、 ま度の2カ年 終了 終了	R2年度	画評方 業負単 1 一 1 治事務(任 (R1年度実施事業 拡充・重点化 各4 R1年度決算 492.71 3 (3,6) 422-01-05 意のもの)担当 (R1年度実施事業 拡充・重点化 各4 R1年度実施事業 拡充・重点化 各4 R1年度実施事業 拡充・重点化 各4 R1年度実施事業 拡充・重点化 各4 R1年度実施事業 (R1年度実施事業	分量終結果 現点からの評 R2 D) 最終結果 現点からの評 R2 ブール施設等 別点からの評 R2 オール施設等 日本	要当性 A 年度(当初)予算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	有效性 A	効率性 A i象事業 効率性 A photograph i象事業 効率性 A

基	本事業名	学校給食の充実	<u> </u>			対 (誰を	·象 •何を)	児童及び	が生徒				
	基本事業 コード 欠羽曳野市総	422-02			基本事業の 概要	B	的:いのか)	適切な栄	栄養の摂取によ	:る心身の)発達、健康 <i>の</i>	D保持増進を図	ა
施施施	策目標 策 策の方向	4 未来に羽(2 学校教育 2 安心して当 (1)羽曳里	さべる教 予の資源	ども・若者を育むまち 育環境づくりの推進 を活かしたまちづくり	総合基本計画 目標指標		指標	[名		単位野	H28.4時点 乳状値(総計)	R1年度 実績	R2年度 目標(総計)
	略			・安全に暮らせるまちづくり)活力と成長に向けたまちづくり			1						
		8事業名	中学核	給食提供事業			事務事業	コード	422-02-	01			
	総計に基 事業の進捗	づく 状況 (R2 年度)	Α	順調である	継続・ 新規	継続	日沼	自治事務(日	任意のもの) 担	当 R2	教育総務	課 R3	食育·給食課
1		対象(誰を・何を)		学校及び義務教育学校後期課			R2年度 事務事業評	価	(R1年度実施事	業) 最終			価対象事業
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	当を持	・栄養の摂取による心身の発達、健康 参できない生徒に栄養バランスを考)正しい知識を習得させ、適切な判断	えた食事を提供			☆評価・ D方向性	現状維持	各視点か	C O ®TATE	当性 有効 A	
	101.54	手段 (事業内容)	保護者 給食0	(生徒)がパソコン・携帯電話を の利用を希望する日を選んで申込 デリバリー方式・外部民間調理は	活用し、予約シ とみする「選択制	り の給食を		事業費 5負担額) 単位:千円		等額 0,881 0,881)		32,152 実	年度 施の 実施 句性
	事務事業名		小学杉	給食提供事業			事務事業	コード	422-02-	02	1		
	事務事業名 小学校給食提供事業 総計に基づく 事業の進捗状況 (R2年度) A 順調である			順側である	継続・新規	継続	法定·自治	自治事務(日	£意のもの) 担	当 R2	学校給食セン	ノター R3 =	学校給食センター
	学术 00/E/9		市立小	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		<u> </u>	R2年度 事務事業評	·価 ((R1年度実施事	業) 最	終結果	二次評	価対象事業
2	事務事業の	目的 (どうしたいのか)		D心身の健全な発達と、食に関す −養成する。	る正しい理解と	:適切な判		ì評価・ D方向性	改善して継続	各視点か	C O ®TATE	当性 有効 A B	
	概要	手段(事業内容)	会や羽する協調	小学校及び義務教育学校前期課程の終 曳野市学校給食会での献立作成、物資 養に基づき、安全で充実した給食の実施 ひとした児童や保護者への食育指導に	購入、食物アレルコ を図る。また、各学	デー対策に関		事業費 5負担額) 単位:千円		等額 1,525 1,525)		62,516 実	年度 施の 実施 向性
	中亚	務事業名	I	ンター等施設管理事務事業			事務事業	7_1	422-02-	00	7		
	総計に基金	づく (Paケー)	和及 ^で B	板ね順調である	継続・	継続	法定・			当 R2	学校給食セン	,h_ pp 4	学校給食センター
	事業の進捗	状況 (社を・何を)	第1学	校給食センター、第2学校給食も	新規 2ンター、各学校	11111111	日治 R2年度		(R1年度実施事				価対象事業
3	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)		D小学校及び義務教育学校前期 骨に実施するため、必要となる施				^{・価} ↑評価・ D方向性	改善して継続		妥の評価	当性 有効 A C	性 効率性
		手段 (事業内容)	施設や	。 ら設備の定期的な点検や老朽箇 設運営に必要な供給処理施設を				事業費 5負担額) 単位:千円		等額 3,990 3,990)		59,098 実	年度 施の 実施 句性
	事務	8事業名	給食セ	ンター整備事業			事務事業:	コード	422-02-	04	1		
	総計に基 事業の進捗		D	遅れている	継続・ 新規	継続	2:中。	自治事務(日		当 R2	教育総務	課 R3	食育·給食課
	于不70000	対象(誰を・何を)	第1学	- - 校給食センター、第2学校給食も	451750	総食室設	R2年度 事務事業評	価	(R1年度実施事	業)最終	終結果	二次評	価対象事業
4	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)		* とした給食センターの施設・設備な	を改善する。		総合	↑評価・ D方向性	拡充·重点化	各視点か	C O STATE	当性 有効 A B	
		手段 (事業内容)	新築和る。	多転に向けて、事業手法の検討も	合めた基本計	画を策定す		事業費 5負担額) 単位:千円		等額 0,983 2,083)	R2年度(当	6,817 実	年度 施の 実施 ^{句性}

		- A > 1 mii				*	象			5 II A-L						
	基本事業名	安全安心な学校	環境の	整備		(誰を		:)	児童及び	生徒						
第 6	基本事業 コード 3次羽曳野市総	422-03			基本事業の 概要	目 (どうした	的 :いの	か)	登下校時	;及び校内でG	の安全を	を確保する	•			
	施策目標		ポたく子 。	ども·若者を育むまち							l	H28, 4E	去占	71年度		R2年度
	施策	2 学校教育						指標	!名		単位	現状値(紅		実績		票(総計)
	施策の方向			育環境づくりの推進 を活かしたまちづくり	総合基本計画目標指標	i										
	まちづくりの 戦略	O (2)だれも	が安心・	・安全に暮らせるまちづくり	口 标 10 标											
Щ		〇 (3)人口派	製少下の	活力と成長に向けたまちづくり												
	事	事務事業名 学校安全対策事業 総計に基づく (PACE A)					事	務事業コ	コード	422-03-	-01					
	総計に基事業の進捗	総計に基づく 事業の進捗状況 (R2 年度) A 原間である			継続・ 新規	継続	法自	定・自治	治事務(任	意のもの) 担	当 R2	教育	総務課	R3	教育約	%務課
1		事業の進捗状況 (R24) A 解酬 Cの 分 対象(誰を・何を) 児童			•	-		年度 務事業評	価(R1年度実施	事業):	最終結果		二次評	価対象	事業
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか))学生生活及び登下校時における る。	る不審者等から	の安全確			評価・)方向性	現状維持	各視点	からの評価	妥当性	有効	-	効率性 A
	,,,,	手段 (事業内容)	の通報	†近に安全管理員を配置し、門扉 る、来校者確認の受付業務等を行 5犯ブザーを無償貸与する。					業費 負担額) 単位:千円	R1年度2	文 算額 7,616 7,616	R2年) (度(当初)予算 8,758 8,758	実	年度 施の 句性	実施
										•						
	事	 	地域ぐ	るみの学校安全体制整備推進事業	ŧ		事	務事業コ	コード	422-03-	-02					
	総計に基 事業の進捗		Α	順調である	継続・ 新規	継続	法自	定· l治	治事務(任	意のもの) 担	担当 R2	学校	教育課	R3	学校教	改育課
2		対象(誰を・何を)	市立小	、学校及び義務教育学校前期課	程在学児童			年度 務事業評	価(R1年度実施	事業):	最終結果		二次評	価対象	事業
-	事務事業の けいます もの安全確保を図るため、学校、3		-ちが安全で安心して教育を受けられる 全確保を図るため、学校、家庭及び地域 地域社会全体で子どもの安全を見守る	の関係機関・団体				評価・)方向性	現状維持	各視点	からの評価	妥当性	有効	_	効率性 A	
	事務事業の (どうしたいのか) 概要	警察官 嘱し、?	『OBや防犯の専門家等をスクール 各学校を定期的に巡回し、警備の 指導と評価や、スクールガードに	ルガード・リー: カポイントや改	善すべき点			業業費 負担額) 単位:千円	R1年度2	276 276	R2年) (度 <mark>(当初)予算</mark> 637 277	実	年度 施の 句性	実施	

	基本事業名	教育	コミュニティづくり			対象 (誰を・何を)	地域住民及び保護者				
	基本事業 コード	市総合基本計画		基本事業の 概要	目的	地域全体で学校教育を	支援。	よろ			
第	6次羽曳野市総	合基本	k計画			(どうしたいのか)	心头主体(于汉教育)	. X 1/2 :	7 00		
	施策目標			~ども·若者を育むまち		指標	夕	単位	H28. 4時点	R1年度	R2年度
	施策		学校教育			181778	11	+12	現状値 (総計)	実績	目標 (総計)
	施策の方向	2	安心して学べる教	と 育環境づくりの推進	総合基本計画						
		0	(1)羽曳野の資源	原を活かしたまちづくり	目標指標						
	まちづくりの 戦略		(2)だれもが安心	>・安全に暮らせるまちづくり							
	平 及 F G	0	(3)人口減少下(の活力と成長に向けたまちづくり							

	事務	§事業名	私たちの	まちの学校園育み事業			事利	务事業コ	ード	422-	04-01					
	総計に基 ² 事業の進捗	総計に基づく 事業の進捗状況 (R2年度 対象(誰を・何を)		順調である	継続・ 新規	継続	法定自治	治自	治事務(日	E意のもの)	担当	R2	学校	教育課	R3 学	校教育課
		対象(誰を・何を)	市立幼科	・ 性園、小・中学校及び義務教育学校		•	R2年 事務	F度 各事業評価	m (R1年度実	施事業) 最終	終結果		二次評価対	象事業
1		対象(誰を・何を) 市立幼稚園、小・中学校及び義務教育学校 目的 地域住民及び保護者が教育活動の振興を支援し、				は東ト連な		総合訓	▼/ボ・					妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要			スタン 体設 自か 教 自				今後のプ		現状維持	持各	視点から	らの評価	Α	Α	Α
	1/1/2			人材を生かした教育活動の充実				総事業	業費	R1年	度決算	額	R2年月	度(当初)予算	額 R3年度	
		手段 (事業内容)		演会の開催 レットの作成、配布				(うち市負	負担額)		2,9	05		2,925	実施の	実施
		(チネバセ)		掃活動等					単位:千円	3 (2,9	05)	(2,925	方向性	

		1											
麦	本事業名	野外活動機会の)提供		対 (誰を・	象 ·何を)	青少年						
	基本事業	431-01		基本事業の									
	コード			概要	目 (どうした	的 ·いのか)	体験活動	か充実を図る	,				
_	次羽曳野市約				(2)0/	,, ,,,,							
	策目標 議		ばたく子ども・若者を育むまち :者育成支援			指標	名		単位 男	H28.4時点 現状値(総計)		年度 実績	R2年度 目標(総計)
	策の方向	1 健やかな)		総合基本計画						STALL (NORT)			m pa (non)
ŧ	ちづくりの		野の資源を活かしたまちづくり	目標指標									
単	略		らが安心・安全に暮らせるまちづくり 成少下の活力と成長に向けたまちづくり										
			<u> </u>						!	1			
		務事業名	ふれあい広場関連事務事業			事務事業コ	コード	431-01-	-01				
	総計に基事業の進捗		B 概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	治事務(任	意のもの) 担	!当 R2	社会教育	課	R3 社	会教育課
1		対象(誰を・何を)	青少年			R2年度 事務事業評	価 (R1年度実施	業) 最	終結果		二次評価対	象事業
l '	***	目的	駒ヶ谷の豊かな自然を享受できるE		行える場	総合	評価・	TE 小上 4# +土	夕切上小	2 m (T)	当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうしたいのか)	所を提供することで青少年の体験が	舌動の充実を図る。		今後の	方向性	現状維持	各視点か	らの評価	Α	В	A
		手段	グレープヒルスポーツ公園野外活動	助広場(ふれあい広	場)の運営		業費 (負担額)	R1年度》	等額 844	R2年度(当	初)予算8 624	R3年度 実施の	
		(事業内容)	及び親子ふれあいサマーイベントの	D開催。		()50()	単位:千円	(844)	(624) 方向性	天心
										_			
	事	7/t 기는 기부 /1·											
		務事業名	山添村野外活動施設事務事業			事務事業	コード	431-01-	-02				
	総計に基 事業の進捗	づく (Da 左座)		継続・新規	継続	(本点)		431-01- 意のもの) <u>担</u>		社会教育	課	R3 社	会教育課
,		づく (Da 左座)	A 順調である		継続	法定・	目治事務(任		!当 R2	,,	課	R3 社	
2	事業の進払	づく ・状況 (R2 年度) 対象(誰を・何を)	A 順調である 青少年団体及び青少年育成団体 奈良県山添村の豊かな自然を享受	新規できる環境で、野々	ト活動を行	法定·自治 R2年度 事務事業評 総合	田治事務(任 価 (意のもの) 担 R1年度実施事	!当 R2	終結果	当性	二次評価対	勃率性
2		づく 大沢 (R2年度) 対象(誰を・何を)	A 順調である 青少年団体及び青少年育成団体 奈良県山添村の豊かな自然を享受	新規できる環境で、野々	ト活動を行	法定·自治 R2年度 事務事業評 総合	日治事務(任 価 (意のもの) 担 R1年度実施事 縮小・統合	当 R2 事業) 最著	終結果	^送 当性 C	二次評価対	勃率性 B
2	事業の進払事務事業の	が 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか)	A 順調である 青少年団体及び青少年育成団体 奈良県山添村の豊かな自然を享受 える場所を提供することで青少年の 奈良県山添村に所在する「山添村	新規 できる環境で、野ケ の体験活動の充実を 生涯学習施設東豊!	ト活動を行 ・図る。 館」を5月か	法定·自治 R2年度 事務事業評 総合 今後の	温治事務(任 価 評価・ シ方向性	意のもの) 担 R1年度実施事	当 R2 事業) 最新 各視点か や算額	終結果	子当性 C 初)予算額	二次評価対有効性 C	効率性 B
2	事業の進払事務事業の	づく 大沢 (R2年度) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか)	A 順調である 青少年団体及び青少年育成団体 奈良県山添村の豊かな自然を享受 える場所を提供することで青少年の	新規 できる環境で、野ケ の体験活動の充実を 生涯学習施設東豊!	ト活動を行 ・図る。 館」を5月か	法定·自治 R2年度 事務事業評 総合 今後の	国治事務(任 価 (評価・ 対方向性	意のもの) R1年度実施事 縮小・統合	当 R2 事業) 最著	終結果	^送 当性 C	二次評価対	効率性 B
2	事業の進程事務事業の概要	がく 大況 (R2年度) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容)	A 東側である 青少年団体及び青少年育成団体 奈良県山添村の豊かな自然を享受 える場所を提供することで青少年の 奈良県山添村に所在する「山添村! 610月の6カ月間借り上げ、野外活 民が優先利用できる。	新規 できる環境で、野ケ の体験活動の充実を 生涯学習施設東豊!	ト活動を行 ・図る。 館」を5月か	法定· 自治度 事務事業 総合の 令後の (うち市	国治事務(任 価 評価・)方向性 事業費 「負担額) 単位:千円	意のもの) R1年度実施等 縮小・統合	事業)最終 各視点か で算額 0 0	終結果	C 初)予算和 891	二次評価対 有効性 C 額 R3年度 実施の	効率性 B
2	事業の進程事務事業の概要	が 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか)	A 収買である 青少年団体及び青少年育成団体 奈良県山添村の豊かな自然を享受 える場所を提供することで青少年の 奈良県山添村に所在する「山添村」 610月の6カ月間借り上げ、野外活	新規 できる環境で、野ケ り体験活動の充実を 生涯学習施設東豊 動施設として提供。	ト活動を行 ・図る。 館」を5月か	法定。 自治 R2年度 事務事業評 総合 今後の 総等市	国治事務(任 価 評価・)方向性 事業費 「負担額) 単位:千円	意のもの) R1年度実施事 縮小・統合	事業)最終 各視点か で算額 0 0	終結果	C 初)予算和 891	二次評価対 有効性 C 額 R3年度 実施の	効率性 B
2	事業の進程事務事業の概要	がく 大況 (R2年度) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容)	A 東側である 青少年団体及び青少年育成団体 奈良県山添村の豊かな自然を享受 える場所を提供することで青少年の 奈良県山添村に所在する「山添村! 610月の6カ月間借り上げ、野外活 民が優先利用できる。	新規 できる環境で、野ケ の体験活動の充実を 生涯学習施設東豊!	ト活動を行 ・図る。 館」を5月か	法定。 自治 R2年度 事務事業 総後の 総等市 (うち市	一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日	意のもの) R1年度実施等 縮小・統合	当 R2 各視点か を算額 0 0)	終結果	C 初)予算程 891 891	二次評価対 有効性 C 額 R3年度 実施の	効率性 B
	事業の進程事務事業の概要	がく 大況 (R2年度) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容)	A 関調である 青少年団体及び青少年育成団体 奈良県山添村の豊かな自然を享受 える場所を提供することで青少年の 奈良県山添村に所在する「山添村! 610月の6カ月間借り上げ、野外活 民が優先利用できる。 ふれあい広場大型遊具更新事業	新規 できる環境で、野ケ の体験活動の充実を 生涯学習施設東豊 動施設として提供。 継続 新規	ト活動を行 図る。 館」を5月か 羽曳野市	法定治度事務事業 (うち市	周治事務(任 価 (何 評価・ (戸)方向性 事業費 負担額) 単位:千円	意のもの) <mark>担</mark> R1年度実施事 縮小・統合 R1年度ジ	当 R2 各視点か 各視点か 0 0)	終結果 らの評価 R2年度(当 (C 初)予算程 891 891	二次評価対 有効性 C 額 R3年度 実施の	象事業 効率性 B
3	事業の進起事務事業の概要	がく 大沢 (R2年度) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 事段 (事業内容) 第事業名 対象(誰を・何を)	A 関調である 青少年団体及び青少年育成団体 奈良県山添村の豊かな自然を享受 える場所を提供することで青少年の 奈良県山添村に所在する「山添村! ら10月の6カ月間借り上げ、野外活 民が優先利用できる。 ふれあい広場大型遊具更新事業 ふれあい広場を訪れる市民全般(特 ふれあい広場に大型遊具を設置することに	新規 できる環境で、野外の体験活動の充実を生涯学習施設東豊計動施設として提供。 「機械・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ト活動を行図る。 宿」を5月か羽曳野市 終了	法定治 自 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	周治事務(任 価 (何 評価・ (戸)方向性 事業費 負担額) 単位:千円	意のもの) 技 R1年度実施事 縮小・統合 R1年度迄 (431-01- 意のもの) 技 R1年度実施事	当 R2 R2 各視点か	終結果 らの評価 R2年度(当 (社会教育	C 初)予算作 891 891	二次評価次 有効性 C R3年度 実施の 方向性	象事業 効率性 B
	事業の進程事務事業の概要	がく。 大況 (R2年度) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容) (F2年度) 対象(誰を・何を)	A 東興である 青少年団体及び青少年育成団体 奈良県山添村の豊かな自然を享受 える場所を提供することで青少年の 610月の6カ月間借り上げ、野外活 民が優先利用できる。 ふれあい広場大型遊具更新事業 ふれあい広場を訪れる市民全般(特	新規 ・できる環境で、野ケク体験活動の充実を生涯学習施設東豊動施設として提供。 総統・新規 特に、幼児・児童) より、駒ヶ谷の豊かな自ニ業しんでもらえるよう。	ト活動を行図る。 宿」を5月か羽曳野市 終了	法定治 中医学 计 合	周治事務(任 価 (評価・ フカウトの性 多業費 負担額) 単位:千円	意のもの) 技 R1年度実施事 縮小・統合 R1年度法 ((431-01- 意のもの) 技 R1年度実施事	当 R2 R2 各視点か 各視点か 8 R2 R2 R2 R2 R2 A4 R2 A4 R2 A4 R2 R2	終結果 妥 の評価 R2年度(当 (社会教育	R当性 C 初)予算(891 891	二次評価次 有効性 C 限 実施の 方向性	象事業 効率性 B
	事業の進程 事務事業の 概要 事務事業の	がく 大沢 (R2年度) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 事段 (事業内容) 第事業名 対象(誰を・何を)	A ■関である 青少年団体及び青少年育成団体 奈良県山添村の豊かな自然を享受 える場所を提供することで青少年の 奈良県山添村に所在する「山添村'。 ら10月の6カ月間借り上げ、野外活 民が優先利用できる。 ふれあい広場大型遊具更新事業 ふれあい広場を訪れる市民全般(特 ふれあい広場に大型遊具を設置することに がら、キャンブ時や普段憩いを求める市民	新規 できる環境で、野外体験活動の充実を生涯学習施設東豊動施設として提供。 総統・新規 特に、幼児・児童) より、駒ヶ谷の豊かな自て東ルムでもらえるよう、	ト活動を行図る。 館」を5月か羽曳野市 終了	法自治年 第	周治事務(任 価 (評価・) 方向性 事業費担額) 単位:千円 コード (個 (に)	意のもの) 技 R1年度実施事 縮小・統合 R1年度迄 (431-01- 意のもの) 技 R1年度実施事	当 R2 R2 各視点か 各視点か 8 R2 R2 R2 R2 R2 A4 R2 A4 R2 A4 R2 R2	終結果 らの評価 R2年度(当 (社会教育	R当性 C 初)予算(891 891	二次評価次 有効性 C 限 実施の 方向性	象事業 効率性 B

							対	免									
	本事業名	健やかな成長を	支える環	境整備			(誰を・		を)	児童・青ヶ	少年等						
	基本事業 コード 欠羽曳野市総	431-02			基本事業 概要	の	目 (どうした		ひか)	各施設に	おいて、地は	或の子	育て・	自主活	動・健全育	成等に対する	支援を図る。
	大 初 支 野 川 応 策 目 標		ずたく子)	ども・若者を育むまち										H28. 4時	占 1	R1年度	R2年度
施	策	3 子ども・若	者育成支	支援					指標	名		単位		状値(総		実績	目標(総計)
施	策の方向	1 健やかな			総合基本記												
	ちづくりの			を活かしたまちづくり ・安全に暮らせるまちづくり	目標指標	票							-		-		
戦	略			活力と成長に向けたまちづくり													
	事務	務事業名	青少年	児童センター運営事務事業				Juliu	事務事業=	コード	431-02	2-01					
	総計に基金事業の進捗	づく 状況 (R2 年度)	В	概ね順調である	継続新		継続		ま定・ 自治	治事務(任:	意のもの)	担当	2 青	少年児	童センター	R3 青少年	F児童センター
		対象(誰を・何を)	幼児か	ら成人の方まで幅広い年代を対	対象。				2年度 務事業評	m (R1年度実施	事業)	最終	結果		二次評価対	才象事業
1		目的	青少年の	放課後や土曜日、夏休み期間等の安心・多 生を中心に各種教室を実施し様々な知識・扌	安全な居場所づく	りの実	施。		业人	評価・					妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうしたいのか)	関心を高	主を中心に各種教室を実施し様々な知識・打 高める。 館・運動広場・教室等の施設を貸しだすこと						方向性	現状維持	各視	点から	の評価	Α	В	Α
	1/1/2			年末・年始除く)の午前9時から午後9時					総事	業費	R1年度	決算額		R2年度	度(当初)予算	類 R3年度	E .
		手段 (事業内容)	* 土曜日	∃教室(文化、サッカー、おもしろ)・子育 学力向上教室・夏休みを中心としたこど	育て支援(親子、 ごも教室の実施。	小学5。館内	主体操教室)・ の教室、体		(うち市	負担額)		19,716			20,978	実施の	
			育館、運	国動広場等の施設貸出(無料)						単位:千円	(19,516)	(20,698)方向性	
	事務	等業名	青少年	児童センター施設管理事務事業				lini.	事務事業=	コード	431-02	2-02					
	総計に基準事業の進捗		В	概ね順調である	継続新		継続		法定・ 自治	治事務(任:	意のもの)	担当 F	12 青	少年児	童センター	R3 青少年	F児童センター
		対象(誰を・何を)	青少年	児童センターを利用される市内	外の方々を	対象	とする。		2年度 務事業評	III	R1年度実施	事業)	最終	結果		二次評価対	才象事業
2	事務事業の	目的 (どうしたいのか)	切な施	年児童センター運営事務事業」(:設・設備の維持管理を行い、利 ・利用できるようにする。						評価・ 方向性	現状維持	各視	点から	の評価	妥当性	有効性 B	効率性 A
	概要		来館者が	が青少年児童センターを安全で安心して	て利用できるよ	う、施	設の維持管		松本	業費	R1年度	決算額		R2年度	度(当初)予算	I額 R3年度	
		手段	理に努め	カ、可能な限り、補修・修繕については こ応じて、消防設備等の保守管理等に	職員で行ってい 専門性の必要な	いる。 な業務	や、施設警			(未員 負担額)		25,099)		30,289	実施の	
		(事業内容)	備・清掃 る。	業務等、委託により効率化が見込める	業務等、適宜	業者に	委託してい			単位:千円	(25.099)	(30.289	方向性	
			Φ.								`		,	`	,	<u> </u>	
		§事業名	白鳥児	童館運営事務事業				TOTAL TOTAL	事務事業コ	コード	431-02	2-03					
	総計に基準事業の進捗		В	概ね順調である	継続新		継続	Ï	日冶	治事務(任	意のもの)	担当F	2	白鳥	見童館	R3 É	鳥児童館
3		対象(誰を・何を)	乳幼児	から小学校に在学する児童、伊	呆護者				2年度 務事業評	m (R1年度実施	事業)	最終	結果		二次評価対	
	事務事業の	目的 (どうしたいのか)		に健全な遊びを与えるとともに、 、子どもを心身ともに健やかにす						評価・ 方向性	現状維持	各視	点から	の評価	妥当性	有効性	効率性 A
	概要		子育で親	現子の交流の場の提供、交流の促進、	子育て相談等の	の子育	て支援事		総事	業費	R1年度	決算額		R2年度	(当初)予算	I額 R3年月	
		手段 (事業内容)		小学生を対象にした遊びの場の提供、 地域との連携・交流を深めるイベントの						負担額)		7,740)		8,573	実施σ	
			の施設扱							単位:千円	(5,856)	(6,647) 方向性	
	事務	務事業名	白鳥児	童館施設管理事務事業				THE STREET	事務事業=	コード	431-02	2-04					
	総計に基づ事業の進捗		В	概ね順調である	継続新		継続		ま定・ 自治	治事務(任	意のもの)	担当 F	2	白鳥	児童館	R3 É	鳥児童館
,		対象(誰を・何を)	白鳥児	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,,,,,			R	2年度 務事業評	m (R1年度実施	事業)	最終	結果		二次評価対	才象事業
*	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	利用者	が安全に、快適に施設を利用で	できる。					評価・ 方向性	現状維持	各視	点から	の評価	妥当性	有効性 A	効率性 A
		手段	46 = D. TI	び設備の保守・点検、及び清掃					総事	業費 負担額)	R1年度	決算額 2.935		R2年度	(当初)予算 3.262	「額 R3年月 実施の	

					-44	象							
差	本事業名	地域社会への参	加促進			承 •何を)	児童·青	少年等					
ā	基本事業 コード	431-03		基本事業の 概要		.,							
		A # 1 -1		19.0安		的 :いのか)	地域にお	おける交流の位	足進を図	る。			
	欠羽曳野市総												
	策目標 策		ばたく子ども・若者を育むまち :者育成支援			指標	名		単位	H28.4時点 現状値(総計		1年度 実績	R2年度 目標(総計)
	策の方向	1 健やかな		総合基本計画									
±	ちづくりの		野の資源を活かしたまちづくり	目標指標									
	略		らが安心・安全に暮らせるまちづくり 成少下の活力と成長に向けたまちつ										
		0 (0,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1							-	-		
	事	 %事業名	夏休みラジオ体操事業			事務事業	コード	431-03	-01				
	総計に基事業の進捗	づく (R2 年度)	B 概ね順調である	継続・新規	継続	法定· 自治	自治事務(信	任意のもの) 打	旦当 R2	社会教	育課	R3 社	会教育課
) FIGURE 12 B TIPE		子ども、地域(自治会等)			R2年度 事務事業評	価	(R1年度実施	事業) 最	と終結果		二次評価対	
1			夏休みは不規則な生活になりが	がちなため、地域ぐるみ	で朝のラジ		·評価·		1		妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうしたいのか)	オ体操を実施することで規則正地域コミュニティの活性化をめる		弋間交流、		計画·)方向性	現状維持	各視点力	いらの評価	В	В	Α
	177.2	手段	地域(自治会等)やこども会に、		6.78m3		業費	R1年度		R2年度(当初)予算		
		(事業内容)	本)を配布することでラジオ体技			(つち市	負担額)単位:千P	9 (871 871) (771 771	実施の方向性	
_													
	事	 落事業名	親子ふれ愛(ふろ愛)事業			事務事業	コード	431-03	-02				
	事務 総計に基 事業の進捗	<mark>察事業名</mark> づく _{5状況} (R2 年度)	親子ふれ愛(ふろ愛)事業	継続・ 新規	終了	**ウ		431-03 壬意のもの) <mark>す</mark>		社会教	育課	R3	
	事務 総計に基 事業の進捗	づく 対況 (R2 年度)	親子ふれ愛(ふろ愛)事業 羽曳野市内の小学生及び義務	新規		法定・	目治事務(信		旦当 R2		育課	二次評価交	†象事業
2	総計に基事業の進捗	づく 状況 対象(誰を・何を)	羽曳野市内の小学生及び義務 少子化、核家族化が急速に進	新規 系教育学校前期過程以 み、地域社会とのつなか	での子ども いが希薄	法定· 自治 R2年度 事務事業評	目治事務(信	任意のもの) j	旦当 R2 事業) 最	終結果	妥当性	二次評価交有効性	効率性
2	事務事業の概要	づく 状況 対象(誰を・何を)	羽曳野市内の小学生及び義務 少子化、核家族化が急速に進 となるなか、保護者や地域の人	新規	での子ども ドリが希薄 通じたふれ	法定· 自治 R2年度 事務事業評 総合	出治事務(f	壬意のもの) 打	旦当 R2 事業) 最	終結果		- 121 1	
2	総計に基事業の進程	大 大 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか)	羽曳野市内の小学生及び義務 少子化、核家族化が急速に進 となるなか、保護者や地域の人 あいを図り、青少年の健全育の 実施日(1月と8月を除く月の全	新規 新教育学校前期過程以下 み、地域社会とのつなか 人たちと子どもの入浴をう 女と健康の増進をめざす 土曜日)に小学生以下(での子ども いが希薄 通じたふれ 。 の児童・幼	法定·自治 R2年度 事務事業評 総合 今後の	温治事務(任 価 評価・)方向性 事業費	任意のもの) j	里当 R2 事業) 最 各視点が	を終結果 からの評価	妥当性 C 当初)予算	有効性 B	効率性
2	総計に基事業の進程	づく 対況 (R2年度) 対象(誰を・何を) 目的	羽曳野市内の小学生及び義務 少子化、核家族化が急速に進 となるなか、保護者や地域の人 あいを図り、青少年の健全育成	新規 新教育学校前期過程以下 み、地域社会とのつなか 人たちと子どもの入浴をう 女と健康の増進をめざす 土曜日)に小学生以下(での子ども いが希薄 通じたふれ 。 の児童・幼	法定·自治 R2年度 事務事業評 総合 今後の	世 田治事務(住 価 評価・ シ方向性	任意のもの) 計 (R1年度実施 縮小・統合	里当 R2 事業) 最 各視点 #	を終結果 からの評価	妥当性	有効性 B	効率性
2	総計に基事業の進程	対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか)	羽曳野市内の小学生及び義務 少子化、核家族化が急速に進 となるなか、保護者や地域の人 あいを図り、青少年の健全育成 実施日(1月と8月を除く月の全 児が保護者等と同伴で入浴す	新規 新教育学校前期過程以下 み、地域社会とのつなか 人たちと子どもの入浴をう 女と健康の増進をめざす 土曜日)に小学生以下(での子ども いが希薄 通じたふれ 。 の児童・幼	法定·自治 R2年度 事務事業評 総合 今後の	価 評価・ シ方向性 事業費 負担額)	任意のもの) 計 (R1年度実施 縮小・統合	田当 R2 事業) 最 各視点が 決算額 889	を終結果 からの評価	妥当性 C 当初)予算 0	有効性 B	効率性
2	事務事業の概要	対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか)	羽曳野市内の小学生及び義務 少子化、核家族化が急速に進 となるなか、保護者や地域の人 あいを図り、青少年の健全育成 実施日(1月と8月を除く月の全 児が保護者等と同伴で入浴す	新規 新教育学校前期過程以下 み、地域社会とのつなか 人たちと子どもの入浴をう 女と健康の増進をめざす 土曜日)に小学生以下(での子ども いが希薄 通じたふれ 。 の児童・幼	法定·自治 R2年度 事務事業評 総合 今後の	国治事務(信 価 評価・)方向性 事業費 ・負担額) 単位:千円	任意のもの) 計 (R1年度実施 縮小・統合	日当 R2 事業) 最 各視点が 決算額 889 889	を終結果 からの評価	妥当性 C 当初)予算 0	有効性 B	効率性
2	事務事業の概要	対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容)	羽曳野市内の小学生及び義務 少子化、核家族化が急速に進 となるなか、保護者や地域の人 あいを図り、青少年の健全育成 実施日(1月と8月を除く月の全 児が保護者等と同伴で入浴す: は幼児)が一人無料になる。	新規 新教育学校前期過程以下 み、地域社会とのつなか 人たちと子どもの入浴をう 女と健康の増進をめざす 土曜日)に小学生以下(での子ども いが希薄 通じたふれ 。 の児童・幼	法定治 自2年度事務事業 総6の 今後の (うち市	国治事務(化 価 評価・)方向性 事業費負担額) 単位:干P	王意のもの) (R1年度実施 縮小・統合 R1年度	日当 R2 事業) 最 各視点が 決算額 889 889	を終結果 からの評価	妥当性 C 当初)予算 0 0	有効性 B ROチョ 実施の	効率性
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容)	羽曳野市内の小学生及び義務 少子化、核家族化が急速に進 となるなか、保護者や地域の人 あいを図り、青少年の健全育成 実施日(1月と8月を除く月の全 見が保護者等と同伴で入浴す: は幼児)が一人無料になる。	新規 新教育学校前期過程以下 み、地域社会とのつなが、 たちと子どもの入浴を対 支と健康の増進をめざす 土曜日)に小学生以下で れば保護者一人に対し、	での子ども がりが希薄 通じたふれ。 の児童・幼 児童(また	法定治度 事務事業 (うち市	画治事務(名 一部であり) 一部であり 一をあり 一をも 一をも 一をも 一をも 一をも 一をも 一をも 一をも	E 意のもの) (R1年度実施 縮小・統合 R1年度	世当 R2	終結果 R2年度(:)) (社会教	妥当性 C 当初)予算 0 0	有効性 B ROチョ 実施の	効率性 C
2	事務事業の概要	対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容) 第事業名	羽曳野市内の小学生及び義務 少子化、核家族化が急速に進 となるなか、保護者や地域の人 あいを図り、青少年の健全育成 実施日(1月と8月を除く月の全 見が保護者等と同伴で入浴す: は幼児)が一人無料になる。	新規 新教育学校前期過程以 み、地域社会とのつなか、たちと子どもの人浴をう なと健康の増進をめざす 土曜日)に小学生以下で れば保護者一人に対し、 継続・新規	での子ども ボリが希薄 通じたふれ。 の児童・幼 児童(また 継続	法定。 自治 R2年度 事務。 (うち市 事務。 法治 定治 (うち市 事務。 法治 R2年度 事務。 法治 R2年度 事務。	画治事務(名 一部であり) 一部であり 一をあり 一をも 一をも 一をも 一をも 一をも 一をも 一をも 一をも	E 意のもの) は R1年度実施 縮小・統合 R1年度 (431-03 ほ のもの) は (R1年度実施 (R1年度 (R14年度 (R144年度 (R144年) (R144年度 (R144年度 (R144年) (R144+R144+R144+R144+R144+R144+R144+R144	日当 R2	を終結果 R2年度()) (社会教:	妥当性 C 当初)予算 0 0	有効性 B 額 デ語の 方向性	効率性 C
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 手段 (事業内容) 第事業名 対象(誰を・何を)	羽曳野市内の小学生及び義務 少子化、核家族化が急速に進 となるなか、保護者や地域の人 あいを図り、青少年の健全育成 実施日(1月と8月を除く月の全 児が保護者等と同伴で入浴す: は幼児)が一人無料になる。 成人式開催事業 A 順調である 新成人 成人の日を迎えるにあたり、新	新規 新教育学校前期過程以 み、地域社会とのつなか たちと子どもの入浴を 技と健康の増進をめざす 土曜日)に、小学生以下 れば保護者一人に対し 継続・ 新規	での子ども ボリが希薄 通じたふれ。 の児童・幼 児童(また 継続	法定治 E E E E E E E E E E E E E E E E E E E	周治事務(任 価 評価・シ方向性 事業費 負担額) 単位:干P	E 意のもの) ま (R1年度実施 縮小・統合 R1年度	日当 R2	R2年度()) (社会教:	妥当性 C 当初)予算 0 0	有効性 B	効率性 C
	事務事業の 概要 総計に基 事業の進力	対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容) 第事業名 が大況 (R2年度) 対象(誰を・何を)	羽曳野市内の小学生及び義務 少子化、核家族化が急速に進 となるなか、保護者や地域の人 あいを図り、青少年の健全育成 実施日(1月と8月を除く月の全 児が保護者等と同伴で入浴す: は幼児)が一人無料になる。 成人式開催事業 A 順調である 新成人 成人の日を迎えるにあたり、新	新規 新教育学校前期過程以 み、地域社会とのつなか たちと子どもの入浴を 技と健康の増進をめざす 土曜日)に小学生以下で れば保護者一人に対し 継続・ 新規 成人としての前途を祝る ながす。	での子ども いりが希薄 面じたふれ の児童・幼 兄童(また 継続	法定治 中医 評 合 《 表 市 本	周治事務(名 価 評価・ シカート 単位:干P コード 国治事務(名 価 評価・	E 意のもの) は R1年度実施 縮小・統合 R1年度 (431-03 ほ のもの) は (R1年度実施 (R1年度 (R14年度 (R144年度 (R144年) (R144年度 (R144年度 (R144年) (R144+R144+R144+R144+R144+R144+R144+R144	世当 R2 各視点が 第89 889 889 889 889 889 889	R2年度()) (社会教 終結果	妥当性 C 当初)予算 0 0	有効性 B (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	金教育課

	基本事業名 多様な学習・ 基本事業コード 431- 6次羽曳野市総合基本計画						1		÷-1	各									
基	本事業名	多様な	学習·体順	食機会の)提供				(誰を	象 ·何	<u>+</u>)	児童·青	少年等						
			431-04				基本事業概要	の	В	的									
		合基本	計画				1		(どうした		つか)	課外にお	ける多様な	は活動の	の体験	を通じて	、健全な成	長を図る。	
	策目標			ばたく子	ども・若者を育むまた	5					16.12			334	44	H28.4時	å F	1年度	R2年度
施			子ども・若								指標	名		里	位現	状値(総			目標 (総計)
施	策の方向	1	健やかなり		• •		総合基本記目標指標												
	ちづくりの				を活かしたまちづく ・安全に暮らせるます		口 1示 1日 1:	示											
戦	略	0			活力と成長に向けた		_												
	事務	务事業	名	はびき	の中学生study-07	事業				事	務事業	コード	431-0	04-01		1			
	総計に基 事業の進捗	づく :状況	(R2 年度)	В	概ね順調である	5	継続新		継続		定・自治	自治事務(任	意のもの)	担当	R2 特	命プロジ:	ェクトチーム	R3 特命	事業推進室
			誰を・何を)	市内在	主住または在学の	中学生	<u> </u>				年度 務事業評	·価 (R1年度実	施事業) 最終	終結果		二次評価対	象事業
1			目的							ĺ		<u>···</u> ·評価·	Ī				妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要		たいのか)	学力问	り上とともに居場所	づくりを図る。						方向性	現状維持	持 各	児点から	らの評価	В	В	В
			手段	学校匆	トの自学自習の場	を提供し、市職	もしままれます	ミラン	ティアス	-		業費	R1年	度決算		R2年度	(当初)予算		
			業内容)		のサポートにより、				, , , , ,		(つち巾	(負担額)単位:千円		3,9		(4,518 756	実施の 方向性	実施
												- LE. 117		1,2.		_	700	7 731411	I
	事務	8事業	名	小·中!	学生スポーツクラブ	舌動事業				事	務事業	コード	431-0	04-02					
	総計に基 事業の進捗	づく :状況	(R2 年度)	В	概ね順調である	5	継紙新		継続		定・自治	自治事務(任	意のもの)	担当	R2 特	命プロジ:	ェクトチーム	R3 特命	事業推進室
2			誰を・何を)	市内在	生住または在学の	小学生および中	中学生			R2 事	年度 務事業評	価 (R1年度実	施事業) 最終	終結果		二次評価対	象事業
	事務事業の	ادً تر)	目的	児童・	生徒の居場所づく	り、健康づくりる	を促進する。	,				·評価・ O方向性	現状維持	持各	児点か	らの評価	妥当性 B	有効性 B	効率性 B
	概要									-		業費	R1年	度決算	額	R2年度	(当初)予算		Ь
			手段 業内容)		員が指導員となり、 算する。	女子サッカーと	と男女使式で	テニス	くをそれぞ			負担額)		2,9	67	,	2,637	実施の	実施
												単位:千円	(2,9	0/)	(2,637	方向性	
	事務	8事業	名	はびき	の夏スタ!事業					事	務事業	コード	431-0	04-03					
	総計に基 事業の進捗	づく :状況	(R2 年度)	В	概ね順調である	5	継続新		継続		定・自治	自治事務(任	意のもの)	担当	R2 特	命プロジ:	ェクトチーム	R3 特命	事業推進室
	7 11 12 12		誰を・何を)	市立小	ト学校および義務	数育学校の4年	手生から6年	生ま	で	R2	年度 務事業評	·m (R1年度実	施事業) 最終	終結果		二次評価対	象事業
3			目的	- GE - ME		= # + • #	* • • • •	1	.u.+	ĺ		·評価·	TO 11: 44.1				妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうし	たいのか)		習慣の定着とともに						今後σ	方向性	現状維持			らの評価	В	A	Α
			手段		こ各小学校2日間の日 で、分からないところや							事業費 「負担額)	R1年	度決算 2.7		R2年度	(当初)予算	110 1/20	ウフ目り
		(事	業内容)	助言、技	指導を行う。学習タイム ョンや外国人による英会	とゲームや工作等	等の児童全員 ⁻	で楽し	めるレクリ		(751)	単位:千円	(2,7		(2,138 1,720	実施の 方向性	完了見込
				- /=	ラでが国人による大力	いるのは、	783 *** C 0 7 7 1	467	C/IE 9 '0'			+μ. π.	(2,1	,,,	`	1,720	/	<u> </u>
	事務	务事業	名	各種參	室等開催(青少年	マンター)事業				事	務事業	コード	431-0	04-04					
	総計に基 事業の進捗	づく 状況	(R2 年度)	В	概ね順調である	5	継紙新		継続		定・自治	自治事務(任	意のもの)	担当	R2	社会教	大育課	R3 社	会教育課
		対象(誰を・何を)	青少年	F	<u> </u>	-				年度 務事業評	価(R1年度実	施事業) 最終	終結果		二次評価対	象事業
4			目的		教育だけでは学ぶ							·評価·				L	妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要		たいのか)	験でき	る場を提供し、伝達 む。	統文化や実技・	への関心や	興味	、学ぶ楽し			方向性	現状維持	持	児点か	らの評価	Α	В	Α
			手段		 数室(子どもアート、	将棋、書道. 7	水彩画)、体	験教	室(お			事業費 i負担額)	R1年	度決算		R2年度	(当初)予算		retor to the
			業内容)		夏休み・春休み短期						(フら巾	(負担額) 単位:千円	(6,6		(8,087 7,883	実施の 方向性	実施
				1								- m. (1)	· ·	0,7)	1 /	7,000	/ // // //	

		<u> </u>		1	*1	<i>A</i> .							
	基本事業名	困難を有する子	ども・若者の支援		対 (誰を・		支援の必	要な子ども・ま	告者及び	保護者等			
	基本事業 コード	432-01		基本事業の 概要	目		居場所づ	くりとともに、	抱えている	る問題の勇	5服・解決を	図る。	
第(3 次羽曳野市総	合基本計画			(どうした	(ימכטיט:							
	施策目標 施策		ばたく子ども・若者を育むまち 活育成支援			指標名	各		単位	H28.4時 現状値(総割		1年度 実績 E	R2年度 目標(総計)
	施策の方向		する子ども・若者の支援	総合基本計画					9	COVIE (NO.	117		17K (NOB17
	まちづくりの		野の資源を活かしたまちづくり もが安心・安全に暮らせるまちづくり	目標指標									
	戦略		成少下の活力と成長に向けたまちづくり										
	事	務事業名	発達に障害のある児童の居場所づくり事!	R.		事務事業コー	− ⊧	432-01-	-01	1			
	総計に基事業の進捗		A 順間である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	治事務(任:	意のもの) 担	!当 R2	社会教	対育課	R3 社会	会教育課
		対象(誰を・何を)	支援が必要な児童及びその保護者、羽 職員	7曳野市留守家	庭児童会	R2年度 事務事業評価	fi (R1年度実施事	業) 最終	終結果		二次評価対象	象事業
1	事務事業の	目的	支援が必要な児童やその保護者が、悩みる 待につながらないよう支援を行う。留守家庭			総合評		現状維持	各視点か	この評価	妥当性	有効性	効率性
	概要	(どうしたいのか)	な児童への関わり方を学ぶことができるよ	うにする。		今後のフ					Α	В	Α
		手段 (事業内容)	相談窓口の開設。児童センター研徳田所づくり。留守家庭児童会職員向けの			総事業(うち市賃		R1年度決	大算額 5,228	R2年度	(当初)予算	R3年度 実施の	実施
		(尹末門晉)	社会性を育む子育ての仕方を学ぶ研修	多会、講演会。			単位:千円	(228)	(225) 方向性	
	事	務事業名	児童養護施設退所児童進学応援奨学金	事務事業		事務事業コー	− ド	432-01-	-02				
	総計に基事業の進捗		A 順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	台事務(任	意のもの) 担	!当 R2	:ځت	も課	R3 家庭	医支援課
2		対象(誰を・何を)	児童養護施設退所児童			R2年度 事務事業評価	fi (R1年度実施事	事業) 最終	終結果		二次評価対象	象事業
'	事務事業の	目的	児童養護施設退所児童の進学に係る		ることによ	総合評		現状維持	各視点か	らの輕価	妥当性	有効性	効率性
	概要	(どうしたいのか)	N P 1 B K P P L C L X L Z K L L			今後のフ					Α	Α	Α
		手段 (事業内容)	市内の各児童養護施設から各年度ごと 等の修業年限を限度として返済義務の			総事業		R1年度決	2,179	R2年度	(当初)予算 2,175	頼 R3年度 実施の	実施
		(尹末門晉)	支給する。				単位:千円	(379)	(375) 方向性	
	事	務事業名	子どもの居場所づくり事業			事務事業コー	ード	432-01-	-03	1			
	総計に基事業の進捗	づく 大況 (R2 年度)	A 順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	治事務(任	意のもの) 担	!当 R2	:ځت	も課	R3 家庭	医支援課
3		対象(誰を・何を)	生活に困窮している家庭の子ども等	_		R2年度 事務事業評価	fi (R1年度実施事	事業) 最終	終結果		二次評価対象	象事業
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	生活に困窮している家庭の子ども等の 支援する。	基本的な生活習	習慣づけを	総合評		縮小·統合	各視点か	らの評価	妥当性 B	有効性 B	効率性 A
	19432	手段	学習支援をはじめ、相談事業等をすす	め、子どもが安っ	心して過ご	総事業	業費	R1年度決	學額	R2年度	(当初)予算	額 R3年度	実施

差	本事業名	学校·家庭·地域	が連携し	た育成支援			対 (誰を・		子	~ども・若	者及び保護	者				
ā	基本事業 コード	433-01				事業の		的								
第6		合基本計画	<u> </u>		-	_	(どうした		·) 社	t会全体	で健全な育り	或を支援	養する。			
	策目標			ごも・若者を育むまち					指標名			単位	H28.4B 現状値(約		R1年度	R2年度 目標(総計)
	策 策の方向		で支えるか	ための環境整備		本計画	学校支援地域本	:部事業(こ参加してし	いるボラン	ティア数(延べ)	人		3,919	実績 30,791	48,000
	ちづくりの i略	_		を活かしたまちづくり 安全に暮らせるまちづくり	目標	!指標	7 100000000	7.7.	- 2 // 0 11		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			,,,,,,	55,751	10,000
书	(甲省	〇 (3)人口派	域少下の流	活力と成長に向けたまちづくり												
	事利	务事業名	青少年	健全育成関連団体支援事業				事務	事業コー	-ド	433-01	-01				
	総計に基 事業の進捗		Α	順調である		継続・ 新規	継続	法定 自治	自治	事務(任	意のもの) 打	旦当 R2	社会	教育課	R3 社	会教育課
1		対象(誰を・何を)		の健全育成に取組む関係団体				R2年月 事務事	度 事業評価	(R1年度実施	事業):	最終結果		二次評価対	象事業
	事務事業の	目的 (どうしたいのか)		関係団体との協働により、家庭 とりまく環境の整備を行い、地垣				4	総合評(今後の方		現状維持	各視点	からの評価	_{妥当性} A	有効性	効率性 人
	概要	手段		取り組めるようにする。 年健全育成推進協議会、市青少年	指導員選	車絡協議	会、市こども	_	総事業	費	R1年度	決算額	R2年	大 度(当初)予算		
		(事業内容)		連絡協議会、市青少年リーダー会、 或金の交付、その他日常活動への			会の各団体	(うち市負担	担額) 単位:千円		15,780 15,780) (16,259 16,259	実施の) 方向性	実施
	車 3	· · · · · · · · · · · · · ·	协理 统:	子ども教室事業				主孜	事業コー	L°	433-01-	-02				
	総計に基		DE R	概ね順調である		継続・	継続	法定				B当 R2	*+ <i>&</i>	教育課	R3 社	会教育課
	事業の進捗	状況 (R2+及) 対象(誰を・何を)		、地域住民		新規	神空初に	自治 R2年月	雙		R1年度実施			秋月 麻	二次評価対	
2			放課後や	・週末等に学校の施設を利用して、子と				事務事	業評価		11年及天心	尹 来 /]	汉 心和木	妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)		、学習や様々な体験・交流活動の機会 :性・自主性・創造性を育む。また学校を うざま				4	総合評(今後の方		現状維持	各視点	からの評価	Α	В	Α
	190.50	手段	市内14小	/ごす。 \学校及び義務教育学校区で地域住民 団体∶育成協、福祉委員会、婦人会、老					総事業		R1年度		R2年	度(当初)予算		
		(事業内容)	等)、子と	ごもたちにスポーツ、文化活動、様々な 活動等の多様な活動を体験する機会?	遊び、地域	或ボランテ		(うち市負担	担領) 単位:千円		17,877 16,877) (11,535 10,578	実施の 方向性	実施
	車系	· · · · · · · · · · · · · ·	学协士	援地域本部事業				主孜	事業コー	L°	433-01-	-03	1			
	総計に基	づく (Do左座)	B	概ね順調である		継続・	継続	法定	白色			旦当 R2	차 수	教育課	R3 社	会教育課
	事業の進捗	対象(誰を・何を)	子ども((主に公立小・中学校及び義務者		新規		自治 R2年月	变		R1年度実施			37 13 101	二次評価対	
3		目的	地域と	い中学校及び義務教育学校、地 学校が連携協働して、校区内の)小中学			事務事	業評価総合評価			1	WACARIAN	妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうしたいのか)	校の学と調整を	校運営や教育活動への地域住 を行う。	民による	5支援活	動の促進	4	今後の方		現状維持		からの評価	Α	В	Α
		手段 (事業内容)	ランティブ	地域コーディネーターを配置し、学校の ア支援を行える環境作りをすすめるとと	:もに、各学	学校での学		(総事業うち市負担	担額)	R1年度	3,440	R2年	度(当初)予算 3,050	実施の	実施
			児登佣、	部活動指導、登下校の見守り等の取り	が組みをす	9 හා තං			単	単位:千円	(2,698) (2,308) <mark>方向性</mark>	
		务事業名	家庭教	育支援事業				事務	事業コー	- ド	433-01	-04				
	総計に基事業の進捗		В	概ね順調である		継続・ 新規	継続	法定自治		事務(任	意のもの) 払	旦当 R2	社会	教育課	R3 社	会教育課
4		対象(誰を・何を)		見童の子をもつ親				R2年月 事務事	度 事業評価	(R1年度実施	事業):	最終結果	75 W.H.	二次評価対	
	事務事業の	目的 (どうしたいのか)	教育に関	関する学習機会・情報の提供をとおし する学習や相談ができるようにするこ 地域や親同士の関係づくりをすすめる。	とで、家庭				総合評値 今後の方		現状維持	各視点	からの評価	妥当性 A	有効性 B	効率性 人
	概要	手段	地域の親	見学習リーダー(大阪府の養成講座や数	類似講座 <i>0</i>				総事業		R1年度:		R2年	度(当初)予算	I額 R3年度	
		(事業内容)		を開催し、グループワークの中での対i としての自覚や責任について考えても		きとおして	、子育での大	(うち市負担	担額) 単位:千円	(3,191 3,089) (2,142 1,984		実施
	事利	· · · · · · · · · · · · · ·	青少年	健全育成啓発等事業				事務	事業コー	- ド	433-01	-05	1			
	総計に基	づく (R2 年度)	В	概ね順調である		継続・	継続	法定	白色			旦当 R2	社会	教育課	R3 社	会教育課
	事業の進捗	対象(誰を・何を)		青少年健全育成に取り組む関係	系団体の	新規 構成員	I	自治 R2年原	雙		R1年度実施				二次評価対	
5		目的	家庭・学	学校・地域が連携して青少年をと	とりまく環	境の整		争榜号	業評価 総合評(1		妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうしたいのか)	団体の	会全体で青少年の健全育成に 協働関係の強化と啓発をすする	める。			4	今後の方	向性	現状維持		からの評価	Α	В	Α
		手段 (事業内容)	月間」に	「青少年非行防止月間」及び11 こおいて関係団体と協働して啓	発活動を			(総事業うち市負担	担額)	R1年度	1,900	R2年)	度(当初)予算 2,779	実施の	実施
			青少年	健全育成大会・研修会を開催す	「る。				単	単位:千円	(1,900) (2,779) <mark>方向性</mark>	
		务事業名	子どもの	安全確保事業			•		事業コー	-F	433-01	-06				
	総計に基事業の進捗	づく 状況 (R2 年度)	В	概ね順調である		継続・ 新規	継続	法定自治	1/0	事務(任	意のもの) 担	旦当 R2	社会	教育課	R3 社	会教育課
6		対象(誰を・何を)		、子どもの安全見守りに参加する			フバナケナ	R2年月 事務事	度 事業評価	(R1年度実施	事業):	最終結果	75 Ale 14	二次評価対	
	事務事業の	目的 (どうしたいのか)	全を見	民等による自発的な協力により 守る環境をつくり、登下校時にお	おける子	どものま		4	総合評(今後の方		現状維持	各視点	からの評価	妥当性 A	有効性 B	効率性 人
	概要		児童の安	犯罪防止及び犯罪抑止につなり 安全見守り活動参加者の傷害保険事務	等の活動	支援。各		_	総事業	費	R1年度		R2年	变(当初)予算		
		手段 (事業内容)		PTA、町会等)の協力により「みまもつ 物や自転車等に掲示し子どもの安全な				(うち市負担	担額) 単位:千円	(911 911) (1,047 1,047	実施の) 方向性	実施
_																

基本事業名	放課	後・課外環均	の充乳	Ķ.			対 (誰を・		児童							
基本事業 コード		433-02				事業の 概要	目			後・課外における	安全	で快適が	か民場所へ	ごろ はな 図る		
第6次羽曳野市総	合基						(どうした	いのか)	//X (1/4 (2)	× μ×//1-8317-6	, <u>y</u> ±	(区)	み /口 物 / ハ ~	(72E30)		
施策目標	4			-ども・若者を育むまち				指	標名		畄位	H28	8. 4時点	R1年度		R2年度
施策	3	子ども・若	育成:	支援				111	ור און		412	現状値	8.4時点 ⑤(総計)	実績		目標(総計)
施策の方向	3	社会全体で	支える	るための環境整備	総合	基本計画	留守家庭児童	き合の往れ	旧音物				0		0	0
		(1)羽曳野	の資源	原を活かしたまちづくり	目	標指標	田寸多庭元	上云 リカル	沙里双		_ ^		U		۰	U
まちづくりの 戦略	0	(2)だれも	が安心	・・安全に暮らせるまちづくり												
中 及中口	0	(3)人口減	少下σ)活力と成長に向けたまちづくり												
重	務事業	夕	计 侧纹	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				事務事	±¬_∟°	433-02	_01					
7	カデオ	1	从杯饭	(儿童医工具从于宋				事份事:	K-1L	+33-02	- U I					
総計に基	づく	(R2年度)	В	概ね順調である		継続・新規	継続	法定· 自治	自治事務(義務的なもの) 打	旦当 R2	2 7	社会教育課	₹ R3	#	社会教育課

	事務	务事業名	放課後児	記童健全育成事業			事	務事業	コード	433-0)2-O	1					
	総計に基 [・] 事業の進捗	づく :状況 (R2 年度)	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法自	定・自治	治事務(義	(務的なもの)	担当	R2	社会	教育課	R3	社会	教育課	
		対象(誰を・何を)	- こより保護者が昼間家庭にいない児 <u>・</u>	童及び保	護者		年度 務事業評	価	(R1年度実	施事業	美) 最	終結果		二次評	価対象	事業	
1		対象(誰を・何を) 就労等により保護者が昼間家庭にいない 就労や疾病等により保護者が放譲後家庭にいない 校前期課程の児童を対象として、児童の安全を守						WA	評価・					妥当性	有効	性	効率性
	事務事業の 概要	就労や疾病等により保護者が放課後家庭に 校前期課程の児童を対象として、児童の安全 事業の(どうしたいのか) 活を通して、健康で自主性や社会性を備えた							方向性	現状維持	寺名	視点か	らの評価	Α	A	\	Α
		== cn.		学校、1義務教育学校及び1児童館に留守家原					事業費	R1年	度決算	額	R2年	度(当初)予算	預 R3	年度	
				寺間は、平日は放課後から午後5時まで、学校 0分から午後5時まで、延長利用(平成26年5月				(うち市	5負担額)		203,	025		253,235		施の	実施
				後6時30分まで実施。					単位:千円	" (44,	392)	(65,525) 方	向性	

	事務	§事業名	留守家庭	圣児童会学習支援事業			事	務事業	ミコード	433-	02-0	2				
	総計に基 [・] 事業の進捗		Α	順調である	継続・ 新規	継続	法自	定· 自治	自治事務(任意のもの)	担当	当 R2 特	命プロシ	ジェクトチーム	R3 社会	教育課
,		対象(誰を・何を)	市内13/	小学校及び1義務教育学校の留守家	庭児童会	入会児童		年度 務事業記	評価	(R1年度実	施事	業) 最終	終結果		二次評価対象	
_	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	学習習慣	貫の定着を図る。					合評価・ の方向性	現状維持	持(各視点から	の評価	妥当性 B	有効性 B	効率性 B
]程度、各留守家庭児童会の教室にて チェックや質問への対応等、学習支援		が児童の			事業費 市負担額) 単位:千	R1年 円 (9	算額 ,130 ,130)	R2年) (度(当初)予算8 6,725 6,725	展 R3年度 実施の 方向性	実施